

## 設置計画の概要

事項	記入欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	学部設置
フリガナ者	コクリツダイガクホウジン リョウキョウダイガク 国立大学法人 琉球大学
フリガナ名称	リョウキョウダイガク 琉球大学 (University of the Ryukyus)
新設学部等において養成する人材像	<p>【人文社会学部】</p> <p>①人材の養成 人文社会系の専門的知と学際的知を基盤に、多様な社会や文化と共生しつつ、沖縄を始めとする地域社会の持続的発展に貢献できる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 個人の尊厳と基本的人権を尊重し多様な価値観や文化と共生できる能力、変化の激しい現代社会の問題に対する最適解を導き出すために、必要な情報を効果的に収集し、分析・評価・活用し、主体的に協働して、思考・判断・表現及び実践できる能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>【国際法政学科】</p> <p>①人材の養成 多様な社会との平和共生の構築や、持続的発展が可能な社会を形成できる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 法学・政治学・国際関係学に関する専門的知識と豊かな学際的知を基に、多様な社会との共生のあり方や持続可能な発展のための政策提言・発信力、及び平和共生社会を構築する実践力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>＜法学プログラム＞</p> <p>①人材の養成 法学の専門知識に加えて政治学・国際関係学に関する専門的知識を備え、豊かな学際的知と多元的社会における人権保障の政策提言・発信力、並びに平和共生社会を構築する実践力を身につけた人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 政策立案力を有し、公務員として社会貢献できる法学の理解力または法科大学院の既修者コースに進学できる法学の理解力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員(国家総合職、地方上級行政職、法律系、経済系、公安系、その他)、法科大学院、一般企業等</p> <p>＜政治・国際関係学プログラム＞</p> <p>①人材の養成 政治学・国際関係学・法学などの視点から、現代社会の複雑多様な諸相を読み解き、物事を総合的かつ体系的に捉えて問題の本質を見極め、その解決策を見つけることのできる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 政治学・国際関係学を中心としながら、併せて法学の知識も兼ね備えた幅広い知識を基に、社会科学分野に関する資料収集・文献調査能力、知識・調査と論理的思考に基づいて解決を見出す能力、プレゼンテーション・討論・文章作成能力、並びに地域社会や国際社会の平和共生に貢献できる力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員、マスコミ、金融・保険業、情報通信業、大学院進学、教員等</p> <p>【人間社会学科】</p> <p>①人材の養成 人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的知を基に、個人の尊厳を保ち、誰もが自由・公平に、また安心・安全に生きることが出来る社会を形成できる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 人間科学に関する専門的な知識と豊かな学際的知を有し、社会的弱者に配慮し、心豊かで、安心・安全に暮らせる社会を実現するための実践力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>＜哲学・教育学プログラム＞</p> <p>①人材の養成 思想・倫理、教育・発達について学ぶことから得られる人間に対する深い洞察力と豊かな人間性に基づいて、多様な社会における複雑な問題に対して最適解を見いだすことのできる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 哲学・教育学分野と関連した高度な専門的能力、人間に対する深い洞察力、並びに現代社会の問題を解決する能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員、教育・学習支援業、情報通信業、生活関連サービス業、製造業等</p> <p>＜心理学プログラム＞</p> <p>①人材の養成 心理学の専門的知に基づいて、誰もが安全・安心に暮らせる社会を構築することによって、沖縄を初めとする地域社会に貢献できる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 科学的方法により人間の特性や行動を理解することができ、それらをもとに心の安定や適切な対人関係に向けた働きかけができる能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 心理専門職、大学院進学、公務員、病院・福祉関係、教員、一般企業等</p> <p>＜社会学プログラム＞</p> <p>①人材の養成 人間集団としての社会のあり方や暮らしについて、共生・平和に関する基礎知識を基盤としながら社会学的な視点と方法で読み解き、現前の課題に対して適切な処方箋を提示し、社会制度づくりを提言できる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 社会生活の諸側面を理論的・実証的に、かつ多種多様な観点からとらえる能力、および平和・共生を基盤とした市民社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に貢献しうる能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員(一般行政職や福祉職等)、病院、福祉関係施設、沖縄県内銀行、県内外マスコミ、一般企業、大学院進学等</p>

	<p><b>【琉球アジア文化学科】</b></p> <p>①人材の養成 沖縄を始めとする地域社会とその文化を深く理解し、継承発展させることのできる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 琉球とアジアを中心とする歴史・文化に関する専門的知識と豊かな学際的知を基に、文化の理解にとどまらず、それを発信することや継承発展させる実践力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>＜歴史民俗学プログラム＞</p> <p>①人材の養成 琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の歴史・民俗学に関する研究を通じて専門知識を深め、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを的確かつ積極的に指導・教育・発信することのできる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の歴史・民俗学に関する研究を通じて、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員、教員、大学院進学、県内外マスコミ、出版関係、教育・学習支援業</p> <p>＜文学プログラム＞</p> <p>①人材の養成 琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の文学に関する研究を通じて専門知識を深め、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを的確かつ積極的に指導・教育・発信することのできる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の文学に関する研究を通じて、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 教員、公務員、大学院進学、県内外マスコミ、出版関係、教育・学習支援業</p> <p>＜言語学プログラム＞</p> <p>①人材の養成 琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の言語学に関する研究を通じて専門知識を深め、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを的確かつ積極的に指導・教育・発信することのできる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の言語学に関する研究を通じて、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員、教員、大学院進学、県内外マスコミ、出版関係、教育・学習支援業</p>
<p>既設学部等において養成する人材像</p>	<p><b>【法文学部】</b></p> <p>①人材の養成 広い視野と専門的な知識、国際感覚とバランス感覚を持った人間性豊かな人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 豊かな人間性と、幅広い学際的な知識及び専門的知識、地域の社会・文化への深い理解、異文化理解力・外国語運用能力、並びに情報リテラシーを身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p><b>【総合社会システム学科】</b></p> <p>①人材の養成 各自の専門分野を中心として、法学・経済学・政治学・国際関係論など社会科学の幅広い知識を持ち、現代社会の諸問題を総合的・多角的に捉える能力を備え、コミュニケーション能力や情報スキルを身に付け、地域社会に対して貢献できる有為な人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 各自の専門分野を中心とした、法学・経済学・政治学・国際関係論等の社会科学の幅広い知識、現代社会の諸問題を総合的・多角的に捉える能力、並びにコミュニケーション能力や情報スキル、法律・経済・政治・国際関係などの分野を中心に、地域社会に対する多様な能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員行政職、銀行等金融関係、保険会社、マスコミ、中・高校教諭、大学院等</p> <p><b>【人間科学科】</b></p> <p>①人材の養成 思想・教育・心、社会や地域や歴史、文化に強い関心を持ち、多面的な観点から物事を考察し、解決すべき課題を自ら発見すると共に、理論的及び実証的なアプローチに基づいた論理的思考によって課題を解決することのできる人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 思想・教育・心、社会や地域や歴史、文化の理解、複眼的な視点と論理的・実証的なアプローチによる現代社会の諸問題の解決に貢献できる能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員、銀行等金融関係、病院、社会福祉関係、旅行業関係、沖縄県立博物館・美術館、大学院等</p> <p><b>【国際言語文化学科】</b></p> <p>①人材の養成 現代の高度情報化、国際化社会の要請に応えるために、豊かな国際感覚と言語運用能力、自文化と異文化との有機的・総合的な理解力、実践的な情報処理能力を養成し、将来、国際的レベルで活躍する人材を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的 高度に情報化、国際化した現代社会の要請に応えるために、豊かな国際感覚と言語運用能力、自文化と異文化との有機的・総合的な理解力、実践的な情報処理能力を身につけさせる教育・研究を行う。</p> <p>③卒業後の進路 公務員、教員、旅行業関係、マスコミ、銀行、広告関係、在外外交官支援員、大学院等</p>

<p>新設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【人文社会学部 国際法政学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種（公民）〈政治・国際関係学プログラム〉</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【人文社会学部 人間社会学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校教員1種（公民）〈哲学・教育学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム〉</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・社会福祉主事（社会学プログラム）</li> <li>① 社会福祉主事任用資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業単位を修得後、指定の職就任を要件とする資格</li> <li>・社会福祉士（社会学プログラム）</li> <li>① 国家資格 ② 受験資格の取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> <li>・認定心理士、認定心理士（心理調査）〈心理学プログラム〉</li> <li>① 民間資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> <li>・公認心理師受験資格（予定）〈心理学プログラム〉</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、公認心理師関連科目の履修と卒業後の一定期間の実務経験が必要であり、資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> </ul> <p>【人文社会学部 琉球アジア文化学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学教員1種（国語）〈文学プログラム、言語学プログラム〉</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・高校教員1種（国語）〈文学プログラム、言語学プログラム〉</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> </ul>
<p>既設学部等において 取得可能な資格</p>	<p>【法文学部 総合社会システム学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学教員1種（社会）</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・高校教員1種（公民）</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【法文学部 人間科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学教員1種（社会）</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・高校教員1種〔公民（人間行動専攻課程、社会学専攻課程）、福祉（社会学専攻課程福祉コース）、地理歴史（地理歴史人類学専攻課程）〕</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・認定心理士（人間行動専攻課程）</li> <li>① 公益社団法人日本心理学会が認定する資格 ② 受験資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、関連科目の履修が必要</li> <li>・社会福祉主事（社会学専攻課程）</li> <li>① 社会福祉主事任用資格 ② 資格取得可能 ③ 卒業単位を修得後、指定の職就任を要件とする資格</li> <li>・社会福祉士（社会学専攻課程）</li> <li>① 国家資格 ② 受験資格の取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで受験資格を取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。</li> <li>・博物館学芸員（地理歴史人類学専攻課程）</li> <li>① 国家資格 ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、関連科目の履修が必要</li> <li>・GIS学術士（地理歴史人類学専攻課程地理学コース）</li> <li>① 公益社団法人日本地理学会が認定する資格 ② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、関連科目の履修が必要</li> </ul> <p>【法文学部 国際言語文化学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学教員1種〔国語（琉球アジア専攻課程）〕</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・高校教員1種〔国語（琉球アジア専攻課程）〕</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・中学教員1種〔英語（英語文化専攻課程、ヨーロッパ文化専攻課程（スペイン言語文化コース））〕</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> <li>・高校教員1種〔英語（英語文化専攻課程、ヨーロッパ文化専攻課程（スペイン言語文化コース））〕</li> <li>① 国家資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</li> </ul>

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
新設学部等の概要	人文社会学部 [Faculty of Humanities and Social Sciences]	国際法政学科 [Department of Law, Politics & International Relations]	4	80	3年次4	328	学士(法学) 学士(政策科学・国際関係論)	法学関係	平成30年4月第1学年	法文学部総合社会システム学科 新規採用	14 1	7 1
									平成32年4月第3学年			
										計	15	8
	人間社会学科 [Department of Sociology and Human Sciences]	4	80	3年次4	328	学士(人文社会)	社会学・社会福祉学関係、文学関係	社会学・社会福祉学関係、文学関係	平成30年4月第1学年	法文学部人間科学科	19	7
									平成32年4月第3学年			
										計	19	7
	琉球アジア文化学科 [Department of Ryukyuan and Asian Studies]	4	40	3年次2	172	学士(人文社会)	文学関係	文学関係	平成30年4月第1学年	法文学部国際言語文化学科 新規採用	9 2	3 2
									平成32年4月第3学年			
										計	11	5
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上
	法文学部(廃止)	総合社会システム学科(昼間主コース)	4	170	3年次12	704	学士(法学)、学士(経済学)、学士(政策科学・国際関係論)	法学関係、経済学関係	平成9年4月	国際地域創造学部国際地域創造学科	15	5
										人文社会学部国際法政学科 退職者	14	7
										計	33	16
	総合社会システム学科(夜間主コース)	4	30	3年次4	128	学士(経済学)	経済学関係	平成9年4月	国際地域創造学部国際地域創造学科(再掲)	15	5	
									退職者(再掲)	1	1	
									計	16	6	
	人間科学科	4	95	3年次3	386	学士(人文社会)	社会学・社会福祉学関係、文学関係	平成9年4月	国際地域創造学部国際地域創造学科	9	4	
									人文社会学部人間社会学科 退職者	19 6	7 5	
									計	34	16	
	国際言語文化学科(昼間主コース)	4	80	3年次3	326	学士(人文学)	文学関係	平成9年4月	国際地域創造学部国際地域創造学科	26	13	
									人文社会学部琉球アジア文化学科 退職者	9 5	3 4	
									計	40	20	
	国際言語文化学科(夜間主コース)	4	30	3年次4	128	学士(人文学)	文学関係	平成9年4月	国際地域創造学部国際地域創造学科(再掲)	26	13	
退職者(再掲)									1	0		
計									27	13		

【備考欄】

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(人文社会学部 全学科共通 共通教育科目)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養領域 人文系科目	人間と哲学の知	1・2・3・4		2		○									兼2
	人間と世界	1・2・3・4		2		○									兼2
	思考の論理入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	思考の論理	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋思想とインドの思想	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋思想と日本・中国の思想	1・2・3・4		2		○									兼1
	生き方の探究	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	環境の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の科学	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間関係論	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の実験室	1・2・3・4		2		○									兼1
	アジアの人生観	1・2・3・4		2		○									兼1
	科学技術の倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	生命倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	「私」の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と宗教	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間観と教育	1・2・3・4		2		○									兼1
	近代日本の社会と表現	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本古典文学の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	文学の楽しみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	小説の社会学	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばの生態	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばの構造と意味	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語のはたらき	1・2・3・4		2		○									兼1
	中国古典文学の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	20世紀の中国文学	1・2・3・4		2		○									兼1
	アメリカの文学と社会の誕生	1・2・3・4		2		○									兼1
	アメリカの文学と近代社会	1・2・3・4		2		○									兼1
	歴史を掘る	1・2・3・4		2		○									兼1
	東洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	朝鮮の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	考古学入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	宗教と世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	音楽の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	美術の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	オーケストラの楽しみ	1・2・3・4		2				○							兼1
	コーラルアンサンブルの楽しみ	1・2・3・4		2				○							兼1
	楽しく学ぶギター弾き語りⅠ	1・2・3・4		2				○							兼1
楽しく学ぶギター弾き語りⅡ	1・2・3・4		2				○							兼1	
ステージスタッフ総合活動	1・2・3・4		2				○							兼1	
美術って何？	1・2・3・4		2		○									兼1	
美術と社会	1・2・3・4		2		○									兼1	
色彩の世界	1・2・3・4		2		○									兼1	
陶芸の世界	1・2・3・4		2		○									兼1	
比較思想文化論	1・2・3・4		2		○									兼1	

	日本語研究入門	1・2・3・4	2	○							兼1
	人文系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
	人文系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
教養領域	法と社会	1・2・3・4	2	○							兼1
	憲法概論	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代政治の課題	1・2・3・4	2	○							兼1
	日本の政治	1・2・3・4	2	○							兼1
	戦争と平和の諸問題	1・2・3・4	2	○							兼1
	地域と生活	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代社会のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	マスコミと社会	1・2・3・4	2	○							兼1
	人類文化の比較	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代経済のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	経済の歴史	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代経営のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代流通のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	情報メディアと創造性	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代会計のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代経済の諸問題	1・2・3・4	2	○							兼1
	大学教育論	1・2・3・4	2	○							兼1
	教育政策史	1・2・3・4	2	○							兼1
	ベンチャー起業入門	1・2・3・4	2	○							兼1
	ベンチャー起業実践	1・2・3・4	2	○							兼1
社会系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1	
社会系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1	
自然系科目	大気科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	地球科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	海洋科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	宇宙科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	科学の光と影	1・2・3・4	2	○							兼1
	統計と社会	1・2・3・4	2	○							兼1
	数理の構造	1・2・3・4	2	○							兼1
	数の文化	1・2・3・4	2	○							兼1
	時間と空間	1・2・3・4	2	○							兼1
	人間と物理学	1・2・3・4	2	○							兼1
	生活の化学	1・2・3・4	2	○							兼1
	分子の世界	1・2・3・4	2	○							兼1
	生物の生活	1・2・3・4	2	○							兼1
	生命の科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	パースの世界	1・2・3・4	2	○		○					兼1
	都市環境と計画	1・2・3・4	2	○							兼1
	ランドスケープ論	1・2・3・4	2	○							兼1
	環境デザイン論	1・2・3・4	2	○							兼1
	地球環境と科学技術	1・2・3・4	2	○							兼1
	天体観測を通して学ぶ宇宙	1・2・3・4	2	○							兼1
自然環境と土木工学	1・2・3・4	2	○							兼1	
生物資源利用とサイエンス	1・2・3・4	2	○							兼1	
食料・農村・環境概論	1・2・3・4	2	○							兼1	
ヒトの健康科学	1・2・3・4	2	○							兼1	
自然系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1	
自然系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1	
健康	健康・スポーツ科学	1・2・3・4	2	○							兼2
	運動・スポーツ科学演習	1・2・3・4	2	○		○					兼64
総合領域	一般総合科目	1・2・3・4	2	○							兼1
	脳の発達と人間	1・2・3・4	2	○							兼1
	認識の仕組み	1・2・3・4	2	○							兼1
	環太平洋地域の文化	1・2・3・4	2	○							兼1
	ヨーロッパの文化と社会	1・2・3・4	2	○							兼1
	ヨーロッパの歴史と伝統	1・2・3・4	2	○							兼1
	アメリカの文化と社会	1・2・3・4	2	○							兼1

総合領域	一般総合科目	現代青年の心とその病理	1・2・3・4	2	○															兼1	
		科学と社会	1・2・3・4	2	○																兼1
		住まいの科学	1・2・3・4	2	○																兼1
		環境の保全	1・2・3・4	2	○																兼1
		環境問題	1・2・3・4	2	○																兼1
		熱帯の科学	1・2・3・4	2	○																兼1
		情報科学概論	1・2・3・4	2	○																兼1
		ヒトの科学と人間の医学	1・2・3・4	2	○																兼1
		動物実験の基礎	1・2・3・4	2	○																兼1
		生命科学入門	1・2・3・4	2	○																兼1
		大学とは何かー大学の自治と大学人の責任を考えるー	1・2・3・4	4	○																兼1
		先端情報工学概論	1・2・3・4	4	○																兼1
		死と哲学の知	1・2・3・4	2	○																兼1
		科学と擬似科学	1・2・3・4	2	○																兼1
		キャリア概論	1・2・3・4	2	○																兼1
		人口と食糧	1・2・3・4	2	○																兼1
		ボランティア入門	1・2・3・4	2	○																兼1
		職業と人生	1・2・3・4	2	○																兼1
		囲碁の世界	1・2・3・4	2	○																兼1
		災害と安全	1・2・3・4	2	○																兼1
		生活空間のビジョン	1・2・3・4	2		○															兼1
		地域企業（自治体）お題解決プログラム	1・2・3・4	2	○																兼1
		若者の雇用環境	1・2・3・4	2	○																兼1
		キャリア形成入門	1・2・3・4	2	○																兼1
		ボランティア体験学習	1・2・3・4	2			○														兼1
		キャリアと学生生活	1・2・3・4	2	○																兼1
		環境インターンシップ	1・2・3・4	2			○														兼1
		総合環境学概論	1・2・3・4	2	○																兼1
		エンカレッジメントー大学の学びと未来ー	1・2・3・4	2	○																兼1
		生活習慣病予防および健康増進	1・2・3・4	2		○															兼1
		大学で何を学ぶか	1・2・3・4	2	○																兼1
		観光への扉～観光学入門	1・2・3・4	2	○																兼1
		海外文化研修A（英語圏）	1・2・3・4	2				○													兼1
		海外文化研修B（中国語圏）	1・2・3・4	2				○	○												兼1
		海外文化研修C（スペイン語圏）	1・2・3・4	4				○	○												兼1
		海外文化研修D（フランス語圏）	1・2・3・4	4				○	○												兼1
		海外文化研修E（ドイツ語圏）	1・2・3・4	4				○	○												兼1
		環境と文学	1・2・3・4	2	○																兼1
		現代アジア論	1・2・3・4	2	○																兼1
		女性と社会	1・2・3・4	2	○																兼1
		異文化コミュニケーション入門	1・2・3・4	2	○																兼1
		キャリアデザインとジェンダー	1・2・3・4	2	○																兼1
		地域システム計画論	1・2・3・4	2	○																兼1
		情報セキュリティ概論	1・2・3・4	2	○																兼1
		環境エネルギー計画	1・2・3・4	2	○																兼1
		環境影響評価概論	1・2・3・4	2	○																兼1
海外職場体験	1・2・3・4	2	○																兼1		
総合特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○																兼1		
総合特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○																兼1		
総合特別講義Ⅲ	1・2・3・4	2	○																兼1		
高年次総合科目	現代社会の課題ー21世紀への挑戦ー	1・2・3・4	2	○															兼1		
	倫理総合討論	1・2・3・4	2	○															兼1		
	地震と防災	1・2・3・4	2	○															兼1		
	大学と産業の振興	1・2・3・4	2	○															兼1		
	総合環境論	1・2・3・4	2	○															兼1		
キャリアデザイン実践	1・2・3・4	2	○																兼1		

※演習

総合領域	琉大特色科目	平和論	1・2・3・4	2	○								兼1	
		核の科学	1・2・3・4	2	○									兼1
		適応の心理	1・2・3・4	2	○									兼1
		沖縄の基地と戦跡Ⅰ	1・2・3・4	2	○									兼1
		沖縄の基地と戦跡Ⅱ	1・2・3・4	2	○									兼1
		近代沖縄の社会と表現	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球の文学	1・2・3・4	2	○									兼1
		地域の科学	1・2・3・4	2	○									兼1
		地域文化論	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球の自然	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球の自然保護	1・2・3・4	2	○									兼1
		沖縄のサンゴ礁	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球弧の自然誌	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球の地理	1・2・3・4	2	○									兼1
		沖縄の農業・農村と農地水環境	1・2・3・4	2			○							兼1
		ことばと文化	1・2・3・4	2			○							兼1
		現代の国際関係	1・2・3・4	2			○							兼1
		琉球アジア研究入門	1・2・3・4	2			○							兼1
		移民論	1・2・3・4	2			○							兼1
		沖縄の政治と社会	1・2・3・4	2		○								兼1
		三線入門	1・2・3・4	2		○								兼1 ※演習
		うちなーぐちあしび	1・2・3・4	2		○								兼1
		亜熱帯－西表の自然	1・2・3・4	2		○								兼1
		沖縄の学力と教育	1・2・3・4	2		○								兼1
		琉球語入門Ⅰ	1・2・3・4	2		○								兼1
		琉球語入門Ⅱ	1・2・3・4	2		○								兼1
		沖縄の染めと織り	1・2・3・4	2		○								兼1
		沖縄の歴史入門	1・2・3・4	2		○								兼1
		琉球学入門	1・2・3・4	2		○								兼1
		琉球の自然と人	1・2・3・4	2		○								兼1
		現代沖縄史	1・2・3・4	2		○								兼1
		現代沖縄地域論	1・2・3・4	2		○								兼1
		地域課題フィールドワーク演習	1・2・3・4	2		○								兼1
琉大特色特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2		○								兼1		
琉大特色特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2		○								兼1		
琉大特色特別講義Ⅲ	1・2・3・4	2		○								兼1		
基幹領域	情報	情報科学演習	1・2・3・4	2		○							兼1	
		日本語表現法入門	1・2・3・4	2		○							兼1	
	外国語科目	大学英语	1・2・3・4	4		○							兼1 ※演習	
		英語講読演習 中級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英語講読演習 上級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英会話演習 中級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英会話演習 上級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英作文演習 中級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英作文演習 上級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英語プレゼンテーション演習中級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英語プレゼンテーション演習上級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		TOEIC演習	1・2・3・4	2		○							兼1	
		TOEFL演習	1・2・3・4	2		○							兼1	
		英検準1級演習	1・2・3・4	2		○							兼1	
		特定英語課題演習Ⅰ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		特定英語課題演習Ⅱ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語入門Ⅲ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語入門Ⅳ	1・2・3・4	2		○							兼1	
ドイツ語会話入門Ⅰ	1・2・3・4	2		○							兼1			
ドイツ語会話入門Ⅱ	1・2・3・4	2		○							兼1			
インテンシブドイツ語Ⅰ	1・2・3・4	4		○							兼1			



インテンシブドイツ語Ⅱ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブドイツ語Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブドイツ語Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
ドイツ語圏文化入門	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語入門Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語入門Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語会話入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語会話入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブフランス語Ⅰ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブフランス語Ⅱ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブフランス語Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブフランス語Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語圏文化入門	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語入門Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語入門Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語会話入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語会話入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブスペイン語Ⅰ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブスペイン語Ⅱ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブスペイン語Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブスペイン語Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語圏文化入門	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4		○						兼1
中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4		○						兼1
中国語中級	1・2・3・4	4		○						兼1
中国語講読	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語演習	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語上級	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語特演	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語会話	1・2・3・4	2	○							兼1
時事中国語	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語作文	1・2・3・4	2	○							兼1
実践中国語	1・2・3・4	2	○							兼1
朝鮮語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4		○						兼1
朝鮮語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4		○						兼1
朝鮮語中級	1・2・3・4	4		○						兼1
朝鮮語講読	1・2・3・4	2	○							兼1
朝鮮語演習	1・2・3・4	2	○							兼1
インドネシア語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4		○						兼1
インドネシア語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4		○						兼1
タイ語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4		○						兼1
タイ語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4		○						兼1
ヴェトナム語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4		○						兼1
ヴェトナム語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4		○						兼1
ヴェトナム語中級	1・2・3・4	4		○						兼1
ラテン語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
ラテン語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
ギリシャ語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
ギリシャ語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
ロシア語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
ロシア語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
サンスクリット語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
サンスクリット語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
ブラジル・ポルトガル語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
ブラジル・ポルトガル語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1

日本語・日本事情科目	日本語ⅠA	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅠB	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅠC	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅡA	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅡB	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅡC	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅢA	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅢB	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅢC	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅣA	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅣB	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅣC	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語Ⅴ	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語Ⅵ	1・2・3・4	2		○					兼1
	沖縄事情Ⅰ	1・2・3・4	1		○					兼1
	沖縄事情Ⅱ	1・2・3・4	1		○					兼1
	日本事情Ⅰ	1・2・3・4	1		○					兼1
	日本事情Ⅱ	1・2・3・4	1		○					兼1
	日本語ⅠD	1・2・3・4	2			○				兼1
	日本語ⅡD	1・2・3・4	2			○				兼1
	日本語ⅠE	1・2・3・4	2			○				兼1
	日本語ⅡE	1・2・3・4	2			○				兼1
	ビジネス日本語Ⅰ	1・2・3・4	1			○				兼1
	ビジネス日本語Ⅱ	1・2・3・4	1			○				兼1
日本・沖縄文化Ⅰ	1・2・3・4	1		○					兼1	
日本・沖縄文化Ⅱ	1・2・3・4	1		○					兼1	
小計(309科目)	—	660	—						兼375	

教育課程等の概要(事前伺い)

(人文社会学部 国際法政学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	学部共通科目 学盤科目 基	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)	1前	2			○		8	5	2				
		基礎演習Ⅱ(最適解導出育成)	1・2前・後	2			○		8	5	2				
		基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解)	1・2前・後	2			○		8	5	2				
		小計(3科目)	—	6			—		8	5	2				
	学部共通科目 科目 平和共生・沖縄理解 基盤	共生社会入門	1・2前		2		○								兼9
		共生哲学	2前		2		○								兼1
		教育学入門	1後		2		○								兼1
		社会学原論Ⅰ	1後		2		○								兼2
		社会福祉原論Ⅰ	1後		2		○								兼1
		心理学概論Ⅰ	1後		2		○								兼1
		マス・コミ原論Ⅰ	1後		2		○								兼1
		琉球アジア研究概論	1・2後		2		○								兼3
		小計(8科目)	—		16		—								兼19
	形成科目 キャリア	キャリア演習Ⅰ	2・3		2		○								兼1
		キャリア演習Ⅱ	2・3		2		○								兼1
		小計(2科目)	—		4		—								兼1
	学科基盤科目	法学概論	1前		2		○		4	2	2				兼3 オムニバス
		政治・国際関係学概論	1後		2		○		4	3					オムニバス
		小計(2科目)	—		4		—		8	5	2				兼3
	学科共通科目 学科発展科目	憲法Ⅰ(人権)	1前		2		○								兼1
		憲法Ⅱ(統治)	1後		2		○								兼1
		民法Ⅰ(総則)	1後		2		○					1			
		民法Ⅱ(物権)	2前		2		○					1			
		刑法総論	2前		2		○		1						
		刑事手続と人権	2・3前		2		○								兼1
講義国際法		2前		2		○		1							
基礎行政法		2前		2		○		1							
民法Ⅲ(債権総論)		2・3後		2		○								兼1	
刑事政策		2・3後		2		○								兼1	
民法Ⅳ(債権各論)		3・4前		2		○								兼1	
基礎社会保障法		1・2後		2		○		1							
政治思想史		2・3前・後		2		○		1							
政治過程論		1・2前・後		2		○				1					
日本政治外交史Ⅰ		2・3前		2		○		1							
日本政治外交史Ⅱ		2・3後		2		○		1							
行政学		2・3前・後		2		○				1					
国際政治学Ⅰ		1・2前		2		○		1							
国際政治学Ⅱ		1・2後		2		○		1							
国際関係史		1・2前・後		2		○		1							
国際社会学		2・3前・後		2		○		1							
比較政治学Ⅰ		2・3前		2		○				1					
比較政治学Ⅱ		2・3後		2		○				1					
地方自治論		2・3前・後		2		○				1					
公共政策学		1・2前・後		2		○				1					
	小計(25科目)	—		50		—		8	3	1				兼3	

プログラム基盤	法学演習Ⅰ	3前	2		○		4	2	2				
	法学演習Ⅱ	3後	2		○		4	2	2				
	法学演習Ⅲ	4前	2		○		4	2	2				
	法学演習Ⅳ	4後	2		○		4	2	2				
	小計(4科目)	—	8		—		4	2	2				
法学プログラム専門科目	プログラム発展科目	刑法各論	2・3後	2	○		1					隔年	
		演習刑事人権論	2・3後	2		○	1					隔年	
		演習国際法Ⅰ(総論)	2・3後	2		○	1					隔年	
		演習国際法Ⅱ(各論)	2・3後	2		○	1					隔年	
		基礎労働法	2後	2		○			1				
		民事手続法Ⅰ(判決手続)	2後	2		○			1				
		展開行政法	2・3・4後	2		○		1					隔年
		展開社会保障法	3・4前	2		○		1					隔年
		展開労働法	3・4前	2		○			1				隔年
		応用行政法	2・3・4後	2		○		1					隔年
		応用社会保障法	3・4前	2		○		1					隔年
		応用労働法	3・4前	2		○			1				隔年
		民事手続法Ⅱ(執行・保全)	3・4前	2		○			1				隔年
		倒産処理法	3・4前	2		○			1				隔年
		商法Ⅰ	3前	2		○							兼1
		商法Ⅱ	3・4後	2		○							兼1 隔年
		商法Ⅲ	3・4後	2		○							兼1 隔年
		特修法学基礎演習	2前	2			○						兼1
		特修憲法Ⅰ	2前	2		○							兼1
		特修憲法Ⅱ	2後	2		○							兼1
		特修契約法Ⅰ	3前	2		○							兼1
		特修契約法Ⅱ	3後	2		○							兼1
		特修契約法Ⅲ	3後	2		○							兼1
		特修担保法	3・4後	2		○							兼1
		特修所有権法	3前	2		○							兼1
		特修不法行為法	3・4後	2		○							兼1
		特修家族法	3・4後	2		○							兼1
		特修刑法Ⅰ	3前	2		○							兼1
		特修刑法Ⅱ	3後	2		○							兼1
		特修刑法Ⅲ	3後	1		○							兼1
		特修商法Ⅰ	3・4後	2		○							兼1
		特修商法Ⅱ	3・4後	2		○							兼1
		特修民事訴訟法	3後	2		○							兼1
		特修刑事訴訟法Ⅰ	3・4前	2		○							兼1
		特修刑事訴訟法Ⅱ	3・4後	2		○							兼1
		特修憲法演習	4前	2			○						兼1
		特修民法演習Ⅰ	4前	2			○						兼1
		特修民法演習Ⅱ	4前	2			○						兼1
		特修刑法演習	4前	2			○						兼1
		特修商法演習	4前	2			○						兼1
		特修民事訴訟法演習	4前	2			○						兼1
		特修刑事訴訟法演習	3・4後	2			○						兼1
		卒業研究Ⅰ	4前	2			○	4	2				
		卒業研究Ⅱ	4後	2			○	4	2				
小計(44科目)	—		87		—	4	2				兼13		
プログラム基盤	プログラム基盤	政策科学・国際関係論演習Ⅰ	3前	2		○	4	3					
		政策科学・国際関係論演習Ⅱ	3後	2		○	4	3					
		政策科学・国際関係論演習Ⅲ	4前	2		○	4	3					
		政策科学・国際関係論演習Ⅳ	4後	2		○	4	3					
		卒業研究	4通	4		○	4	3					
小計(5科目)	—	12		—	4	3							
プログラム基盤	プログラム基盤	政治社会学	2・3前・後	2	○		1						
		現代政治理論	2・3前・後	2	○			1					
		福祉政策論	2・3前・後	2	○			1					
		地域経営論	2・3前・後	2	○							兼1	
		計量政治学	2・3前・後	2	○			1					

政治・国際学関係プログラム専門科目	プログラム発展科目	ジェンダーと政治	2・3前・後	2		○												兼1	
		市民社会論	2・3前・後	2		○				1									
		政策科学特殊講義A	2・3前・後	2		○			2	3									
		政策科学特殊講義B	2・3前・後	2		○			2	3									
		国際政治経済論	2・3前・後	2		○			1										
		国際協力論	2・3前・後	2		○			1										
		地球環境論	2・3前・後	2		○													兼1
		東アジア地域研究	2・3前・後	2		○				1									
		東南アジア地域研究	2・3前・後	2		○													兼1
		アメリカ地域研究	2・3前・後	2		○				1									
		ヨーロッパ地域研究	2・3前・後	2		○					1								
		平和研究	2・3前・後	2		○				1									
		外交政策論	2・3前・後	2		○				1									
		比較社会文化論	2・3前・後	2		○				1									
		社会運動論	2・3前・後	2		○				1									
		歴史政策学	2・3前・後	2		○				1									
		国際関係論特殊講義A	2・3前・後	2		○				4									
		国際関係論特殊講義B	2・3前・後	2		○				4									
		哲学概論	2・3前・後	2		○													兼1
		経済原論	2・3前・後	2		○													兼1
原典外書講読A	2・3前・後	2			○			4	3										
原典外書講読B	2・3前・後	2			○			4	3										
海外研修A	1・2・3前	2						○	4	3									
海外研修B	1・2・3前	2						○	4	3									
小計 (29科目)		—		58		—			4	3								兼6	
計 (122科目)		—	30	215		—			8	5	2							兼27	
学位又は称号	学士 (法学)、学士 (政策科学・国際関係論)		学位又は学科の分野		法学関係														

I 設置の趣旨・必要性

1. 改組の概要-----3 学科 8 プログラム制の導入

(1) 新学部 of 名称

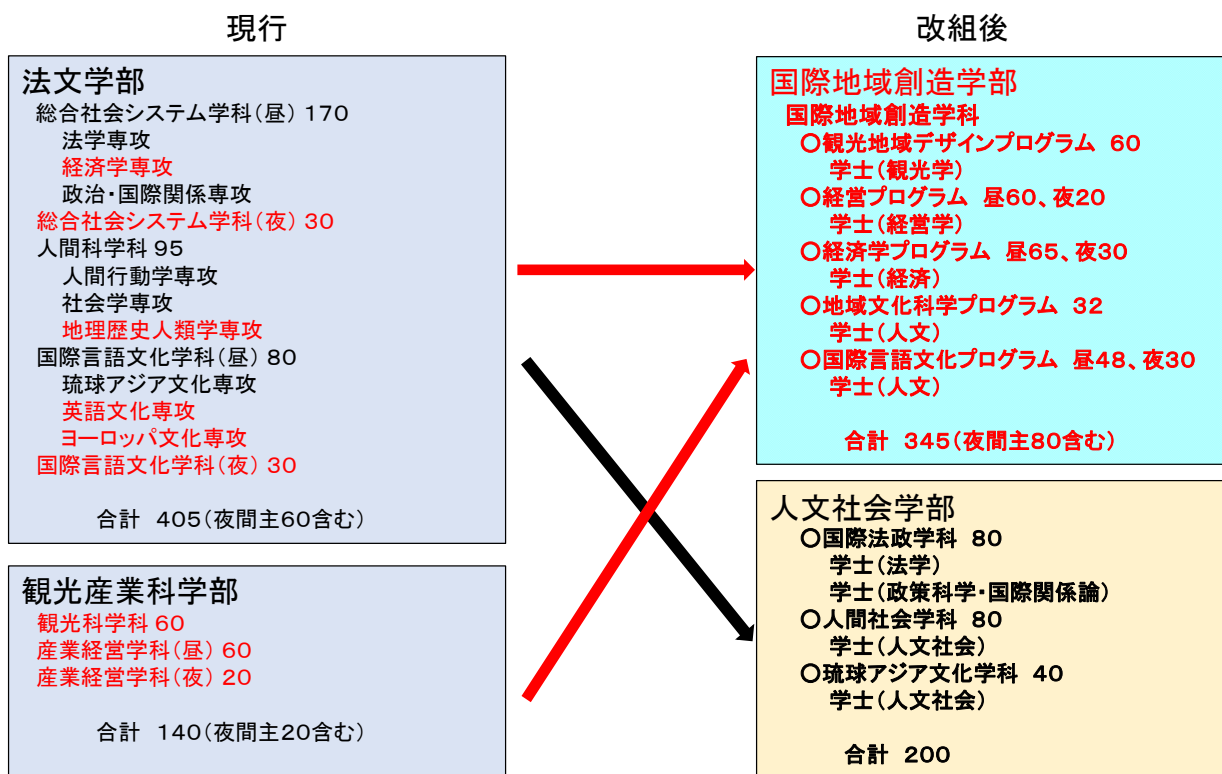
新学部は人文科学系の学問領域と社会科学系の学問領域からなる複合学部であり、人文社会系の専門的知と学際的知を基盤に、多様な社会や文化と共生しつつ、沖縄を始めとする地域社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目的としていることを踏まえて、その名称を「人文社会学部」(Faculty of Humanities and Social Sciences) とする。

(2) 学科 of 名称

学部としての理念を共有しながら、それぞれ特色を持つ次の 3 学科を設置する。

- ・人文社会学部 国際法政学科 (Department of Law, Politics and International Relations)
- ・人文社会学部 人間社会学科 (Department of Sociology and Human Sciences)
- ・人文社会学部 琉球アジア文化学科 (Department of Ryukyuan and Asian Studies)

組織移行図



※黒字は人文社会学部、赤字は国際地域創造学部へ移行

(3) 上記の学科の下に設置する 8 つのプログラム

上記の 3 学科のそれぞれに、身に付けるべき能力を育成する課程として、下記の 8 プログラムを設置する。

- ・国際法政学科：法学プログラム、政治・国際関係学プログラム
- ・人間社会学科：哲学・教育学プログラム、社会学プログラム、心理学プログラム
- ・琉球アジア文化学科：歴史民俗学プログラム、文学プログラム、言語学プログラム

#### (4) 入学定員

入学定員：200人

ア 国際法政学科：80人

イ 人間社会学科：80人

ウ 琉球アジア文化学科：40人

\*上記のほか、3年次編入学定員を国際法政学科に4人、人間社会学科に4人、琉球アジア文化学科に2人設定する。

#### (5) 国際法政学科において授与する学位

①法学プログラム：学士（法学）

②政治・国際関係学プログラム：学士（政策科学・国際関係論）

## 2. 人文社会学部の3学科プログラム制導入の特徴とメリット

### (1) 新たな3学科の特色・強み

これまでの法文学部の3学科制は、人文社会系の大規模な学部としての特色・メリットはあったものの、反面、学科・専攻が持つ特色・強みが見えにくくなっていた。その問題点を是正するために、今回の改組においては、学部の規模をスリム化し「共生」という学部の理念を念頭に置きながら、「沖縄 21 世紀ビジョン」等に見られる社会のニーズや世界的な潮流を踏まえ、学問領域をその特色に従って3グループに分け、3学科を編成することとした。すなわち、「共生」を「平和共生、豊かな精神性、沖縄らしさ」と具体化し、社会のニーズに応える三つの方向からのアプローチを際立たせ、3つの特色ある学科を設置する。それぞれの学問分野の教育研究はもとより、「平和と共生」を教育研究する主な学科として法学や政治学を有する国際法政学科、「豊かな精神性及び安心安全と共生」を教育研究する主な学科として心理学や福祉さらに哲学、教育学、社会学を有する人間社会学科、そして「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」について教育研究する主な学科として、琉球アジアを中心とする歴史学・民俗学、文学、言語学を有する琉球アジア文化学科を設置する。

### (2) 学部共通専門科目の設置

カリキュラムにおいても、従来の規模の大きい3学科では、専攻・コースの専門分野に偏ったものとなりがちで、学部共通の学際的な科目の提供がごく限られたものとなっていた。今回の改組で新たな特色を持つスリム化した3学科に改組することで、学部共通の専門科目が3科目6単位必修として設定することが出来た。（基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）、基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）、基礎演習Ⅲ（平和共生沖縄理解））

### (3) プログラム制の導入

#### 1) プログラム制の導入

今回の改組では、特定の学問の教授に偏ることを避け、身につけるべき能力（学位授与方針）を育成するために「プログラム」制を導入する。

#### 2) 設置するプログラム

以上のような考え方に基づく学士課程教育は、大きく「知識・技能」の面と「思考・判断・表現、自主的協働」の面とに分けることができ、「知識・技能」はさらに専門的知識・技能と学際的知識・技能に分けられる。「思考・判断・表現、自主的協働」（コンピテンシー）は全ての知識・技能に共通である。したがって、プログラムの編成は、学部・学科の理念との関係における専門分野の知識・技能に注目して行い、次のようなプログラムへの編成とする。

「平和と共生」を、主に法学の立場から教育研究する法学プログラム、政治学や政策科学、国際関係学の立場から主に教育研究する政治・国際関係学プログラムを設置する。

### 3. 国際法政学科の特徴と意義

#### (1) 学科の特徴と意義

国際法政学科は、上述のように「平和と共生」について、法学や政治学の知を基に教育研究する学科である。

国際法政学科の特徴と意義は、多様な社会との平和共生や、持続と発展が可能な社会を形成する人材を育成するということである。具体的には、法学・政策学・国際関係学に関する専門的知識と豊かな学際的知を有し、多様な社会との平和共生のあり方や持続と発展のための政策提言・発信力、平和共生社会を構築する実践力を有する人材の育成を特色としている。

#### (2) 各プログラムの特徴と意義

##### ①法学プログラム

法学の専門知識に加えて政策学・国際関係論に関する専門的知識を備え、豊かな学際的知と多元的社会における人権保障の政策提言・発信力、及び平和共生社会を構築する実践力を身につけた人材を養成する。法科大学院の既修者コースに進学できる法学の理解力を修得させるカリキュラムも提供する。

##### ②政治・国際関係学プログラム

政治学・国際関係学を中心としながら、併せて法学の知識も兼ね備えた幅広い知識を基に、現代社会の複雑多様な諸相を読み解き、物事を総合的かつ体系的に捉えて問題の本質を見極め、その解決策を見つけることのできる人材を養成する。そのために、資料収集・文献調査能力、知識・調査と論理的思考に基づいて解決を見出す能力、プレゼンテーション・討論・文章作成能力、並びに地域社会や国際社会の平和共生に貢献できる力を身につけさせる。

## II 教育課程編成の考え方・特色

### 1. 学部、学科、プログラムの教育課程の考え方・特色

#### (1) 学部の教育課程の基本的な考え方・特色

人文社会学部は、平和・共生、豊かな精神性、沖縄らしさを特色とし、これらの学修を目的とする教育課程を編成する。その際、とりわけ留意するのは次の点である。

- ①特定の学問分野に限定された専門教育に偏ることがない幅広い総合的視野を養成するために、全学共通教育科目はもとより学部共通専門科目、学科共通専門科目を設定する。
- ②各専門分野の教育の質保証のため、順次性を意識した体系的な科目編成を行う。
- ③学生生活においてまた卒業後は社会において、専門的・学際的な知を活用してよりよく生きるために、コンピテンシー（最適解導出力等）を育成する科目を設定する。
- ④学生の科目履修等についての指導を効果的に行うため、引き続き指導教員制をとり、履修モデル等を活用する。

#### (2) 学科・プログラムの教育課程の基本的な考え方・特色

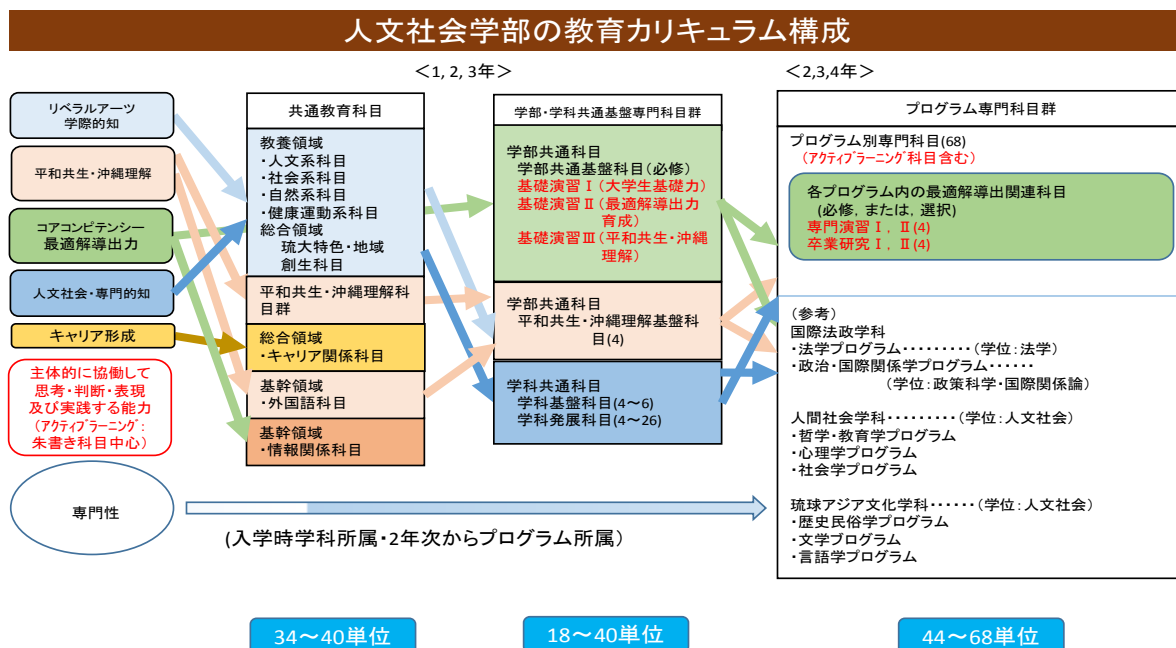
(ア) 国際法政学科の教育課程編成の基本的な考え方は、「(1) 学部の教育課程の基本的な考え方・特色」を踏まえて、多様な社会との平和共生の構築や、持続的発展が可能な社会を形成し、そのための政策提言・発信力、実践力を身につけさせるというものである。そのために法学・政治学・国際関係学をバランスよく学べるように学科共通専門科目を設置し、専門的な知と平和共生へ向けた科目、アクティブ・ラーニング（コンピテンシー・最適解導出力育成）を特色とする。

(イ) 法学プログラムでは、全学の共通教育科目や学部共通専門科目、学科共通専門科目等によって



学際的な幅広い知の修得を可能にすると共に、法学の専門的な知の体系的な学びを基盤として平和共生に関連する専門科目を設定する。また、法曹人養成を目的として法務研究科との接続を意識した科目を設定する。アクティブ・ラーニング（コンピテンシー・最適解導出力育成）は、学部共通基盤科目や法学演習、卒業研究を中心に取り入れる。

（ウ）政治・国際関係学プログラムでは、全学の共通教育科目や学部共通専門科目、学科共通専門科目等によって学際的な幅広い知の修得を可能にすると共に、政治・国際関係学の専門的な知の体系的な学びを基盤として平和共生に関連する専門科目を設定する。アクティブ・ラーニングは、学部共通基盤科目や「政策科学・国際関係論演習」、「海外研修」、「卒業研究」を中心に取り入れる。



## 2. カリキュラムの構成

### (1) 教育カリキュラムの構成と特徴

琉球大学では、科目区分は大きくは全学共通の「共通教育」と学部の「専門教育」に分かれる。人文社会学部では、「共通教育科目」は国際法政学科が34単位、人間社会学科と琉球アジア文化学科が36単位、及び「専門教育科目」は国際法政学科が90単位、他の2学科が88単位で構成される。

専門教育科目は、学びの順次性・体系性を確保するために、科目ごとに配当年次・学期を指定するとともに、順次性を表す科目番号（科目ナンバリング）を採用する。また、必要に応じて科目名にローマ数字による枝番を使用し、順次性を明示する（Ⅰ, Ⅱ, …）。なお、学生の興味関心にそって学びを伸長させるテーマ型科目の枝番は、アルファベット記号を用いる（A, B, …）。

#### ① 「共通教育科目」の履修

1~2年次を中心に、学生に全学共通の共通教育科目を履修させることによって、文系・理系の知にバランスよく触れ、外国語科目の履修によって国際性を身につける。人文社会学部の共通教育における特徴は、「平和共生・沖縄理解」に関係する科目を指定し、6単位以上の修得を定めていることである。「平和共生・沖縄理解」に関連する科目は共通教育にも多く提供されており、科目指定を行って、選択必修の形で履修させ、平和共生・沖縄理解に関する文系・理系の知を修得する。

## ②「学部共通科目」の履修

学部共通科目のうち「学部共通基盤科目」は、「基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）」が1年次前期の配当で、大学生としての学びの基礎を修得する。「基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）」では課題解決における最適解の導出についてその基礎を学修し、次に「基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）」を履修し沖縄と平和、共生について学修する。いずれも必修科目であり（3科目6単位）、1年前期から2年後期の間の配当となる。

「平和共生・沖縄理解」に関しては、学部の共通科目としても「平和共生・沖縄理解基盤科目」を設定し、各プログラムの学問分野と関連付けながら、平和共生・沖縄理解について基盤となる知を修得する。

## ③「学科共通科目」の履修

学科共通科目は、学科基盤科目と学科発展科目とからなる。学生はこれらの科目を順次履修することによって、学科の共通の基盤となる知を身につけさらに、その知を発展させる。

## ④履修するプログラムの選択

以上の全学及び学部、学科に共通する科目を履修していく中で、幅広い領域の知と専門分野の知の基礎を学修し、同時に地域・国際的な問題に対する「最適解」の導出法の基礎を学修して、学生は2年次進級時に指導教員と相談しながら、履修するプログラムを決定する。

プログラムの配属に至るまでは、各プログラムから選出された複数名の指導教員が中心となり、学生の希望や1年次から興味関心に基づき履修した科目等にもとづき、プログラム決定までの指導を行う。たとえば、新入生オリエンテーション時や1年次の各学期終了時点で希望調査を実施し、その結果を学生に公表・周知する、配属に関する相談を希望する学生に対して個別相談に応ずる、プログラムごとの詳細な説明が必要な場合はプログラムごとに個別対応する、などを行う。

プログラムの決定にあたっては、各プログラムへの目安人数に数名程度の余裕をもたせ、できる限り学生の希望を反映させる。その人数を上回った場合は、1年次の成績を勘案して振り分けを行う。第1希望のプログラムに入れなかった学生は、第2希望のプログラムに振り分けられる。また、配属プログラム決定後にプログラム変更を希望する学生に対しては、変更を希望する理由や、それまでの学修状況を勘案して、転プログラムを認める場合がある。

## ⑤「プログラム専門科目」の履修

プログラム専門科目は「プログラムコア基盤科目」、「プログラムコア発展科目」である。これらの科目を順次履修することによって、学生は学部共通科目や学科共通科目で培った知を基に、演習形式におけるアクティブ・ラーニングによってコンピテンシー（最適解導出力）を高めていき、専門的な学びを学年進行と共に深める。

「講義」と「演習」は、授業の形態に関するものであり、「講義」は教員がある学問の内容を受講生に説明するもの、「演習」は研究室等で比較的少人数で行い、受講生の発表、討論、教員のコメント等、双方向であることが多い。

「基礎」は、ある学問の基本となる重要な事柄について学修し、一応の理解を得るもの、「展開」は、その「基礎」を踏まえて発展的な内容として詳しく、あるいは範囲を広げて学修するもの、「応用」は、「基礎」と「展開」を踏まえて、その学修を現実の問題に当てはめて考察するものである。

「特修」は、法務研究科と連携し法科大学院への進学を希望する学生に対し、法学を深く修めさせる科目である。

これらの科目名称と科目ナンバリングを組み合わせるとともに、履修指導を行なうことで順次性を担保する。

4年次に国際法政学科は「卒業研究」（必修・4単位）の履修を通して、学びの集大成としての卒

業論文を完成させていく(法学プログラムは選択)。卒業論文は、オリジナルな研究テーマに基づき、先行研究を踏まえ、資料やデータを整理・分析し、論理的で説得的な論文を書くことが求められる。提出された卒業論文は、テーマの独創性、研究手続きの妥当性、テーマの論証・実証の説得性、学術論文の基本的な執筆作法の遵守などを観点とする評価基準に基づいて評価される。

### 3 最適解導出力育成について

#### (1) 最適解導出力について

今回の改組では、授業形式については講義形式だけではなく、いわゆるアクティブ・ラーニングやPBLを一歩深化させた学修を取り入れる。つまり、この学修によって学生はクリエイティブ・シンキングとクリティカル・シンキング(ロジカル・シンキング)を統合したものとしての「最適解導出力」を身に付け、それによるコミュニケーション力(この場合主にロジカル・クリティカルに明瞭なコミュニケーションという意味)を身につける。この最適解導出力の育成は、学部の教育課程の共通の特色の一つである。

従来のアクティブ・ラーニングやPBLによる学修が、学生の主体性を重んじる点は評価すべきであるが、問題(課題)に対する解決策(改善策)の導出に対しては、「自分の考えをまとめる」等の段階にとどまりがちで、その解決策の妥当性についてはあまり明確な視点からの検討が必ずしも行われていない。その結果、学生がまとめた考えの中には、かつてな思い込みや感情的なものがしばしば見られる。この問題点を解決すべく、最適解を導出する学修(最適解導出型学修)においては、クリエイティブ・シンキングとクリティカル・シンキング(ロジカル・シンキング)を統合して最適解を導き出し、最適解の満たすべき要件として「論理的な正しさ、倫理的な妥当性、実行可能性(コストやマンパワー等)」等の観点から「最適」であることを確認する。それによって、学生は自分の考えの妥当性を明確な根拠を持って主張できる力を身につけていく。この要件は同時に、最適解導出力の評価においても、これをチェックすることで、最適解導出力がどの程度身につけているかを測る観点ともなるものである。

この最適解導出力は、「学力の3要素」やOECDのEducation 2030における「キー・コンピテンシー」とも関連し、これまで言われてきたさまざまな能力(社会人基礎力等)の育成にも繋がり、また、最適解導出力は、平成24年度から全学的に導入されている「琉大グローバルシティズン・カリキュラム(University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum 以下URGCC)」(下記の参考を参照)とも関係しており、本学全体の教育方針とも符合するものである。URGCCでは育成する能力として、(専門性の他)自律性、社会性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決の力6つの学習教育目標が設定されている。人文社会学部の教育課程の特色一つは、この学習教育目標を意識しながら、新しくコンピテンシー(最適解導出力)の観点を導入することである。

## 最適解導出課程と3つのシンキング

最適解導出

- ・問題の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の確定(明確化)＝クリティカル・シンキング(あるいはロジカル・シンキング)
- ・問題の原因の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の原因の確定＝ロジカル・シンキング(あるいはクリティカル・シンキング)
- ・問題の原因の解決策(最適解)の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の原因の解決策(最適解)の確定＝クリティカル・シンキング(論理、倫理、実行可能性(+その他)のバランスをとり、価値観や政策の選択・決定に関係。)

\* ロジカル・シンキングは、「厳密な論理的正しさ(100%)」(rational)を基本的に要求する。一方、クリティカルシンキングは厳密な論理的正しさだけでなく、基本的に「リーズナブルな論理的正しさ(reasonableness)」(「道理性」とも訳され、「理に適合している」という意味)でも十分だとする。現実の問題に対しては、リーズナブルな正しさで最適解を導出することの方が多。

### (2) 最適解導出力育成について

以上のような最適解導出力は、人文社会学部の学生全員が授業を中心に身につけることになるものである。そのための主要な科目は次の通りである。

まず、学部共通専門科目の「基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)」において、レポートや論文の作成法等と並んで、予備的に「最適解導出力」の学修と実践を行う。「基礎演習Ⅱ(最適解導出育成)」では、本格的に最適解導出についてアクティブ・ラーニングの形式でその基礎を身につける。「基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解)」では、「基礎演習Ⅱ(最適解導出)」で身につけた最適解導出力の基礎的力によって、平和共生・沖縄理解に関連する課題を実際に設定し、最適解導出力を応用する練習を行う。

さらに最適解導出力は、「プログラムコア基盤科目」の「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「プログラム専門演習Ⅰ」、「プログラム専門演習Ⅱ」において重点的に生まれ、通常の授業のレポート作成に対しても生かされつつ、集大成として卒業論文における最適解の導出(タイトル、章立て等に関して)という形で発揮される。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2学期
	1 学期の授業期間	15週
	1 時限の授業時間	90分

**【卒業要件】**

**卒業要件総単位数・・・124単位以上**

**1. 共通教育科目・・・34単位以上**

教養領域，総合領域，および基幹領域（情報関係）：22単位以上

- 健康運動系：2単位以上
- その他の領域：20単位以上
- 人文系：2単位以上
- 社会系：2単位以上
- 自然系：2単位以上
- 平和共生・沖縄理解科目群\*：6単位以上

\*指定科目：戦争と平和の諸問題，平和論，核の科学，沖縄の基地と戦跡Ⅰ，Ⅱ，琉球アジア研究入門，琉球学入門，現代沖縄史，現代沖縄地域論

基幹領域（外国語）：12単位以上

- 第一外国語：8単位以上
- 第二外国語：4単位以上

共通教育										備考	合計(単位)
教養領域				総合領域			基幹領域				
健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生	キャリア関係	情報関係	外国語			
2単位以上	2単位以上	2単位以上	2単位以上					12単位以上		34単位以上	
指定科目なし	平和共生・沖縄理解科目群*から6単位以上						第1外国語8単位以上，第2外国語4単位以上				
20単位以上											

\*指定科目：戦争と平和の諸問題，平和論，核の科学，沖縄の基地と戦跡Ⅰ，Ⅱ，琉球アジア研究入門，琉球学入門，現代沖縄史，現代沖縄地域論

**2. 学部共通専門科目・・・10単位以上**

- 学部共通基盤科目：6単位（必修）
- 平和共生・沖縄理解基盤科目：4単位以上

**3. 学科共通専門科目・・・24単位以上**

- 学科基盤科目：4単位（必修）
- 学科発展科目：20単位以上
- ※法学プログラム（法学系科目16単位以上，政治・国際関係学系科目4単位以上）
- ※政治・国際関係プログラム（政治・国際関係学系科目16単位以上，法学系科目4単位以上履修）
- ※法学プログラムにおいては，学科発展科目のうち基礎社会保障法はプログラム発展科目として扱う。

**4. プログラム専門科目**

- 法学プログラム・・・30単位以上
  - プログラム基盤科目：8単位（必修）
  - プログラム発展科目：22単位以上（ただし学科発展科目のうち16単位を超えた法学系科目の単位を含む）
- 政治・国際関係学プログラム・・・34単位以上
  - プログラム基盤科目：12単位（必修）（卒業研究4単位を含む）
  - プログラム発展科目：22単位以上（ただし学科発展科目のうち16単位を超えた政治・国際関係学系科目の単位を含む）

**5. 専門自由科目**

- 法学プログラム・・・26単位以上
- 政治・国際関係学プログラム・・・22単位以上
  - \*専門自由科目：他プログラム・他学科・他学部提供の専門教育科目
  - 本プログラムの選択科目の履修要件を超えた専門教育科目
  - 卒業要件に相当する単位数を超えた共通教育科目（10単位まで）

**【履修方法】**

1. 共通教育科目のうち，教養領域，総合領域，および基幹領域（情報関係）の合計が22単位以上取得すること。
  - その際，健康運動系，人文系，社会系，自然系，キャリア関係からそれぞれ2単位以上取得すること。
  - さらに，平和共生・沖縄理解科目群の科目も6単位以上取得すること。
  - 平和共生・沖縄理解科目群の科目はそれぞれ人文系，社会系，総合領域の単位としてもカウントされる。
2. 一学期に登録できる単位数の上限は，20単位である。ただし，集中講義はこの中に含めない。
  - 直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。
  - また，教員免許等の資格取得予定者には指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(人文社会学部 人間社会学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	学部共通基盤科目	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)	1前	2				○		3	9	1				
		基礎演習Ⅱ(最適解導出育成)	1・2前・後	2				○		7	5	1				
		基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解)	1・2前・後	2				○		8	5	1				
		小計(3科目)	—	6				—		7	11	1				
	学部共通科目	平和共生・沖縄理解基盤科目	共生社会入門	1・2前		2			○		4	5				
			基礎社会保障法	1・2後		2			○							兼1
			国際関係史	1・2後		2			○							兼1
			共生哲学	1前		2			○		1					
			琉球アジア研究概論	1・2後		2			○							兼3
		小計(5科目)	—		10				—	5	5					兼5
	形成科目	キャリア目	キャリア演習Ⅰ	2・3		2			○							兼1
			キャリア演習Ⅱ	2・3		2			○							兼1
			小計(2科目)	—		4				—						
	学科共通科目	学科基盤科目	人間の探究	1後		2			○		1					
			教育学入門	1後		2			○		1					
			心理学概論Ⅰ	1後		2			○		1					
			社会学原論Ⅰ	1後		2			○		1	1				
			社会福祉原論Ⅰ	1後		2			○			1				
			マス・コミ原論Ⅰ	1後		2			○			1				
小計(6科目)		—		12				—	4	3						
学科発展科目		哲学原論	哲学原論	2前		2			○							兼1
			教育社会学	2後		2			○		1					
			社会心理学	2後		2			○			1				
			臨床心理学	2後		2			○		1					
			精神医学	3後		2			○		1					
	国際比較社会学Ⅱ		2後		2			○		1						
障害者福祉論	2前		2			○			1							
地域と平和	2前		2			○				1						
小計(8科目)	—		16				—	4	2	1				兼1		
哲学・教育学プログ	ア基盤科目	プログラム目	哲学・教育学演習Ⅰ	2前		2			○		2	2				
			哲学・教育学演習Ⅱ	2後		2			○		2	2				
			小計(2科目)	—		4				—	2	2				
	ア発展科目	プログラム目	プログラム専門演習Ⅰ	3前		2			○		2	2				
			プログラム専門演習Ⅱ	3後		2			○		2	2				
			卒業研究Ⅰ	4前		2			○		2	2				
			卒業研究Ⅱ	4後		2			○		2	2				
	小計(4科目)	—		8				—	2	2						
	哲学・教育学プログ	哲学・教育学プログ	哲学史	1後		2			○							兼1
			宗教哲学入門	2前		2			○		1					
			倫理学原論	2前		2			○							兼1
			論理学概論	2後		2			○			1				
哲学A			2・3前		2			○			1					
哲学B			2・3後		2			○			1					
倫理学A			2・3前		2			○			1					
倫理学B			2・3後		2			○			1					
科学と哲学			4前		2			○			1					
論理学と哲学			3後		2			○			1					
認知哲学			3前		2			○			1					
真理と認識	2後		2			○		1								

ラム専門科目	プログラム発展科目	宗教哲学	3前	2		○			1				
		世界の宗教	3前	2		○						兼1	
		比較思想論	2前	2		○						兼1	
		思考と存在	2後	2		○			1				
		宗教学	3前	2		○			1				
		教育の社会理論	3前	2				○	1				
		教職入門	2前	2				○				兼1	
		教育原理	2前	2		○		○				兼1	
		教育学特論	2後	2		○						兼1	
		教育の社会史	2後	2		○						兼1	
		教育課程	3前	2		○						兼1	
		教育方法	3前	1		○						兼1	
		生徒指導	3後	1		○						兼1	
		教育行政学	3前	2		○						兼1	
		教育法	3後	2		○						兼1	
		教育福祉論A	3後	2		○			1				隔年
		教育福祉論B	3後	2				○	1				隔年
		道徳教育の研究	3後	2				○				兼1	
		特別活動に関する研究	3後	2		○						兼1	
		小計 (31科目)	—	60		—			2	2			兼13
ア 基 盤 科 目	プログラムコア	心理学概論Ⅱ	2前	2		○			1				
		心理学基礎実験	2前	2					5			オムニバス	
		心理学研究法	2後	2		○		1	5			オムニバス	
		心理学統計法Ⅰ	2前	2			○		1				
		小計 (4科目)	—	8		—		1	5				
ブ ロ グ ラ ム コ ア	プログラムコア	心理学統計法Ⅱ	2後	2		○			1				
		心理学演習	3前	2			○	1	5				
		心理学課題演習	3後	2			○	1	5				
		卒業研究Ⅰ	4前	2			○	1	5				
		卒業研究Ⅱ	4後	2			○	1	5				
小計 (5科目)	—	10		—		1	5						
心 理 学 ブ ロ グ ラ ム 専 門 科 目	プログラム発展科目	知覚・認知心理学	2後	2		○						兼1	
		学習・言語心理学	2・3後	2		○						兼1	
		神経・生理心理学	2・3後	2		○			1				
		心理調査概論	2後	2		○			1				
		文化心理学	3・4前	2		○						兼1	隔年
		コミュニティ心理学	3・4前	2		○			1				
		産業・組織心理学	3・4前	2		○			2				
		司法心理学	3後	2		○			1				
		発達心理学	3・4前	2		○						兼1	
		福祉心理学	3・4前	2		○						兼1	隔年
		心理アセスメントⅠ	2後	2		○			1				
		心理アセスメントⅡ	3前	2			○		1				
		障害児(者)心理学	3・4後	2		○			1			兼1	隔年
		心理療法論	2後	2		○						兼1	
		認知行動療法	3・4前	2		○			1				
		健康・医療心理学	3・4後	2		○			1				
		感情・人格心理学	3・4前	2		○			1				
		教育・学校心理学	3・4後	2		○						兼1	
		外国文献講読Ⅰ	2後	2			○			1			
		外国文献講読Ⅱ	3前	2			○					兼1	
		外国文献講読Ⅲ(発展)	4前	2			○					兼1	
		臨床心理学演習	3前	2			○		1	3			
		臨床心理学実習	3前	2				○	1	3			
		医学概論	2前	2		○			1				
		心理専門職キャリア概論Ⅰ	2・3前	2		○				4			オムニバス
		心理専門職キャリア概論Ⅱ	2・3後	2		○			1	1			
小計 (26科目)	—	52		—			1	5			兼4		
		社会学原論Ⅱ	2前	2		○		1	1				
		国際比較社会学Ⅰ	2前	2		○		1					
		社会学実習Ⅰ	2前	2				2	1				

社会学プログラム コア 基盤 科目	社会学実習Ⅱ	2後	2			○	2	1						
	社会福祉原論Ⅱ	2前	2			○		1						
	ソーシャルケースワークⅠ	2前	2			○	1							
	相談援助実習Ⅰ	3前	2					2						
	相談援助実習Ⅱ	3後	2					2						
	マス・コミ原論Ⅱ	2前	2			○		1						
	マス・コミ実習Ⅰ	2前	2						1					
	マス・コミ実習Ⅱ	2後	2					1					兼1	
	マス・コミ史	2後	2			○			1					
	小計 (12科目)	—	24			—	3	4	1				兼4	
	プログラム 発展 科目	専門演習Ⅰ	3前・後	2			○	4	1					
		専門演習Ⅱ	3後・4前	2			○	4	1					
		卒業研究Ⅰ	3後・4前	2			○	4	1					
		卒業研究Ⅱ	4前・後	2			○	4	1					
		小計 (4科目)	—	8			—	4	1					
	社会学 プログラム 専門 科目	社会調査法Ⅰ	2前	2			○	1						
		社会調査法Ⅱ	2後	2			○	1						
		家族社会学	2・3前・後	2			○	1						
		ライフコースの社会学	2・3前・後	2			○	1						
		沖縄移民とアイデンティティ	2・3前・後	2			○		1					
境界性の社会学		2・3前・後	2			○		1						
働くこととつながることの社会学Ⅰ		2・3前・後	2			○		1						
働くこととつながることの社会学Ⅱ		2・3前・後	2			○		1						
多文化共生の社会学Ⅰ		2・3前・後	2			○		1						
多文化共生の社会学Ⅱ		2・3前・後	2			○		1						
ソーシャルワークⅡ		2後	2			○	1							
相談援助演習Ⅰ		2後	2			○		2						
相談援助演習Ⅱ		3前	2			○		2						
相談援助演習Ⅲ		3後	2			○	1							
児童福祉論Ⅰ		2前	2			○	1							
児童福祉論Ⅱ		2後	2			○	1							
地域福祉の理論と方法		2前	2			○		1						
ソーシャルグループワーク		2・3前	2			○	1							
プログラム 発展 科目		公的扶助論	2・3前・後	2			○		1					
		高齢者福祉論	2前	2			○		1					
		相談援助実習指導Ⅰ	2後	2					2					
		相談援助実習指導Ⅱ	3前	2					2					
		相談援助実習指導Ⅲ	3後	2					2					
		介護概論	2後	2					1					兼1
		介護技術	2後	2					1					兼1
		就労支援サービス論	2・3前・後	2			○		1					
		福祉行財政と福祉計画	2・3前・後	2			○		1					
		ソーシャルワーク論Ⅰ	3前	2			○	1						
		ソーシャルワーク論Ⅱ	3後	2			○	1						
		保健医療概論	2後	2			○		1					
		人体構造及び日常生活行動に関する理解	4前	4					1					兼1
		加齢と障害に関する理解	4後	4					1					兼1
		マス・コミ調査分析	2前	2			○		1					
		マスコミュニケーション理論	2後	2			○		1					
		映像論	2前	2			○			1				
		情報と社会Ⅰ	3前	2			○		1					
		情報と社会Ⅱ	3後	2			○		1					
		新聞英語Ⅰ	2前	2			○			1				
新聞英語Ⅱ		2後	2			○			1					
大衆文化論		3後	2			○			1					
マス・コミ特殊講義Ⅰ		2前	2			○		1						
小計 (41科目)	—	86			—	4	4	1				兼3		
計 (153科目)	—	44	264		—	7	11	1				兼25		
学位又は称号	学士 (人文社会)		学位又は学科の分野				文学関係、社会学・社会福祉学関係							



I 設置の趣旨・必要性

1. 改組の概要-----3 学科 8 プログラム制の導入

(1) 新学部 of 名称

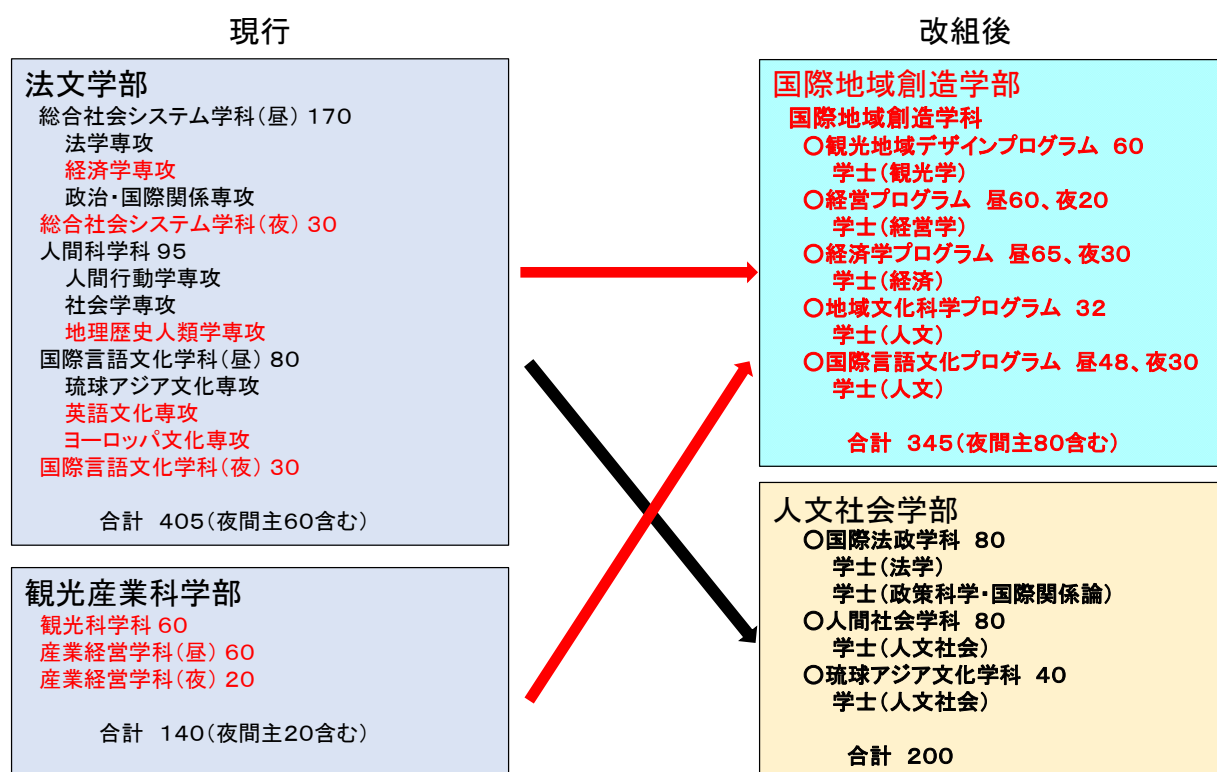
新学部は人文科学系の学問領域と社会科学系の学問領域からなる複合学部であり、人文社会系の専門的知と学際的知を基盤に、多様な社会や文化と共生しつつ、沖縄を始めとする地域社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目的としていることを踏まえて、その名称を「人文社会学部」(Faculty of Humanities and Social Sciences) とする。

(2) 学科 of 名称

学部としての理念を共有しながら、それぞれ特色を持つ次の 3 学科を設置する。

- ・人文社会学部 国際法政学科 (Department of Law, Politics and International Relations)
- ・人文社会学部 人間社会学科 (Department of Sociology and Human Sciences)
- ・人文社会学部 琉球アジア文化学科 (Department of Ryukyuan and Asian Studies)

組織移行図



※黒字は人文社会学部、赤字は国際地域創造学部へ移行

(3) 上記の学科の下に設置する 8 つのプログラム

上記の 3 学科のそれぞれに、身に付けるべき能力を育成する課程として、下記の 8 プログラムを設置する。

- ・国際法政学科：法学プログラム、政治・国際関係学プログラム
- ・人間社会学科：哲学・教育学プログラム、社会学プログラム、心理学プログラム
- ・琉球アジア文化学科：歴史民俗学プログラム、文学プログラム、言語学プログラム

#### (4) 入学定員

入学定員：200 人

ア 国際法政学科：80 人

イ 人間社会学科：80 人

ウ 琉球アジア文化学科：40 人

\*\*上記のほか、3 年次編入学定員を国際法政学科に 4 人、人間社会学科に 4 人、琉球アジア文化学科に 2 人設定する。

#### (5) 人文社会科学科において授与する学位

①哲学教育学プログラム：学士（人文社会）

②心理学プログラム：学士（人文社会）

③社会学プログラム：学士（人文社会）

## 2. 人文社会学部の 3 学科プログラム制導入の特徴とメリット

### (1) 新たな 3 学科の特色・強み

これまでの法文学部の 3 学科制は、人文社会系の大規模な学部としての特色・メリットはあったものの、反面、学科・専攻が持つ特色・強みが見えにくくなっていた。その問題点を是正するために、今回の改組においては、学部の規模をスリム化し「共生」という学部の理念を念頭に置きながら、「沖縄 21 世紀ビジョン」等に見られる社会のニーズや世界的な潮流を踏まえ、学問領域をその特色に従って 3 グループに分け、3 学科を編成することとした。すなわち、「共生」を「平和共生、豊かな精神性、沖縄らしさ」と具体化し、社会のニーズに応える三つの方向からのアプローチを際立たせ、3 つの特色ある学科を設置する。それぞれの学問分野の教育研究はもとより、「平和と共生」を教育研究する主な学科として法学や政治学を有する国際法政学科、「豊かな精神性及び安心安全と共生」を教育研究する主な学科として、心理学や福祉さらに哲学、教育学、社会学を有する人間社会学科、そして「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」について教育研究する主な学科として、琉球アジアを中心とする歴史学・民俗学、文学、言語学を有する琉球アジア文化学科を設置する。

### (2) 学部共通専門科目の設置

カリキュラムにおいても、従来の規模の大きい 3 学科では、専攻・コースの専門分野に偏ったものとなりがちで、学部共通の学際的な科目の提供がごく限られたものとなっていた。今回の改組で新たな特色を持つスリム化した 3 学科に改組することで、学部共通の専門科目が 3 科目 6 単位必修として設定することが出来た。（基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）、基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）、基礎演習Ⅲ（平和共生沖縄理解））

### (3) プログラム制の導入

#### 1) プログラム制の導入

今回の改組では、特定の学問の教授に偏ることを避け、身につけるべき能力（学位授与方針）を育成する「プログラム」制を導入する。

#### 2) 設置するプログラム

以上のような考え方に基づく学士課程教育は、大きく「知識・技能」の面と「思考・判断・表現、自主的協働」の面とに分けることができ、「知識・技能」はさらに専門的知識・技能と学際的知識・技能に分けられる。「思考・判断・表現、自主的協働」（コンピテンシー）は全ての知識・技能に共通である。したがって、プログラムの編成は、学部・学科の理念との関係における専門分野の知識・技

能に注目して行い、次のようなプログラムへの編成とする。

「豊かな精神性及び安心安全と共生」を、主に哲学と教育学の立場から教育研究する哲学・教育学プログラム、主に心理学の立場から教育研究する心理学プログラム、主に社会学や福祉の立場から教育研究する社会学プログラムを設置する。

### 3. 人間社会学科の特徴と意義

#### (1) 学科の特徴と意義

人間社会学科は、上述のように「豊かな精神性及び安心安全と共生」について、哲学や教育学の知を基に教育研究する学科である。

人間社会学科の特徴と意義は、個人の尊厳を保ち誰もが自由・公平に、また安心・安全に生きることが出来る社会の形成に貢献できる人材を育成することである。言い換えれば、人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的な知を基に、社会的弱者に配慮し、心豊かで安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献できる実践力を有する人材の育成が特徴と意義である。

#### (2) 各プログラムの特徴と意義

##### ①哲学・教育学プログラム

思想・倫理、教育・発達について学び、哲学・教育学分野と関連した高度な専門的能力、人間に対する深い洞察力と豊かな人間性に基づいて、多様な現代社会における複雑な問題に対して最適解を見いだすことのできる能力を身につけさせる。

##### ②心理学プログラム

心理学の専門的知に基づいて、誰もが安全・安心に暮らせる社会を構築することによって、沖縄を初めとする地域社会に貢献できる人材を養成する。そのため、科学的方法により人間の特性や行動を理解することができ、それらをもとに心の安定や適切な対人関係に向けた働きかけができる能力を身につけさせる。取得可能な資格には、「認定心理士」、「認定心理士（心理調査）」がある。さらに「公認心理師」の受験資格も、卒業後一定の実務経験か、もしくは、大学院進学によって取得可能になる予定である。

##### ③社会学プログラム

人間集団としての社会のあり方や暮らしについて、共生・平和に関する基礎知識を基盤としながら社会学的な視点と方法を中心に読み解き、現前の課題に対して適切な処方箋を提示し、市民社会の発展や生活問題・福祉問題の解決に貢献しうる能力を身につけさせる。

## II 教育課程編成の考え方・特色

### 1. 学部、学科、プログラムの教育課程の考え方・特色

#### (1) 学部の教育課程の考え方・特色

人文社会学部は、平和・共生、豊かな精神性、沖縄らしさを特色とし、これらの学修を目的とする教育課程を編成する。その際、とりわけ留意するのは次の点である。

①特定の学問分野に限定された専門教育に偏ることがない幅広い総合的視野を養成するために、全学共通教育科目はもとより学部共通専門科目、学科共通専門科目を設定する。

②各専門分野の教育の質保証のため、順次制を意識した体系的な科目編成を行う。

③学生生活においてまた卒業後は社会において、専門的・学際的な知を活用してよりよく生きるために、コンピテンシー（最適解導出力等）を育成する科目を設定する。

④学生の科目履修等についての指導を効果的に行うため、引き続き指導教員制をとり、履修モデル等を活用する。

#### (2) 学科・プログラムの教育課程の基本的な考え方・特色

(ア) 人間社会学科の教育課程編成の基本的な考え方は、「(1) 人文社会学部の教育課程の考え方・特色」を踏まえて、個人の尊厳を保ち誰もが自由・公平に、また心豊かで安心・安全に生きることが出来る社会の形成に貢献できる人材を育成することである。そのために、人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的な知を身に付け、社会的弱者に配慮し、心豊かで安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献できる実践力を身につけさせる。そのために哲学、教育学、心理学、社会学がバランスよく学べるように学科共通専門科目を設置し、専門的な知と「心豊かで安心安全な共生」へ向けた科目、及びアクティブ・ラーニング（コンピテンシー・最適解導出力育成）を特色とする。

(イ) 哲学・教育学プログラム

全学の共通教育科目や学部共通専門科目、学科共通専門科目等によって学際的な幅広い知の修得を可能にすると共に、哲学・教育学の専門的な知の体系的な学びを基盤として「心豊かで安心安全な共生」に関連する専門科目を設定する。アクティブ・ラーニング（コンピテンシー・最適解導出力育成）は、学部共通基盤科目や「哲学・教育学演習」、「プログラム専門演習」、「卒業研究」を中心に取り入れる。

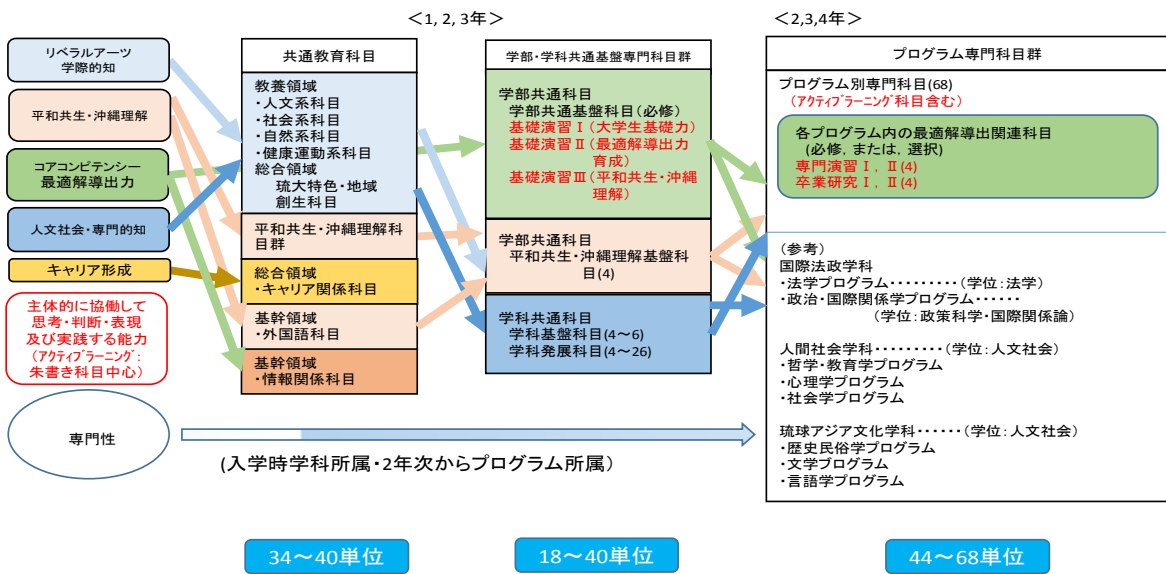
(ウ) 心理学プログラム

全学の共通教育科目や学部共通専門科目、学科共通専門科目等によって学際的な幅広い知の修得を可能にすると共に、心理学の専門的な知の体系的な学びを基盤として「心豊かで安心安全な共生」に関連する専門科目を設定する。アクティブ・ラーニングは、学部共通基盤科目や「心理学演習」、「卒業研究」を中心に取り入れる。

(エ) 社会学プログラム

全学の共通教育科目や学部共通専門科目、学科共通専門科目等によって学際的な幅広い知の修得を可能にすると共に、社会学の専門的な知の体系的な学びを基盤として「心豊かで安心安全な共生」に関連する専門科目を設定する。アクティブ・ラーニングは、学部共通基盤科目や実習科目、「プログラム専門演習」、「卒業研究」を中心に取り入れる。

人文社会学部の教育カリキュラム構成



## 2. カリキュラムの構成

### (1) 教育カリキュラムの構成と特徴

琉球大学では、科目区分は大きくは全学共通の「共通教育」と学部の「専門教育」に分かれる。人文社会学部では、「共通教育科目」は国際法政学科が34単位、人間社会学科と琉球アジア文化学科が36単位、及び「専門教育科目」は国際法政学科が90単位、他の2学科が88単位で構成される。

専門教育科目は、学びの順次性・体系性を確保するために、科目ごとに配当年次・学期を指定するとともに、順次性を表す科目番号（科目ナンバリング）を採用する。また、必要に応じて科目名にローマ数字による枝番を使用し、順次性を明示する（Ⅰ，Ⅱ，…）。

#### ①「共通教育科目」の履修

1～2年次を中心に、学生に全学共通の共通教育科目を履修させることによって、文系・理系の知にバランスよく触れ、外国語科目の履修によって国際性を身につける。人文社会学部の共通教育における特徴は、「平和共生・沖縄理解」に関係する科目を指定し、6単位以上の修得を定めていることである。「平和共生・沖縄理解」に関連する科目は共通教育にも多く提供されており、科目指定を行って、選択必修の形で履修させ、平和共生・沖縄理解に関する文系・理系の知を修得する。

#### ②「学部共通科目」の履修

学部共通科目のうち「学部共通基盤科目」は、「基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）」が1年次前期の配当で、大学生としての学びの基礎を修得する。「基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）」では課題解決における最適解の導出についてその基礎を学修し、次に「基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）」を履修し沖縄と平和、共生について学修する。いずれも必修科目であり（3科目6単位）、1年前期から2年後期の間の配当となる。

「平和共生・沖縄理解」に関しては、学部の共通科目としても「平和共生・沖縄理解基盤科目」を設定し、各プログラムの学問分野と関連付けながら、平和共生・沖縄理解について基盤となる知を修得する。

#### ③「学科共通科目」の履修

学科共通科目は、学科基盤科目と学科発展科目とからなる。学生はこれらの科目を順次履修することによって、学科の共通の基盤となる知を身につけ、さらに、その知を発展させる。

#### ④履修するプログラムの選択

以上の全学及び学部、学科に共通する科目を履修していく中で、幅広い領域の知と専門分野の知の基礎を学修し、同時に地域・国際的な問題に対する「最適解」の導出法の基礎を学修して、学生は2年次進級時に指導教員と相談しながら、履修するプログラムを決定する。

プログラムの配属に至るまでは、各プログラムから選出された複数名の指導教員が中心となり、学生の希望や1年次から興味関心に基づき履修した科目等にもとづき、プログラム決定までの指導を行う。たとえば、新入生オリエンテーション時や1年次の各学期終了時点で希望調査を実施し、その結果を学生に公表・周知する、配属に関する相談を希望する学生に対して個別相談に応ずる、プログラムごとの詳細な説明が必要な場合はプログラムごとに個別対応する、などを行う。

プログラムの決定にあたっては、各プログラムへの目安人数に数名程度の余裕をもたせ、できる限り学生の希望を反映させる。その人数を上回った場合は、1年次の成績を勘案して振り分けを行う。第1希望のプログラムに入れなかった学生は、第2希望ないし第3希望のプログラムに振り分けられる。また、配属プログラム決定後にプログラム変更を希望する学生に対しては、変更を希望する理由や、それまでの学修状況を勘案して、転プログラムを認める場合がある。

#### ⑤「プログラム専門科目」の履修

プログラム専門科目は「プログラムコア基盤科目」、「プログラムコア発展科目」及び「プログラム発展科目」である。これらの科目を順次履修することによって、学生は学部共通科目や学科共通

科目で培った知を基に、演習形式におけるアクティブ・ラーニングによってコンピテンシー（最適解導出力）を高めていき、専門的な学びを学年進行と共に深める。

4年次に人間社会学科は「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」（必修・各2単位）の履修を通して、学びの集大成としての卒業論文を完成させていく。卒業論文は、オリジナルな研究テーマに基づき、先行研究を踏まえ、資料やデータを整理・分析し、論理的で説得的な論文を書くことが求められる。提出された卒業論文は、テーマの独創性、研究手続きの妥当性、テーマの論証・実証の説得性、学術論文の基本的な執筆作法の遵守などを観点とする評価基準に基づいて評価される。

### 3. 最適解導出力育成について

#### (1) 最適解導出力について

今回の改組では、授業形式については講義形式だけではなく、いわゆるアクティブ・ラーニングやPBLを一歩深化させた学修を取り入れる。つまり、この学修によって学生はクリエイティブ・シンキングとクリティカル・シンキング（ロジカル・シンキング）を統合したものである「最適解導出力」を身に付け、それによるコミュニケーション力（この場合主にロジカル・クリティカルに明瞭なコミュニケーションという意味）を身につける。この最適解導出力の育成は、学部の教育課程の共通の特色の一つである。

従来のアクティブ・ラーニングやPBLによる学修が、学生の主体性を重んじる点は評価すべきであるが、問題（課題）に対する解決策（改善策）の導出に対しては、「自分の考えをまとめる」等の段階にとどまりがちで、その解決策の妥当性についてはあまり明確な視点からの検討が必ずしも行われていない。その結果、学生がまとめた考えの中には、かつてな思い込みや感情的なものがしばしば見られる。この問題点を解決すべく、最適解を導出する学修（最適解導出型学修）においては、クリエイティブ・シンキングとクリティカル・シンキング（ロジカル・シンキング）を統合して最適解を導き出し、最適解の満たすべき要件として「論理的な正しさ、倫理的な妥当性、実行可能性（コストやマンパワー等）」等の観点から「最適」であることを確認する。それによって、学生は自分の考えの妥当性を明確な根拠を持って主張できる力を身につけていく。この要件は同時に、最適解導出力の評価においても、これをチェックすることで、最適解導出力がどの程度身につけているかを測る観点ともなるものである。

この最適解導出力は、「学力の3要素」やOECDのEducation 2030における「キー・コンピテンシー」とも関連し、これまで言われてきたさまざまな能力（社会人基礎力等）の育成にも繋がり、また、最適解導出力は、平成24年度から全学的に導入されている「琉大グローバルシティズン・カリキュラム（University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum 以下 URGCC）」（下記の参考を参照）とも関係しており、本学全体の教育方針とも符合するものである。URGCCでは育成する能力として、（専門性の他）自律性、社会性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決の力6つの学習教育目標が設定されている。人文社会学部の教育課程の特色一つは、この学習教育目標を意識しながら、新しくコンピテンシー（最適解導出力）の観点を導入することである。

## 最適解導出課程と3つのシンキング

最適解導出

- ・問題の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の確定(明確化)＝クリティカル・シンキング(あるいはロジカル・シンキング)
- ・問題の原因の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の原因の確定＝ロジカル・シンキング(あるいはクリティカル・シンキング)
- ・問題の原因の解決策(最適解)の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の原因の解決策(最適解)の確定＝クリティカル・シンキング(論理、倫理、実行可能性(+その他)のバランスをとり、価値観や政策の選択・決定に関係。)

\* ロジカル・シンキングは、「厳密な論理的正しさ(100%)」(rational)を基本的に要求する。一方、クリティカルシンキングは厳密な論理的正しさだけでなく、基本的に「リーズナブルな論理的正しさ(reasonableness)」(「道理性」とも訳され、「理に適っている」という意味)でも十分だとする。現実の問題に対しては、リーズナブルな正しさで最適解を導出することの方が多。

### (2) 最適解導出力育成について

以上のような最適解導出力は、人文社会学部の学生全員が授業を中心に身につけることになるものである。そのための主要な科目は次の通りである。

まず、学部共通専門科目の「基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)」において、レポートや論文の作成法等と並んで、予備的に「最適解導出力」の学修と実践を行う。「基礎演習Ⅱ(最適解導出育成)」では、本格的に最適解導出についてアクティブ・ラーニングの形式でその基礎を身につける。「基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解)」では、「基礎演習Ⅱ(最適解導出)」で身につけた最適解導出力の基礎的力によって、平和共生・沖縄理解に関連する課題を実際に設定し、最適解導出力を応用する練習を行う。

さらに最適解導出力は、「プログラムコア基盤科目」の「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「プログラム専門演習Ⅰ」、「プログラム専門演習Ⅱ」において重点的に育まれ、通常の授業のレポート作成に対しても生かされつつ、集大成として卒業論文における最適解の導出(タイトル、章立て等に関して)という形で発揮される。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2学期
	1 学期の授業期間	15週
	1 時限の授業時間	90分

**【卒業要件】**

**卒業要件総単位数・・・124単位以上**

**1. 共通教育科目・・・36単位以上**

教養領域，総合領域，および基幹領域（情報関係）：24単位以上

- 健康運動系：2単位以上
- その他の領域：22単位以上
  - 人文系：2単位以上
  - 社会系：2単位以上
  - 自然系：2単位以上
  - キャリア関係：2単位以上
  - 平和共生・沖縄理解科目群\*：6単位以上

\*指定科目：戦争と平和の諸問題，平和論，核の科学，沖縄の基地と戦跡Ⅰ，Ⅱ，琉球アジア研究入門，琉球学入門，現代沖縄史，現代沖縄地域論

基幹領域（外国語）：12単位以上

- 第一外国語：8単位以上
- 第二外国語：4単位以上

共通教育									備考	合計(単位)
教養領域				総合領域			基幹領域			
健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生	キャリア関係	情報関係	外国語		
2単位以上	2単位以上	2単位以上	2単位以上			2単位以上		12単位以上		
指定科目なし	平和共生・沖縄理解科目群*から6単位以上						第1外国語8単位以上，第2外国語4単位以上			
22単位以上									36単位以上	

\*指定科目：戦争と平和の諸問題，平和論，核の科学，沖縄の基地と戦跡Ⅰ，Ⅱ，琉球アジア研究入門，琉球学入門，現代沖縄史，現代沖縄地域論

**2. 学部共通専門科目・・・10単位以上**

学部共通基盤科目：6単位（必修）

平和共生・沖縄理解基盤科目：4単位以上

※哲学・教育学コースにおいては、平和共生・沖縄理解基盤科目のうち共生哲学はプログラム発展科目として扱う。

**3. 学科共通専門科目・・・10単位以上**

学科基盤科目：6単位以上

※哲学・教育学プログラムにおいて、学科基盤科目のうち、人間の探究、教育学入門はプログラム発展科目として扱う。

学科発展科目：4単位以上

※哲学・教育学プログラムにおいては、学科発展科目のうち、哲学原論、教育社会学はプログラム発展科目として扱う。

※心理学プログラムにおいては、学科発展科目のうち、社会心理学、臨床心理学はプログラム発展科目、精神医学はプログラムコア発展科目として扱う。

**4. プログラム専門科目**

○哲学・教育学プログラム・・・42単位以上

プログラムコア基盤科目：4単位（必修）

プログラムコア発展科目：8単位（必修）（卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ（各2単位）含む）

プログラム発展科目：30単位以上

○心理学プログラム・・・46単位以上

プログラムコア基盤科目：12単位（必修）

プログラムコア発展科目：12単位（必修）（卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ（各2単位）含む）

プログラム発展科目：22単位以上

○社会学プログラム・・・42単位以上

プログラムコア基盤科目：8単位以上

プログラムコア発展科目：8単位（必修）（卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ（各2単位）含む）

プログラム発展科目：26単位以上

**5. 専門自由科目**

○哲学・教育学プログラム・・・26単位以上

○心理学プログラム・・・22単位以上

○社会学プログラム・・・26単位以上

\*専門自由科目：他プログラム・他学科・他学部提供の専門教育科目，本プログラム選択科目の履修要件を超えた専門教育科目卒業要件に相当する単位数を超えた共通教育科目（10単位まで）



**【履修方法】**

1. 共通教育科目のうち、教養領域、総合領域、および基幹領域（情報関係）の合計が24単位以上取得すること。  
その際、健康運動系、人文系、社会系、自然系、キャリア関係からそれぞれ2単位以上取得すること。  
さらに、平和共生・沖縄理解科目群の科目も6単位以上取得すること。  
平和共生・沖縄理解科目群の科目はそれぞれ人文系、社会系、総合領域の単位としてもカウントされる。
2. 一学期に登録できる単位数の上限は、20単位である。ただし、集中講義はこれの中に含めない。  
直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。  
また、教員免許等の資格取得予定者には指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(人文社会学部 琉球アジア文化学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)	1前	2				○		5	6					兼1	
	基礎演習Ⅱ(最適解導出育成)	1・2前・後	2				○		5	6					兼1	
	基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解)	1・2前・後	2				○		5	6					兼1	
	小計(3科目)	—	6				—		5	6					兼3	
	平和共生・沖縄理解 基盤科目	共生社会入門	1・2前		2			○								兼9
		基礎社会保障法	2後		2			○								兼1
		国際関係史	1・2後		2			○								兼1
		共生哲学	2前		2			○								兼1
		教育学入門	1後		2			○								兼2
		社会学原論Ⅰ	1後		2			○								兼1
社会福祉学原論Ⅰ		1後		2			○								兼1	
心理学概論Ⅰ		1後		2			○								兼1	
マス・コミ原論Ⅰ		1後		2			○								兼1	
琉球アジア研究概論		1・2後		2			○		5	6					兼1	
小計(10科目)	—		20				—	5	6					兼19		
キャリア形成科目	キャリア演習Ⅰ	2・3		2			○								兼1	
	キャリア演習Ⅱ	2・3		2			○								兼1	
	小計(2科目)	—		4			—								兼1	
専門教育科目	プログラムコア基盤科目	中琉関係史概論Ⅰ	1前		2			○								兼1
		中琉関係史概論Ⅱ	1後		2			○								兼1
		琉球史概論Ⅰ	1前		2			○		1						
		琉球史概論Ⅱ	1後		2			○			1					
		琉球民俗学概論Ⅰ	1前		2			○								兼1
		琉球民俗学概論Ⅱ	1後		2			○								兼1
	小計(6科目)	—		12			—		1	1					兼2	
	歴史民俗学プログラム 発展科目	琉球史基礎演習Ⅰ	3前		2			○		1						
		琉球史基礎演習Ⅱ	3後		2			○		1						
		琉球史基礎演習Ⅲ	3前		2			○			1					
		琉球史基礎演習Ⅳ	3後		2			○			1					
		琉球史演習Ⅰ	4前		2			○		1						
		琉球史演習Ⅱ	4後		2			○		1						
		琉球史演習Ⅲ	4前		2			○			1					
		琉球史演習Ⅳ	4後		2			○			1					
		琉球民俗学基礎演習Ⅰ	3前		2			○								兼1
		琉球民俗学基礎演習Ⅱ	3後		2			○								兼1
琉球民俗学演習Ⅰ		4前		2			○								兼1	
琉球民俗学演習Ⅱ	4後		2			○								兼1		
中琉関係史基礎演習Ⅰ	3前		2			○								兼1		
中琉関係史基礎演習Ⅱ	3後		2			○								兼1		
中琉関係史演習Ⅰ	4前		2			○								兼1		
中琉関係史演習Ⅱ	4後		2			○								兼1		
卒業論文	4通		4				○	1	1					兼2		
小計(17科目)	—		4	32			—	1	1					兼2		
琉球史史料講読 専門科目	琉球史史料講読Ⅰ	2・3前		2			○		1							
	琉球史史料講読Ⅱ	2・3後		2			○		1							
	琉球史史料講読Ⅲ	2・3前		2			○			1						
	琉球史史料講読Ⅳ	2・3後		2			○			1						
	琉球史史料講読Ⅴ	2・3前		2			○		1							
	琉球史史料講読Ⅵ	2・3後		2			○		1							
	琉球史史料講読Ⅶ	2・3前		2			○			1						
	琉球史史料講読Ⅷ	2・3後		2			○			1						

プログラム 発展科目	琉球史研究Ⅰ	2・3前	2	○	1						
	琉球史研究Ⅱ	2・3後	2	○	1						
	琉球史研究Ⅲ	2・3前	2	○	1						
	琉球史研究Ⅳ	2・3後	2	○	1						
	琉球史研究Ⅴ	2・3前	2	○		1					
	琉球史研究Ⅵ	2・3後	2	○		1					
	琉球史研究Ⅶ	2・3前	2	○		1					
	琉球史研究Ⅷ	2・3後	2	○		1					
	琉球民俗学野外調査Ⅰ	2・3前	2	○	1					兼1	
	琉球民俗学野外調査Ⅱ	2・3後	2	○	1					兼1	
	歴史伝承史料調査実習Ⅰ	2・3前	2	○	1						
	歴史伝承史料調査実習Ⅱ	2・3後	2	○	1						
	琉球民俗学研究Ⅰ	2・3前	2	○						兼1	
	琉球民俗学研究Ⅱ	2・3後	2	○						兼1	
	琉球民俗学研究Ⅲ	2・3前	2	○						兼1	
	琉球民俗学研究Ⅳ	2・3前	2	○						兼1	
	中琉関係史研究Ⅰ	2・3後	2	○						兼1	
	中琉関係史研究Ⅱ	2・3前	2	○						兼1	
	中琉関係史研究Ⅲ	2・3後	2	○						兼1	
	中琉関係史研究Ⅳ	2・3前	2	○						兼1	
	中琉関係史研究Ⅴ	2・3後	2	○						兼1	
中琉関係史研究Ⅵ	2・3前	2	○						兼1		
中琉関係史研究Ⅶ	2・3後	2	○						兼1		
小計 (31科目)	—	62	—		1	1				兼2	
プログラム コア 基盤 科目	中国文学概論Ⅰ	1前	2	○		1					
	中国文学概論Ⅱ	1後	2	○			1				
	日本文学概論Ⅰ	1前	2	○	1						
	日本文学概論Ⅱ	1後	2	○	1						
	琉球文学概論Ⅰ	1前	2	○		1					
	琉球文学概論Ⅱ	1後	2	○		1					
	朝鮮文学概論Ⅰ	1前	2	○		1					
	朝鮮文学概論Ⅱ	1後	2	○		1					
	小計 (8科目)	—	16	—		2	3				
プログラム コア 発展 科目	琉球文学基礎演習Ⅰ	3前	2	○		1					
	琉球文学基礎演習Ⅱ	3後	2	○		1					
	琉球文学演習Ⅰ	4前	2	○		1					
	琉球文学演習Ⅱ	4後	2	○		1					
	中国文学基礎演習Ⅰ	3前	2	○		1					
	中国文学基礎演習Ⅱ	3後	2	○		1					
	中国文学演習Ⅰ	3前	2	○		1					
	中国文学演習Ⅱ	3後	2	○		1					
	日本古典文学基礎演習Ⅰ	3前	2	○	1						
	日本古典文学基礎演習Ⅱ	3後	2	○	1						
	日本古典文学演習Ⅰ	4前	2	○	1						
	日本古典文学演習Ⅱ	4後	2	○	1						
	日本近代文学基礎演習Ⅰ	3前	2	○	1						
	日本近代文学基礎演習Ⅱ	3後	2	○	1						
	日本近現代文学演習Ⅰ	4前	2	○	1						
	日本近現代文学演習Ⅱ	4後	2	○	1						
	朝鮮文学基礎演習Ⅰ	3前	2	○		1					
	朝鮮文学基礎演習Ⅱ	3後	2	○		1					
	朝鮮文学演習Ⅰ	3前	2	○		1					
朝鮮文学演習Ⅱ	4後	2	○		1						
卒業論文	4通	4	○		2	3					
小計 (21科目)	—	4	40	—	2	3					
文学 プログラム 専門 科目	琉球文学講読Ⅰ	2・3前	2	○		1					
	琉球文学講読Ⅱ	2・3後	2	○		1					
	琉球文学講読Ⅲ	2・3前	2	○		1					
	琉球文学講読Ⅳ	2・3後	2	○		1					
	琉球文学特講Ⅰ	2・3前	2	○		1					
	琉球文学特講Ⅱ	2・3後	2	○		1					

プログラム 発展科目	琉球文学特講Ⅲ	2・3前	2	○			1				
	琉球文学特講Ⅳ	2・3後	2	○			1				
	日本文学特講Ⅰ	2・3前	2	○			1				
	日本文学特講Ⅱ	2・3後	2	○			1				
	日本文学特講Ⅲ	2・3前	2	○			1				
	日本文学特講Ⅳ	2・3後	2	○			1				
	日本文学史Ⅰ	2・3前	2	○			1				
	日本文学史Ⅱ	2・3後	2	○			1				
	中国古典文学特講Ⅰ	2・3前	2	○				1			
	中国古典文学特講Ⅱ	2・3後	2	○				1			
	中国近現代文学特講Ⅰ	2・3前	2	○				1			
	中国近現代文学特講Ⅱ	2・3後	2	○				1			
	日本文学野外演習Ⅰ	2・3前	2		○			1			
	日本文学野外演習Ⅱ	2・3後	2		○			1			
	琉球文学野外調査Ⅰ	2・3前	2		○			1			
	朝鮮文学講読Ⅰ	2・3前	2		○				1		
	朝鮮文学講読Ⅱ	2・3後	2		○				1		
	朝鮮文学講読Ⅲ	2・3前	2		○				1		
	朝鮮文学講読Ⅳ	2・3後	2		○				1		
	朝鮮文学特講Ⅰ	2・3前	2		○				1		
	朝鮮文学特講Ⅱ	2・3後	2		○				1		
	朝鮮文学特講Ⅲ	2・2前	2		○				1		
	朝鮮文学特講Ⅳ	2・3後	2		○				1		
	小計 (29科目)	—		58	—			2	3		
	プログラム コア 基盤 科目	中国語学概論Ⅰ	2前	2	○				1		
		中国語学概論Ⅱ	2後	2	○				1		
		日本語学概論Ⅰ	1前	2	○						兼1
		日本語学概論Ⅱ	1後	2	○						兼1
		琉球語学概論Ⅰ	1前	2	○				1		
琉球語学概論Ⅱ		1後	2	○				1			
小計 (6科目)		—		12	—				3		兼1
プログラム コア 発展 科目	琉球語学基礎演習Ⅰ	3前	2		○			1			
	琉球語学基礎演習Ⅱ	3後	2		○			1			
	琉球語学演習Ⅰ	4前	2		○			1			
	琉球語学演習Ⅱ	4後	2		○			1			
	中国語学基礎演習Ⅰ	3前	2		○			2			
	中国語学基礎演習Ⅱ	3後	2		○			2			
	中国語学演習Ⅰ	4前	2		○			2			
	中国語学演習Ⅱ	4後	2		○			2			
	日本語学基礎演習Ⅰ	3前	2		○					兼1	
	日本語学基礎演習Ⅱ	3後	2		○					兼1	
	日本語学演習Ⅰ	4前	2		○					兼1	
	日本語学演習Ⅱ	4後	2		○					兼1	
	卒業論文	4通	4			○			3		兼1
小計 (13科目)	—	4	24	—				3		兼1	
言語学 プログラム 専門 科目	音声学Ⅰ	2前	2	○				1			
	音声学Ⅱ	2後	2	○				1			
	琉球語学特講Ⅰ	2・3前	2	○				1			
	琉球語学特講Ⅱ	2・3後	2	○				1			
	琉球語学特講Ⅲ	2・3前	2	○				1			
	琉球語学特講Ⅳ	2・3後	2	○				1			
	琉球語学特講Ⅴ	2・3前	2	○				1			
	琉球語学特講Ⅵ	2・3後	2	○				1			
	言語地理学実地調査Ⅰ	2・3前	2			○		1			
	言語地理学実地調査Ⅱ	2・3後	2			○		1			
	琉球語学野外調査Ⅰ	2・3前	2			○		1			
	琉球語学野外調査Ⅱ	2・3後	2			○		1			
	琉球語学野外調査Ⅲ	2・3前	2			○		1			
	琉球語学野外調査Ⅳ	2・3後	2			○		1			
	中国語史Ⅰ	2・3前	2		○				1		
中国語史Ⅱ	2・3後	2		○				1			

プログラム 発展科目	中国語学特講 I	2・3前	2	○		1			
	中国語学特講 II	2・3後	2	○		1			
	中国語学特講 III	2・3前	2	○		1			
	中国語学特講 IV	2・3後	2	○		1			
	中国語学講読 I	2・3前	2		○	1			
	中国語学講読 II	2・3後	2		○	1			
	中国語学講読 III	3・4前	2		○	1			
	中国語学講読 IV	3・4後	2		○	1			
	日本語学特講 I	2・3前	2	○					兼1
	日本語学特講 II	2・3後	2	○					兼1
	言語学外書講読 I	2・3前	2		○				兼1
	言語学外書講読 II	2・3後	2		○				兼1
	言語学外書講読 III	2・3前	2		○				兼1
	言語学外書講読 IV	2・3後	2		○				兼1
	古典日本語概論 I	2・3前	2	○		1			
	古典日本語概論 II	2・3後	2	○		1			
	日本語文法論 I	2・3前	2	○					兼1
	日本語文法論 II	2・3後	2	○					兼1
	書道	2・3後	1			○			兼1
	日本語教材研究 I	2・3前	2	○					兼1
日本語教材研究 II	2・3後	2	○					兼1	
小計 (37科目)	—		73	—		1	3		兼3
計 (183科目)	—	18	353	—		5	6		兼23
学位又は称号	学士 (人文社会)		学位又は学科の分野			文学関係			

I 設置の趣旨・必要性

1. 改組の概要-----3 学科 8 プログラム制の導入 (3 学科共通記述)

(1) 新学部の名称

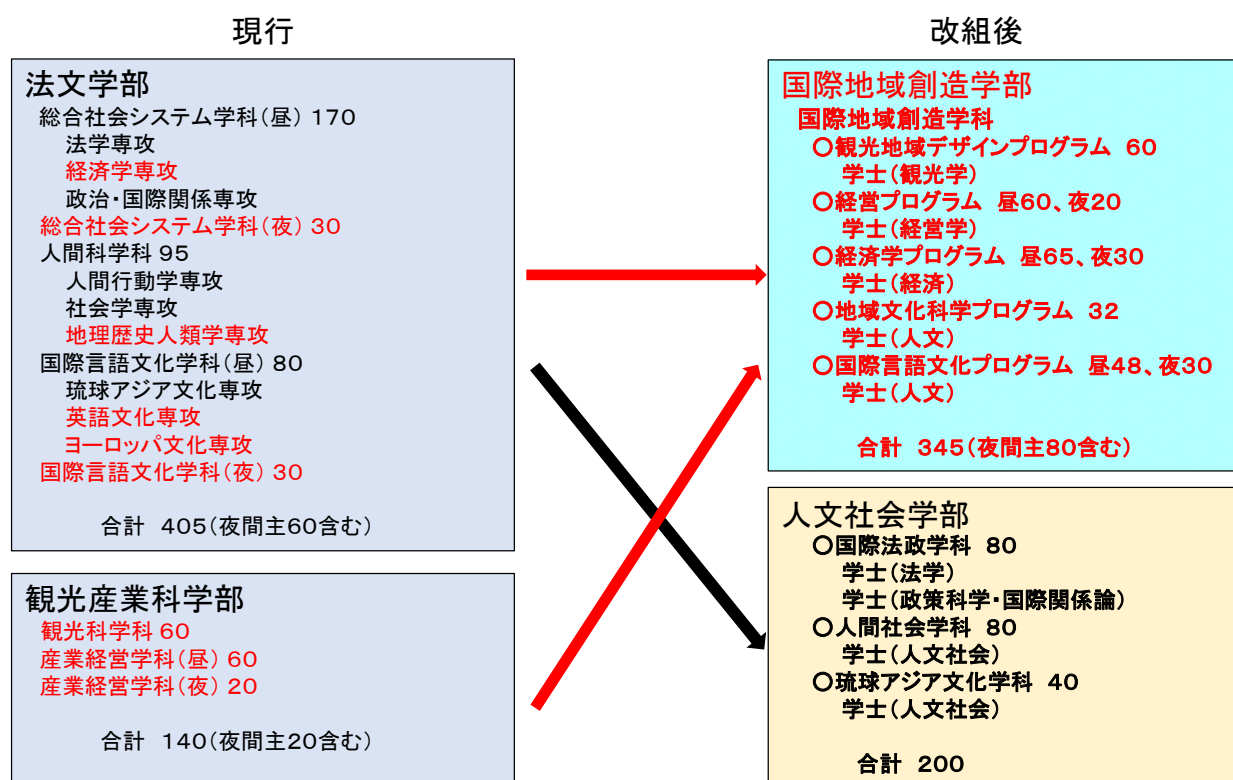
新学部は人文科学系の学問領域と社会科学系の学問領域からなる複合学部であり、人文社会系の専門的知と学際的知を基盤に、多様な社会や文化と共生しつつ、沖縄を始めとする地域社会の持続的発展に貢献できる人材の育成を目的としていることを踏まえて、その名称を「人文社会学部」(Faculty of Humanities and Social Sciences) とする。

(2) 学科の名称

学部としての理念を共有しながら、それぞれ特色を持つ次の 3 学科を設置する。

- ・人文社会学部 国際法政学科 (Department of Law, Politics and International Relations)
- ・人文社会学部 人間社会学科 (Department of Sociology and Human Sciences)
- ・人文社会学部 琉球アジア文化学科 (Department of Ryukyuan and Asian Studies)

組織移行図



※黒字は人文社会学部、赤字は国際地域創造学部へ移行

(3) 上記の学科の下に設置する 8 つのプログラム

上記の 3 学科のそれぞれに、身に付けるべき能力を育成する課程として、下記の 8 プログラムを設置する。

- ・国際法政学科：法学プログラム、政治・国際関係学プログラム
- ・人間社会学科：哲学・教育学プログラム、社会学プログラム、心理学プログラム
- ・琉球アジア文化学科：歴史民俗学プログラム、文学プログラム、言語学プログラム

#### (4) 入学定員

入学定員：200 人

ア 国際法政学科：80 人

イ 人間社会学科：80 人

ウ 琉球アジア文化学科：40 人

\*入学定員 200 人のほか、3 年次編入学定員 10 人を外数で加える。内訳は、国際法政学科が 4 人、人間社会学科が 4 人、琉球アジア文化学科が 2 人である。

#### (5) 琉球アジア文化学科において授与する学位

①歴史民俗学プログラム：学士（人文社会）

②文学プログラム：学士（人文社会）

③言語学プログラム：学士（人文社会）

## 2. 人文社会学部の 3 学科プログラム制導入の特徴とメリット

### (1) 新たな 3 学科の特色・強み

これまでの法文学部の 3 学科制は、人文社会系の大規模な学部としての特色・メリットはあったものの、反面、学科・専攻が持つ特色・強みが見えにくくなっていた。その問題点を是正するために、今回の改組においては、学部の規模をスリム化し「共生」という学部の理念を念頭に置きながら、「沖縄 21 世紀ビジョン」等に見られる社会のニーズや世界的な潮流を踏まえ、学問領域をその特色に従って 3 グループに分け、3 学科を編成することとした。すなわち、「共生」を「平和共生、豊かな精神性、沖縄らしさ」と具体化し、社会のニーズに応える三つの方向からのアプローチを際立たせ、3 つの特色ある学科を設置する。それぞれの学問分野の教育研究はもとより、「平和と共生」を教育研究する主な学科として法学や政治学を有する国際法政学科、「豊かな精神性及び安心安全と共生」を教育研究する主な学科として、心理学や福祉さらに哲学、教育学、社会学を有する人間社会学科、そして「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」について教育研究する主な学科として、琉球アジアを中心とする歴史学・民俗学、文学、言語学を有する琉球アジア文化学科を設置する。

### (2) 学部共通専門科目の設置

カリキュラムにおいても、従来の規模の大きい 3 学科では、専攻・コースの専門分野に偏ったものとなりがちで、学部共通の学際的な科目の提供がごく限られたものとなっていた。今回の改組で新たな特色を持つスリム化した 3 学科に改組することで、学部共通の専門科目が 3 科目 6 単位必修として設定することが出来た。（基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）、基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）、基礎演習Ⅲ（平和共生沖縄理解））

### (3) プログラム制の導入と 8 プログラム

#### 1) プログラム制の導入

今回の改組では、特定の学問の教授に偏ることを避け、身につけるべき能力（学位授与方針）を育成する「プログラム」制を導入する。

#### 2) 設置するプログラム

以上のような考え方に基づく学士課程教育は、大きく「知識・技能」の面と「思考・判断・表現、自主的協働」の面とに分けることができ、「知識・技能」はさらに専門的知識・技能と学際的知識・技能に分けられる。「思考・判断・表現、自主的協働」（コンピテンシー）は全ての知識・技能に共通である。したがって、プログラムの編成は、学部・学科の理念との関係における専門分野の知識・技能

に注目して行い、次のようなプログラムへの編成とする。

「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」を、主に歴史学・民俗学の立場から教育研究する歴史民俗学プログラム、主に文学の立場から教育研究する文学プログラム、主に言語学の立場から教育研究する言語学プログラムを設置する。

### 3. 琉球アジア文化学科の特徴と意義

#### (1) 学科の特徴と意義

琉球アジア文化学科は、上述のように「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」について、琉球・沖縄を中軸としつつ、その琉球・沖縄と歴史的かつ文化的に密接な関係を有する日本そして東アジア地域の、歴史学・民俗学、文学、言語学の知を基に教育研究する学科である。本学科が教育研究の対象にする具体的な地域は琉球諸島、日本、中国、台湾、朝鮮半島であり、「琉球アジア」とは主にこれらの地域を指す。琉球アジア文化学科の特徴と意義は、琉球・沖縄を始めとするこれらの諸地域の社会と文化を深く理解し、継承発展させ、発信する実践力を有する人材の育成である。

#### (2) 各プログラムの特徴と意義

##### ①歴史民俗学プログラム

琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の歴史・民俗学に関する研究を通じて専門知識を深め、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを的確かつ積極的に指導・教育・発信することのできる人材を養成する。そのために、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力を修得させる。

##### ②文学プログラム

琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の文学に関する研究を通じて専門知識を深め、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを的確かつ積極的に指導・教育・発信することのできる人材を養成する。そのために、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力を修得させる。

##### ③言語学プログラム

琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の言語学に関する研究を通じて専門知識を深め、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを的確かつ積極的に指導・教育・発信することのできる人材を養成する。そのために、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力を修得させる。

## II 教育課程編成の考え方・特色

### 1. 学部、学科、プログラムの教育課程の考え方・特色

#### (1) 学部の教育課程の考え方・特色

人文社会学部は、平和・共生、豊かな精神性、沖縄らしさを特色とし、これらの学修を目的とする教育課程を編成する。その際、とりわけ留意するのは次の点である。

- ①特定の学問分野に限定された専門教育に偏ることがない幅広い総合的視野を養成するために、全学共通教育科目はもとより学部共通専門科目、学科共通専門科目を設定する。
- ②各専門分野の教育の質保証のため、順次制を意識した体系的な科目編成を行う。
- ③学生生活においてまた卒業後は社会において、専門的・学際的な知を活用してよりよく生きるために、コンピテンシー（最適解導出力等）を育成する科目を設定する。
- ④学生の科目履修等についての指導を効果的に行うため、引き続き指導教員制をとり、履修モデル等を活用する。

#### (2) 学科・プログラムの教育課程の基本的な考え方・特色

(ア) 琉球アジア文化学科の教育課程編成の基本的な考え方は、「(1) 人文社会学部の教育課程の考



え方・特色」を踏まえて、琉球アジア文化学科の特色である「沖縄らしさ」、「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」について、琉球アジアを主な対象とする歴史学、民俗学、文学、言語学の知が修得できるように、さらにはそれだけではなく、その知を継承発展させ、発信する実践力が身につく教育課程を編成することである。そして、「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」へ向けた科目、及びアクティブ・ラーニング（コンピテンシー・最適解導出力育成）を特色とする。

(イ) 歴史民族学プログラム

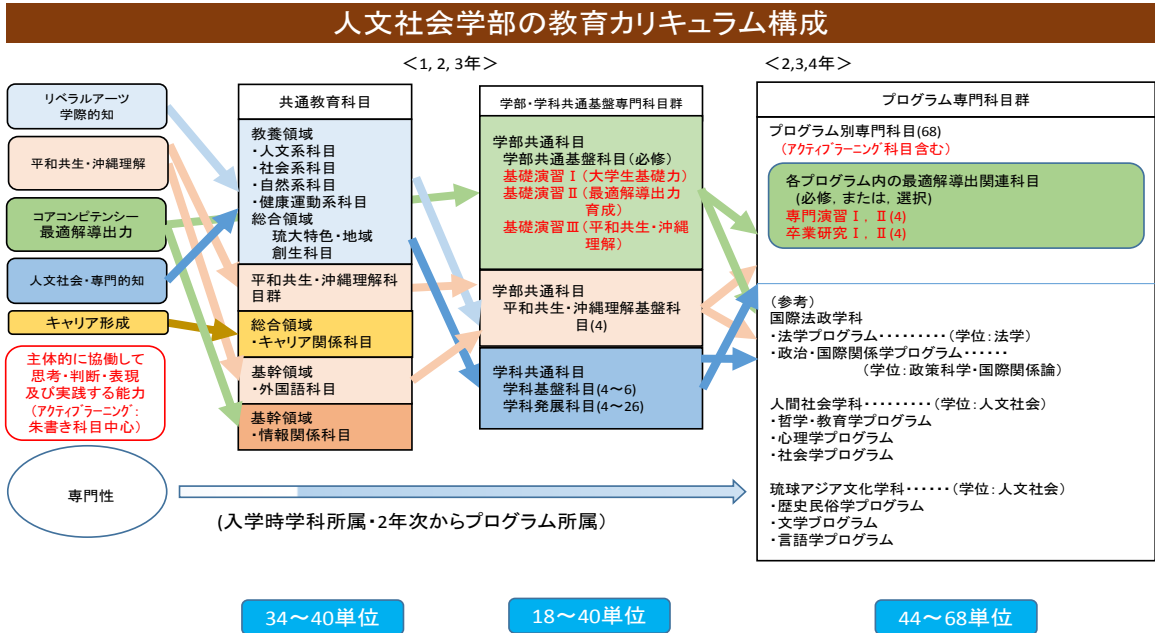
全学の共通教育科目や学部共通専門科目、学科共通専門科目等によって学際的な幅広い知の修得を可能にすると共に、琉球アジアの歴史学、民俗学の専門的な知の体系的な学びを基盤として、「沖縄らしさ」、「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」に関連する専門科目を設定する。アクティブ・ラーニング（コンピテンシー・最適解導出力育成）は、学部共通基盤科目や「演習」、「卒業論文」を中心に取り入れる。

(ウ) 文学プログラム

全学の共通教育科目や学部共通専門科目、学科共通専門科目等によって学際的な幅広い知の修得を可能にすると共に、琉球アジアの文学の専門的な知の体系的な学びを基盤として「沖縄らしさ」、「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」に関連する専門科目を設定する。アクティブ・ラーニングは、学部共通基盤科目や「演習」、「卒業論文」を中心に取り入れる。

(エ) 言語学プログラム

全学の共通教育科目や学部共通専門科目、学科共通専門科目等によって学際的な幅広い知の修得を可能にすると共に、琉球アジアの言語学の専門的な知の体系的な学びを基盤として「沖縄らしさ」、「琉球・沖縄の歴史及び現実と共生」に関連する専門科目を設定する。アクティブ・ラーニングは、学部共通基盤科目や「演習」、「卒業論文」を中心に取り入れる。



2. カリキュラムの構成

(1) 教育カリキュラムの構成と特徴

琉球大学では、科目区分は大きくは全学共通の「共通教育」と学部の「専門教育」に分かれる。人

文社会学部では、「共通教育科目」は国際法政学科が 34 単位、人間社会学科と琉球アジア文化学科が 36 単位、及び「専門教育科目」は国際法政学科が 90 単位、他の 2 学科が 88 単位で構成される。

専門教育科目は、学びの順次性・体系性を確保するために、科目ごとに配当年次・学期を指定するとともに、順次性を表す科目番号（科目ナンバリング）を採用する。

#### ①「共通教育科目」の履修

1～2 年次を中心に、学生に全学共通の共通教育科目を履修させることによって、文系・理系の知にバランスよく触れ、外国語科目の履修によって国際性を身につける。人文社会学部の共通教育における特徴は、「平和共生・沖縄理解」に関係する科目を指定し、6 単位以上の修得を定めていることである。「平和共生・沖縄理解」に関連する科目は共通教育にも多く提供されており、科目指定を行って、選択必修の形で履修させ、平和共生・沖縄理解に関する文系・理系の知を修得する。

#### ②「学部共通科目」の履修

学部共通科目のうち「学部共通基盤科目」は、「基礎演習Ⅰ（大学生基礎力）」が 1 年次前期の配当で、大学生としての学び基礎を修得する。「基礎演習Ⅱ（最適解導出力育成）」では課題解決における最適解の導出についてその基礎を学修し、次に「基礎演習Ⅲ（平和共生・沖縄理解）」を履修し沖縄と平和、共生について学修する。いずれも必修科目であり（3 科目 6 単位）、1 年前期から 2 年後期の間の配当となる。

「平和共生・沖縄理解」に関しては、学部の共通科目としても「平和共生・沖縄理解基盤科目」を設定し、各プログラムの学問分野と関連付けながら、平和共生・沖縄理解について基盤となる知を修得する。

#### ③「学科共通科目」の履修

学科共通科目は、学科基盤科目と学科発展科目とからなる。学生はこれらの科目を順次履修することによって、学科の共通の基盤となる知を身につけ、さらに、その知を発展させる。

#### ④履修するプログラムの選択

以上の全学及び学部、学科に共通する科目を履修していく中で、幅広い領域の知と専門分野の知の基礎を学修し、同時に地域・国際的な問題に対する「最適解」の導出法の基礎を学修して、学生は 2 年次進級時に指導教員と相談しながら、履修するプログラムを決定する。

プログラムの配属に至るまでは、各プログラムから選出された複数名の指導教員が中心となり、学生の希望や 1 年次から興味関心に基づき履修した科目等にもとづき、プログラム決定までの指導を行う。たとえば、新入生オリエンテーション時や 1 年次の各学期終了時点で希望調査を実施し、その結果を学生に公表・周知する、配属に関する相談を希望する学生に対して個別相談に応ずる、プログラムごとの詳細な説明が必要な場合はプログラムごとに個別対応する、などを行う。

プログラムの決定にあたっては、各プログラムへの目安人数に数名程度の余裕をもたせ、できる限り学生の希望を反映させる。その人数を上回った場合は、1 年次の成績を勘案して振り分けを行う。第 1 希望のプログラムに入れなかった学生は、第 2 希望ないし第 3 希望のプログラムに振り分けられる。また、配属プログラム決定後にプログラム変更を希望する学生に対しては、変更を希望する理由や、それまでの学修状況を勘案して、転プログラムを認める場合がある。

#### ⑤「プログラム専門科目」の履修

プログラム専門科目は「プログラムコア基盤科目」、「プログラムコア発展科目」及び「プログラム発展科目」である（国際法政学科は「プログラム基盤科目」と「プログラム発展科目」）。これらの科目を順次履修することによって、学生は学部共通科目や学科共通科目で培った知を基に、演習形式におけるアクティブ・ラーニングによってコンピテンシー（最適解導出力）を高めていき、専門的な学びを学年進行と共に深める。

4 年次に、琉球アジア文化学科は「卒業論文」（必修・4 単位）の履修を通して、学びの集大成と

しての卒業論文を完成させていく。卒業論文は、オリジナルな研究テーマに基づき、先行研究を踏まえ、資料やデータを整理・分析し、論理的で説得的な論文を書くことが求められる。提出された卒業論文は、テーマの独創性、研究手続きの妥当性、テーマの論証・実証の説得性、学術論文の基本的な執筆作法の遵守などを観点とする評価基準に基づいて評価される。

### 3. 最適解導出力育成について

#### (1) 最適解導出力について

今回の改組では、授業形式については講義形式だけではなく、いわゆるアクティブ・ラーニングやPBLを一步深化させた学修を取り入れる。つまり、この学修によって学生はクリエイティブ・シンキングとクリティカル・シンキング（ロジカル・シンキング）を統合したものとしての「最適解導出力」を身に付け、それによるコミュニケーション力（この場合主にロジカル・クリティカルに明瞭なコミュニケーションという意味）を身につける。この最適解導出力の育成は、学部の教育課程の共通の特色の一つである。

従来のアクティブ・ラーニングやPBLによる学修が、学生の主体性を重んじる点は評価すべきであるが、問題（課題）に対する解決策（改善策）の導出に対しては、「自分の考えをまとめる」等の段階にとどまりがちで、その解決策の妥当性についてはあまり明確な視点からの検討が必ずしも行われていない。その結果、学生がまとめた考えの中には、かつてない思い込みや感情的なものがしばしば見られる。この問題点を解決すべく、最適解を導出する学修（最適解導出型学修）においては、クリエイティブ・シンキングとクリティカル・シンキング（ロジカル・シンキング）を統合して最適解を導き出し、最適解の満たすべき要件として「論理的な正しさ、倫理的な妥当性、実行可能性（コストやマンパワー等）」等の観点から「最適」であることを確認する。それによって、学生は自分の考えの妥当性を明確な根拠を持って主張できる力を身につけていく。この要件は同時に、最適解導出力の評価においても、これをチェックすることで、最適解導出力がどの程度身につけているかを測る観点ともなるものである。

この最適解導出力は、「学力の3要素」やOECDのEducation 2030における「キー・コンピテンシー」とも関連し、これまで言われてきたさまざまな能力（社会人基礎力等）の育成にも繋がり、また、最適解導出力は、平成24年度から全学的に導入されている「琉大グローバルシティズン・カリキュラム（University of the Ryukyus Global Citizen Curriculum 以下URGCC）」（下記の参考を参照）とも関係しており、本学全体の教育方針とも符合するものである。URGCCでは育成する能力として、（専門性の他）自律性、社会性、コミュニケーション・スキル、情報リテラシー、問題解決の力6つの学習教育目標が設定されている。人文社会学部の教育課程の特色一つは、この学習教育目標を意識しながら、新しくコンピテンシー（最適解導出力）の観点を導入することである。

## 最適解導出課程と3つのシンキング

最適解導出

- ・問題の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の確定(明確化)＝クリティカル・シンキング(あるいはロジカル・シンキング)
- ・問題の原因の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の原因の確定＝ロジカル・シンキング(あるいはクリティカル・シンキング)
- ・問題の原因の解決策(最適解)の発見(気づき)＝クリエイティブ・シンキング
- ・問題の原因の解決策(最適解)の確定＝クリティカル・シンキング(論理、倫理、実行可能性(+その他)のバランスをとり、価値観や政策の選択・決定に関係。)

\* ロジカル・シンキングは、「厳密な論理的正しさ(100%)」(rational)を基本的に要求する。一方、クリティカルシンキングは厳密な論理的正しさだけでなく、基本的に「リーズナブルな論理的正しさ(reasonableness)」(「道理性」とも訳され、「理に適合している」という意味)でも十分だとする。現実の問題に対しては、リーズナブルな正しさで最適解を導出することの方が多。

### (2) 最適解導出力育成について

以上のような最適解導出力は、人文社会学部の学生全員が授業を中心に身につけることになるものである。そのための主要な科目は次の通りである。

まず、学部共通専門科目の「基礎演習Ⅰ(大学生基礎力)」において、レポートや論文の作成法等と並んで、予備的に「最適解導出力」の学修と実践を行う。「基礎演習Ⅱ(最適解導出育成)」では、本格的に最適解導出についてアクティブ・ラーニングの形式でその基礎を身につける。「基礎演習Ⅲ(平和共生・沖縄理解)」では、「基礎演習Ⅱ(最適解導出)」で身につけた最適解導出力の基礎的力によって、平和共生・沖縄理解に関連する課題を実際に設定し、最適解導出力を応用する練習を行う。

さらに最適解導出力は、「プログラムコア基盤科目」の「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「プログラム専門演習Ⅰ」、「プログラム専門演習Ⅱ」において重点的に育まれ、通常の授業のレポート作成に対しても生かされつつ、集大成として卒業論文における最適解の導出(タイトル、章立て等に関して)という形で発揮される。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2学期
	1 学期の授業期間	15週
	1 時限の授業時間	90分

**【卒業要件】**

**卒業要件総単位数・・・124単位以上**

**1. 共通教育科目・・・36単位以上**

教養領域，総合領域，および基幹領域（情報関係：20単位以上）

- 健康運動系：2単位以上
- その他の領域：18単位以上
- 人文系：2単位以上
- 社会系：2単位以上
- 自然系：2単位以上
- 情報系：2単位以上
- 平和共生・沖縄理解科目群\*：6単位以上

\*指定科目：戦争と平和の諸問題，平和論，核の科学，沖縄の基地と戦跡Ⅰ，Ⅱ，琉球アジア研究入門，琉球学入門，現代沖縄史，現代沖縄地域論

基幹領域（外国語）：16単位以上

- 第一外国語：8単位以上
- 第二外国語：8単位以上

共通教育									備考	合計(単位)
教養領域			総合領域			基幹領域				
健康運動	人文	社会	自然	総合	琉大特色・地域創生	キャリア関係	情報関係	外国語		
2単位以上	2単位以上	2単位以上	2単位以上				2単位以上	16単位以上		
指定科目なし	平和共生・沖縄理解科目群*から6単位以上						第1外国語8単位以上，第2外国語8単位以上			36単位以上
	18単位以上									

\*指定科目：戦争と平和の諸問題，平和論，核の科学，沖縄の基地と戦跡Ⅰ，Ⅱ，琉球アジア研究入門，琉球学入門，現代沖縄史，現代沖縄地域論

**2. 学部共通専門科目・・・10単位以上**

学部共通基盤科目：6単位（必修）

平和共生・沖縄理解基盤科目：4単位以上

**3. 学科共通専門科目・・・8単位以上**

学科基盤科目：4単位以上

※他プログラムのプログラムコア基盤科目を学科基盤科目として扱う。

学科発展科目：4単位以上

※他プログラムのプログラム発展科目を学科発展科目として扱う。

**4. プログラム専門科目・・・48単位以上**

プログラムコア基盤科目：8単位以上

プログラムコア発展科目：12単位以上（卒業論文（必修）4単位含む）

プログラム発展科目：28単位以上

**5. 専門自由科目・・・22単位以上**

\*専門自由科目：他プログラム・他学科・他学部提供の専門教育科目，本プログラムの選択科目の合計を超えて履修した専門教育科目  
卒業要件に相当する単位数を超えた共通教育科目（10単位まで）

**【履修方法】**

1. 共通教育科目のうち，教養領域，総合領域，および基幹領域（情報関係）の合計が22単位以上取得すること。

その際，健康運動系，人文系，社会系，自然系，情報関係からそれぞれ2単位以上取得すること。

さらに，平和共生・沖縄理解科目群の科目も6単位以上取得すること。

平和共生・沖縄理解科目群の科目はそれぞれ人文系，社会系，総合領域の単位としてもカウントされる。

2. 一学期に登録できる単位数の上限は，20単位である。ただし，集中講義はこの中に含まない。

直前に在学した学期の5段階評価によるGPAが3.0以上の者は指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

また，教員免許等の資格取得予定者には指導教員の指導・承認を得て26単位まで認める。

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 全学科共通 共通教育科目【既設】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養領域 人文系科目	人間と哲学の知	1・2・3・4		2		○									兼2
	人間と世界	1・2・3・4		2		○									兼2
	思考の論理入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	思考の論理	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋思想とインドの思想	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋思想と日本・中国の思想	1・2・3・4		2		○									兼1
	生き方の探究	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	環境の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の科学	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間関係論	1・2・3・4		2		○									兼1
	心の実験室	1・2・3・4		2		○									兼1
	アジアの人生観	1・2・3・4		2		○									兼1
	科学技術の倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	生命倫理	1・2・3・4		2		○									兼1
	「私」の哲学	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間と宗教	1・2・3・4		2		○									兼1
	人間観と教育	1・2・3・4		2		○									兼1
	近代日本の社会と表現	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本古典文学の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	文学の楽しみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	小説の社会学	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばの生態	1・2・3・4		2		○									兼1
	ことばの構造と意味	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語のしくみ	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本語のはたらき	1・2・3・4		2		○									兼1
	中国古典文学の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	20世紀の中国文学	1・2・3・4		2		○									兼1
	アメリカの文学と社会の誕生	1・2・3・4		2		○									兼1
	アメリカの文学と近代社会	1・2・3・4		2		○									兼1
	歴史を掘る	1・2・3・4		2		○									兼1
	東洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	西洋の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	日本の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	朝鮮の歴史と文化	1・2・3・4		2		○									兼1
	考古学入門	1・2・3・4		2		○									兼1
	宗教と世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	音楽の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	美術の世界	1・2・3・4		2		○									兼1
	オーケストラの楽しみ	1・2・3・4		2				○							兼1
	コーラルアンサンブルの楽しみ	1・2・3・4		2				○							兼1
楽しく学ぶギター弾き語りⅠ	1・2・3・4		2				○							兼1	
楽しく学ぶギター弾き語りⅡ	1・2・3・4		2				○							兼1	
ステージスタッフ総合活動	1・2・3・4		2				○							兼1	
美術って何？	1・2・3・4		2		○									兼1	
美術と社会	1・2・3・4		2		○									兼1	
色彩の世界	1・2・3・4		2		○									兼1	
陶芸の世界	1・2・3・4		2		○									兼1	
比較思想文化論	1・2・3・4		2		○									兼1	

	日本語研究入門	1・2・3・4	2	○							兼1
	人文系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
	人文系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
教養領域	法と社会	1・2・3・4	2	○							兼1
	憲法概論	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代政治の課題	1・2・3・4	2	○							兼1
	日本の政治	1・2・3・4	2	○							兼1
	戦争と平和の諸問題	1・2・3・4	2	○							兼1
	地域と生活	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代社会のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	マスコミと社会	1・2・3・4	2	○							兼1
	人類文化の比較	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代経済のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	経済の歴史	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代経営のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代流通のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	情報メディアと創造性	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代会計のしくみ	1・2・3・4	2	○							兼1
	現代経済の諸問題	1・2・3・4	2	○							兼1
	大学教育論	1・2・3・4	2	○							兼1
	教育政策史	1・2・3・4	2	○							兼1
	ベンチャー起業入門	1・2・3・4	2	○							兼1
	ベンチャー起業実践	1・2・3・4	2	○							兼1
	社会系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
社会系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1	
自然系科目	大気科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	地球科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	海洋科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	宇宙科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	科学の光と影	1・2・3・4	2	○							兼1
	統計と社会	1・2・3・4	2	○							兼1
	数理の構造	1・2・3・4	2	○							兼1
	数の文化	1・2・3・4	2	○							兼1
	時間と空間	1・2・3・4	2	○							兼1
	人間と物理学	1・2・3・4	2	○							兼1
	生活の化学	1・2・3・4	2	○							兼1
	分子の世界	1・2・3・4	2	○							兼1
	生物の生活	1・2・3・4	2	○							兼1
	生命の科学	1・2・3・4	2	○							兼1
	パースの世界	1・2・3・4	2	○	○						兼1
	都市環境と計画	1・2・3・4	2	○							兼1
	ランドスケープ論	1・2・3・4	2	○							兼1
	環境デザイン論	1・2・3・4	2	○							兼1
	地球環境と科学技術	1・2・3・4	2	○							兼1
	天体観測を通して学ぶ宇宙	1・2・3・4	2	○							兼1
	自然環境と土木工学	1・2・3・4	2	○							兼1
生物資源利用とサイエンス	1・2・3・4	2	○							兼1	
食料・農村・環境概論	1・2・3・4	2	○							兼1	
ヒトの健康科学	1・2・3・4	2	○							兼1	
自然系特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1	
自然系特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1	
健康	健康・スポーツ科学	1・2・3・4	2	○							兼2
	運動・スポーツ科学演習	1・2・3・4	2	○	○						兼64
総合領域	一般総合科目	1・2・3・4	2	○							兼1
	脳の発達と人間	1・2・3・4	2	○							兼1
	認識の仕組み	1・2・3・4	2	○							兼1
	環太平洋地域の文化	1・2・3・4	2	○							兼1
	ヨーロッパの文化と社会	1・2・3・4	2	○							兼1
	ヨーロッパの歴史と伝統	1・2・3・4	2	○							兼1
	アメリカの文化と社会	1・2・3・4	2	○							兼1

総合領域	一般総合科目	現代青年の心とその病理	1・2・3・4	2	○							兼1
		科学と社会	1・2・3・4	2	○							兼1
		住まいの科学	1・2・3・4	2	○							兼1
		環境の保全	1・2・3・4	2	○							兼1
		環境問題	1・2・3・4	2	○							兼1
		熱帯の科学	1・2・3・4	2	○							兼1
		情報科学概論	1・2・3・4	2	○							兼1
		ヒトの科学と人間の医学	1・2・3・4	2	○							兼1
		動物実験の基礎	1・2・3・4	2	○							兼1
		生命科学入門	1・2・3・4	2	○							兼1
		大学とは何か－大学の自治と大学人の責任を考える－	1・2・3・4	4	○							兼1
		先端情報工学概論	1・2・3・4	4	○							兼1
		死と哲学の知	1・2・3・4	2	○							兼1
		科学と擬似科学	1・2・3・4	2	○							兼1
		キャリア概論	1・2・3・4	2	○							兼1
		人口と食糧	1・2・3・4	2	○							兼1
		ボランティア入門	1・2・3・4	2	○							兼1 ※演習
		職業と人生	1・2・3・4	2	○							兼1
		囲碁の世界	1・2・3・4	2	○							兼1
		災害と安全	1・2・3・4	2	○							兼1
		生活空間のビジョン	1・2・3・4	2		○						兼1
		地域企業（自治体）お題解決プログラム	1・2・3・4	2	○							兼1
		若者の雇用環境	1・2・3・4	2	○							兼1
		キャリア形成入門	1・2・3・4	2	○							兼1
		ボランティア体験学習	1・2・3・4	2			○					兼1
		キャリアと学生生活	1・2・3・4	2	○							兼1
		環境インターンシップ	1・2・3・4	2			○					兼1
		総合環境学概論	1・2・3・4	2	○							兼1
		エンカレッジメント－大学の学びと未来－	1・2・3・4	2	○							兼1
		生活習慣病予防および健康増進	1・2・3・4	2		○						兼1
		大学で何を学ぶか	1・2・3・4	2	○							兼1
		観光への扉～観光学入門	1・2・3・4	2	○							兼1
		海外文化研修A（英語圏）	1・2・3・4	2			○					兼1
		海外文化研修B（中国語圏）	1・2・3・4	2			○					兼1
		海外文化研修C（スペイン語圏）	1・2・3・4	4			○					兼1
		海外文化研修D（フランス語圏）	1・2・3・4	4			○					兼1
		海外文化研修E（ドイツ語圏）	1・2・3・4	4			○					兼1
		環境と文学	1・2・3・4	2	○							兼1
		現代アジア論	1・2・3・4	2	○							兼1
		女性と社会	1・2・3・4	2	○							兼1
		異文化コミュニケーション入門	1・2・3・4	2	○							兼1
		キャリアデザインとジェンダー	1・2・3・4	2	○							兼1
		地域システム計画論	1・2・3・4	2	○							兼1
		情報セキュリティ概論	1・2・3・4	2	○							兼1
		環境エネルギー計画	1・2・3・4	2	○							兼1
		環境影響評価概論	1・2・3・4	2	○							兼1
		海外職場体験	1・2・3・4	2	○							兼1
		総合特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
総合特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1		
総合特別講義Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1		
高年次総合科目	現代社会の課題－21世紀への挑戦－	1・2・3・4	2	○						兼1		
	倫理総合討論	1・2・3・4	2	○						兼1		
	地震と防災	1・2・3・4	2	○						兼1		
	大学と産業の振興	1・2・3・4	2	○						兼1		
	総合環境論	1・2・3・4	2	○						兼1		
キャリアデザイン実践	1・2・3・4	2	○						兼1			



総合領域	琉大特色科目	平和論	1・2・3・4	2	○								兼1	
		核の科学	1・2・3・4	2	○									兼1
		適応の心理	1・2・3・4	2	○									兼1
		沖縄の基地と戦跡Ⅰ	1・2・3・4	2	○									兼1
		沖縄の基地と戦跡Ⅱ	1・2・3・4	2	○									兼1
		近代沖縄の社会と表現	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球の文学	1・2・3・4	2	○									兼1
		地域の科学	1・2・3・4	2	○									兼1
		地域文化論	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球の自然	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球の自然保護	1・2・3・4	2	○									兼1
		沖縄のサンゴ礁	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球弧の自然誌	1・2・3・4	2	○									兼1
		琉球の地理	1・2・3・4	2	○									兼1
		沖縄の農業・農村と農地水環境	1・2・3・4	2			○							兼1
		ことばと文化	1・2・3・4	2			○							兼1
		現代の国際関係	1・2・3・4	2			○							兼1
		琉球アジア研究入門	1・2・3・4	2			○							兼1
		移民論	1・2・3・4	2			○							兼1
		沖縄の政治と社会	1・2・3・4	2		○								兼1
		三線入門	1・2・3・4	2		○								兼1 ※演習
		うちなーぐちあしび	1・2・3・4	2		○								兼1
		亜熱帯－西表の自然	1・2・3・4	2		○								兼1
		沖縄の学力と教育	1・2・3・4	2		○								兼1
		琉球語入門Ⅰ	1・2・3・4	2		○								兼1
		琉球語入門Ⅱ	1・2・3・4	2		○								兼1
		沖縄の染めと織り	1・2・3・4	2		○								兼1
		沖縄の歴史入門	1・2・3・4	2		○								兼1
		琉球学入門	1・2・3・4	2		○								兼1
		琉球の自然と人	1・2・3・4	2		○								兼1
		現代沖縄史	1・2・3・4	2		○								兼1
		現代沖縄地域論	1・2・3・4	2		○								兼1
		地域課題フィールドワーク演習	1・2・3・4	2		○								兼1
琉大特色特別講義Ⅰ	1・2・3・4	2		○								兼1		
琉大特色特別講義Ⅱ	1・2・3・4	2		○								兼1		
琉大特色特別講義Ⅲ	1・2・3・4	2		○								兼1		
基幹領域	情報	情報科学演習	1・2・3・4	2		○							兼1	
		日本語表現法入門	1・2・3・4	2		○							兼1	
	外国語科目	大学英语	1・2・3・4	4		○							兼1 ※演習	
		英語講読演習 中級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英語講読演習 上級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英会話演習 中級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英会話演習 上級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英作文演習 中級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英作文演習 上級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英語プレゼンテーション演習中級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		英語プレゼンテーション演習上級	1・2・3・4	2		○							兼1 ※演習	
		TOEIC演習	1・2・3・4	2		○							兼1	
		TOEFL演習	1・2・3・4	2		○							兼1	
		英検準1級演習	1・2・3・4	2		○							兼1	
		特定英語課題演習Ⅰ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		特定英語課題演習Ⅱ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語入門Ⅲ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語入門Ⅳ	1・2・3・4	2		○							兼1	
		ドイツ語会話入門Ⅰ	1・2・3・4	2		○							兼1	
ドイツ語会話入門Ⅱ	1・2・3・4	2		○							兼1			
インテンシブドイツ語Ⅰ	1・2・3・4	4		○							兼1			

インテンシブドイツ語Ⅱ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブドイツ語Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブドイツ語Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
ドイツ語圏文化入門	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語入門Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語入門Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語会話入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語会話入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブフランス語Ⅰ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブフランス語Ⅱ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブフランス語Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブフランス語Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
フランス語圏文化入門	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語入門Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語入門Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語会話入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語会話入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブスペイン語Ⅰ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブスペイン語Ⅱ	1・2・3・4	4	○							兼1
インテンシブスペイン語Ⅲ	1・2・3・4	2	○							兼1
インテンシブスペイン語Ⅳ	1・2・3・4	2	○							兼1
スペイン語圏文化入門	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4		○						兼1
中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4		○						兼1
中国語中級	1・2・3・4	4		○						兼1
中国語講読	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語演習	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語上級	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語特演	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語会話	1・2・3・4	2	○							兼1
時事中国語	1・2・3・4	2	○							兼1
中国語作文	1・2・3・4	2	○							兼1
実践中国語	1・2・3・4	2	○							兼1
朝鮮語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4			○					兼1
朝鮮語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4			○					兼1
朝鮮語中級	1・2・3・4	4			○					兼1
朝鮮語講読	1・2・3・4	2	○							兼1
朝鮮語演習	1・2・3・4	2	○							兼1
インドネシア語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4			○					兼1
インドネシア語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4			○					兼1
タイ語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4			○					兼1
タイ語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4			○					兼1
ヴェトナム語基礎Ⅰ	1・2・3・4	4			○					兼1
ヴェトナム語基礎Ⅱ	1・2・3・4	4			○					兼1
ヴェトナム語中級	1・2・3・4	4			○					兼1
ラテン語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
ラテン語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
ギリシャ語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
ギリシャ語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
ロシア語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
ロシア語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
サンスクリット語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
サンスクリット語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1
ブラジル・ポルトガル語入門Ⅰ	1・2・3・4	2	○							兼1
ブラジル・ポルトガル語入門Ⅱ	1・2・3・4	2	○							兼1

日本語・日本事情科目	日本語ⅠA	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅠB	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅠC	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅡA	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅡB	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅡC	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅢA	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅢB	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅢC	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅣA	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅣB	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語ⅣC	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語Ⅴ	1・2・3・4	2		○					兼1
	日本語Ⅵ	1・2・3・4	2		○					兼1
	沖縄事情Ⅰ	1・2・3・4	1		○					兼1
	沖縄事情Ⅱ	1・2・3・4	1		○					兼1
	日本事情Ⅰ	1・2・3・4	1		○					兼1
	日本事情Ⅱ	1・2・3・4	1		○					兼1
	日本語ⅠD	1・2・3・4	2			○				兼1
	日本語ⅡD	1・2・3・4	2			○				兼1
	日本語ⅠE	1・2・3・4	2			○				兼1
	日本語ⅡE	1・2・3・4	2			○				兼1
	ビジネス日本語Ⅰ	1・2・3・4	1			○				兼1
ビジネス日本語Ⅱ	1・2・3・4	1			○				兼1	
日本・沖縄文化Ⅰ	1・2・3・4	1		○					兼1	
日本・沖縄文化Ⅱ	1・2・3・4	1		○					兼1	
小計(309科目)	—	660	—						兼375	

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 総合社会システム学科(昼間主コース) 法学専攻課程(法律コース))【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	基礎演習 I	1前	2				○		3	2	1			
	基礎演習 II	1後	2				○		3	2	1			
	法学基礎演習 I	2前	2				○			1	1			
	法学基礎演習 II	2後	2				○		2					
	小計(4科目)	—	8				—		4	2	1			
	法学演習 I A	3前後	2				○		4	2	1			兼1
	法学演習 I B	3前後	2				○		4	2	1			
	法学演習 II A	4前後	2				○		4	2	1			
	法学演習 II B	4前後	2				○		4	2	1			
	小計(4科目)	—	8				—		4	2	1			兼1
	基礎憲法	1・2・3・4		2			○							兼1
	基礎行政法	2・3・4		2			○		1					
	基礎刑事法	1・2・3・4		2			○		1					
	基礎民法 I	1・2・3・4		2			○							兼1
	基礎民法 II	1・2・3・4		2			○					1		兼1
	基礎民法 III	1・2・3・4		2			○					1		
	基礎民法 IV	1・2・3・4		2			○					1		
	商取引法	2・3・4		2			○							兼1
	基礎民事手続法	2・3・4		2			○			1				
	基礎労働法	1・2・3・4		2			○			1				
基礎社会保障法	1・2・3・4		2			○							兼1	
基礎国際法	1・2・3・4		2			○		1						
展開憲法	2・3・4		2			○							兼1	
展開行政法	2・3・4		2			○		1						
展開刑事法	2・3・4		2			○		1						
会社法	2・3・4		2			○							兼1	
展開民事手続法	2・3・4		2			○			1					
展開労働法	2・3・4		2			○							兼1	
展開社会保障法	2・3・4		2			○		1						
展開国際法	2・3・4		2			○		1						
小計(20科目)	—		40				—		4	2	1			兼6
刑事政策	2・3・4		2			○								兼1
家族法	2・3・4前		2			○								兼1
外国書講読 I	2・3・4		2			○			1					
法学特殊講義 I	2・3・4前		2			○								兼1
法学特殊講義 II	2・3・4		2			○			1					
法学特殊講義 III	2・3・4前		2			○								兼1
法学特殊講義 IV	2・3・4前		2			○			1					
法学特殊講義 V	2・3・4		2			○		1						
法学特殊講義 VI	2・3・4前		2			○								兼1
法学特殊講義 VII	2・3・4		2			○								兼1
法学特殊講義 IX	2・3・4		2			○			1					
法学特殊講義 X	2・3・4		2			○								兼1
法学特殊講義 X I	2・3・4		2			○								兼1
法学特殊講義 X II	2・3・4		2			○								兼1
法学特殊講義 X III	2・3・4		2			○			1					
法学特殊講義 X IV	2・3・4		2			○								兼1
法学特殊講義 X V	2・3・4前		2			○								兼1
法学特殊講義 X VI	2・3・4		2			○								兼2

専門教育科目	コース関連科目	法学特殊講義XVII	2・3・4	2	○																兼1			
		法学特殊講義XVIII	1・2・3・4	2	○																	兼1		
		法学特殊講義XIX	1・2・3・4	2	○																	兼1		
		法学特殊講義XX	1・2・3・4	2	○							1												
		法学特殊講義XXI	2・3・4前	2	○																		兼1	
		法学特殊講義XXII	2・3・4前	2	○																		兼1	
		法学特殊講義XXIII	2・3・4	2	○																		兼1	
		法学特殊講義XXIV	2・3・4	2	○																		兼1	
		法学特殊講義XXV	2・3・4	2	○																		兼1	
		応用憲法	2・3・4	2	○																		兼1	
		応用行政法	2・3・4	2	○						1													
		応用刑事法	2・3・4	2	○						1													
		民法（物権）特別講義	2・3・4	2	○																		兼1	
		民法（債権）特別講義II	2・3・4	2	○																		兼1	
		手形法・小切手法	2・3・4	2	○																		兼1	
		応用民事手続法	2・3・4	2	○								1											
		応用労働法	2・3・4	2	○								1											
		応用社会保障法	2・3・4	2	○						1													
		応用国際法	2・3・4	2	○						1													
		ミクロ経済学	1・2・3・4	4	○						1													
		マクロ経済学	2・3・4	4	○																			兼1
		経済政策	2・3・4	4	○								1											
		国際経済学	2・3・4	2	○						1													
		財政学	2・3・4	4	○						1													
		日本政治外交史	1・2・3・4	4	○						1													
		政策科学概論	1・2・3・4	4	○						1													
		行政学	2・3・4	4	○								1											
		国際政治学	1・2・3・4	4	○						1													
		国際関係史	1・2・3・4	4	○						1													
		小計（47科目）	—	—	112	—	—	—	—	—	10	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼23	—
		合計（75科目）	—	—	16	152	—	—	—	—	10	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	兼29	—
		学位又は称号	学士（法学）			学位又は学科の分野				法学関係														

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 総合社会システム学科(昼間主・夜間主コース) 経済学専攻課程〔経済学コース〕)【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎演習	基礎演習Ⅰ	1	2				○		4	1					
	基礎演習Ⅱ	2	2				○		4	1					
	小計(2科目)	—	4				—		4	1					
演習科目	経済学演習Ⅰ	3	4				○		6	9	1				
	経済学演習Ⅱ	4	4				○		6	9					
	小計(2科目)	—	8				—		6	9	1				
基礎科目	経済数学	1	4				○			2					
	基礎統計学	2	4				○			2					
	ミクロ経済学	1	4				○		2						
	マクロ経済学	2	4				○			2					
	小計(4科目)	—	16				—		2	5					
専門教育科目 コース・コア科目	社会経済史Ⅰ	2・3・4		2			○			1					
	社会経済史Ⅱ	2・3・4		2			○				1				
	西洋経済史	2・3・4		4			○				1				
	日本経済史	2・3・4		4			○			1					
	現代経済システム理論	2・3・4		2			○		1						
	ゲーム理論	2・3・4		2			○			1					
	計量経済学	3・4		4			○			1					
	経済政策	2・3・4		4			○			1					
	開発経済学	2・3・4		2			○			1					
	環境経済学	2・3・4		2			○							兼1	
	国際経済学	2・3・4		2			○		1						
	国際マクロ経済学	2・3・4		2			○		1						
	財政学	2・3・4		4			○		1						
	地方財政論	2・3・4		2			○			1					
	金融と経済Ⅰ	2・3・4		2			○		1	1					
	金融と経済Ⅱ	2・3・4		2			○		1	1					
	社会政策	2・3・4		2			○		1						
	労働経済学Ⅰ	2・3・4		2			○			1					
	経済動学	2・3・4		2			○			1					
小計(19科目)	—		48				—	4	8	1				兼1	
	情報処理実習Ⅰ	2・3・4		2				○	1						
	情報処理実習Ⅱ	2・3・4		2				○		1					
	外国書講読Ⅰ	2・3・4		2			○			1					
	沖縄社会経済史	2・3・4		4			○							兼1	
	経済学概論	1・2		2			○		1						兼2
	実践経済学	1・2・3・4		2			○								
	都市問題の経済学	2・3・4		2			○		1						
	財政再建の経済学	2・3・4		2			○			1					
	時事経済論Ⅰ	3・4		2			○		1						
	時事経済論Ⅱ	3・4		2			○		1						
	公共経済学	2・3・4		2			○		1						
	公共政策論	2・3・4		2			○			1					
	地域開発論	2・3・4		2			○							兼1	
	環境経済評価論	2・3・4		2			○							兼1	
	資源経済学	2・3・4		2			○							兼1	
	アジア経済論	2・3・4		2			○			1					
	国際開発論	2・3・4		2			○			1					

コース関連科目	国際金融論	2・3・4	2	○			1						兼1			
	貿易実務論	3・4	2	○												
	少子・高齢化の経済学	2・3・4	2	○			1									
	金融商品論	2・3・4	2	○			1	1								
	金融政策論	2・3・4	2	○			1									
	F P 特殊講義 I	3・4	2	○									兼1			
	F P 特殊講義 III	3・4	2	○									兼1			
	法学概論 (教職)	2・3・4	2	○						1						
	基礎憲法	1・2・3・4	2	○										兼1		
	基礎行政法	1・2・3・4	2	○				1								
	基礎刑事法	1・2・3・4	2	○				1								
	基礎民法 I	1・2・3・4	2	○										兼1		
	基礎民法 II	1・2・3・4	2	○										兼1		
	基礎民法 III	1・2・3・4	2	○							1					
	基礎民事手続法	2・3・4	2	○						1						
	基礎労働法	1・2・3・4	2	○						1						
	基礎社会保障法	1・2・3・4	2	○										兼1		
	基礎国際法	1・2・3・4	2	○				1								
	会社法	2・3・4	2	○										兼1		
	政治過程論	2・3・4	4	○						1						
	日本政治外交史	1・2・3・4	4	○				1								
	政策科学概論	1・2・3・4	4	○				1								
	行政学	2・3・4	4	○						1						
	政治社会学	2・3・4	4	○				1								
	西洋政治思想史	2・3・4	4	○				1								
	国際政治学	1・2・3・4	4	○				1								
	国際関係史	1・2・3・4	4	○				1								
	国際政治経済論	2・3・4	4	○				1								
	国際社会学	2・3・4	4	○				1								
	比較政治学	2・3・4	4	○				1								
	小計 (47科目)	—		118			—	12	10	1				兼13	—	
	合計 (74科目)	—	28	166			—	14	14	2				兼13	—	
	学位又は称号	学士 (経済学)					学位又は学科の分野	経済学関係								

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 総合社会システム学科(昼間主コース) 政治・国際関係専攻課程(政治・国際関係コース)) 【既設】

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 演習 科目	政策情報基礎演習	1	2				○		2						
	専門基礎英語演習	1~2	2				○							兼1	
	専門基礎演習Ⅰ	1~2	2				○		2						
	専門基礎演習Ⅱ	2	2				○		1	2					
	小計(4科目)	—	8				—		3	2				兼1	
演習 科目	政策科学演習Ⅰ	3	4				○		2	2					
	政策科学演習Ⅱ	4	4				○		2	2					
	国際関係論演習Ⅰ	3	4				○		4						
	国際関係論演習Ⅱ	4	4				○		4						
	小計(4科目)	—	16				—		5	2					
研 究 業	卒業研究	4	4				○		5	3					
	小計(1科目)	—	4				—		5	3					
コ ー ス ・ コ ア 科 目	政治過程論	2・3・4		4			○			1					
	日本政治外交史	1・2・3・4		4			○		1						
	政策科学概論	1・2・3・4		4			○		1		1				
	行政学	2・3・4		4			○				1				
	政治社会学	2・3・4		4			○		1						
	西洋政治思想史	2・3・4		4			○		1						
	国際政治学	1・2・3・4		4			○		1						
	国際関係史	1・2・3・4		4			○		1	1					
	国際政治経済論	2・3・4		4			○		1						
	国際社会学	2・3・4		4			○		1						
	比較政治学	2・3・4		4			○			1					
	小計(11科目)	—		44			—		5	3					
コ ー ス 関 連 科 目	原典・外書講読Ⅱ	2・3・4		2			○		1						
	原典・外書講読Ⅲ	2・3・4		2			○			1					
	原典・外書講読Ⅳ	2・3・4		2			○			1					
	原典・外書講読Ⅴ	2・3・4		2			○		1						
	原典・外書講読Ⅵ	2・3・4		2			○			1					
	海外・国内研修Ⅰ	1・2・3・4		2			○		1						
	海外・国内研修Ⅱ	1・2・3・4		2			○		1						
	海外・国内研修Ⅲ	2・3・4		2			○		1						
	海外・国内研修Ⅳ	1・2・3・4		2			○		1						
	海外・国内研修Ⅴ	1・2・3・4		2			○		1						
	現代政治理論	2・3・4		2			○		1						
	都市政治学	2・3・4		2			○			1					
	地方自治論	2・3・4		2			○			1					
	公共政策学総論	2・3・4		2			○			1					
	福祉政策論	2・3・4		2			○			1					
	政治文化論	2・3・4		2			○		1						
	地域経営論	2・3・4		2			○							兼1	
	計量政治学	2・3・4		2			○			1					
	沖縄政治社会思想史	3・4		2			○		1						
	ジェンダーと政治	3・4		2			○							兼1	
	市民社会論	2・3・4		2			○			1					
	議会政治論	2・3・4		2			○							兼1	
	利益集団論	2・3・4		2			○			1					
政策科学特殊講義Ⅴ	2・3・4		2			○							兼1		
政策科学特殊講義Ⅵ	2・3・4		2			○							兼1		
政策科学特殊講義Ⅶ	2・3・4		2			○							兼1		



政策科学特殊講義IX	2・3・4	2		○									
政策科学特殊講義X	2・3・4	2		○								兼1	
安全保障論	2・3・4	2		○		1							
国際協力論	2・3・4	2		○								兼1	
地球環境論	2・3・4	2		○								兼1	
東南アジア地域研究	2・3・4	2		○								兼1	
太平洋地域研究	2・3・4	2		○			1						
西ヨーロッパ地域研究	2・3・4	2		○								兼1	
平和研究 I	1・2・3・4	2		○		1							
比較社会文化論 I	2・3・4	2		○		1							
比較社会文化論 II	2・3・4	2		○		1							
歴史政策学	2・3・4	2		○		1							
社会運動論	2・3・4	2		○		1							
国際関係論特殊講義 I	2・3・4	4		○		1							
国際関係論特殊講義 V	2・3・4	2		○								兼1	
国際関係論特殊講義 VI	2・3・4	2		○								兼1	
国際関係論特殊講義 VIII	2・3・4	2		○		1							
国際関係論特殊講義 IX	2・3・4	2		○		1							
国際関係論特殊講義 X	2・3・4	2		○								兼1	
国際関係論特殊講義 X II	2・3・4	2		○								兼1	
国際関係論特殊講義 X IV	2・3・4	2		○		1							
国際関係論特殊講義 X V	2・3・4	2		○								兼1	
基礎憲法	1・2・3・4	2		○								兼1	
基礎行政法	1・2・3・4	2		○		1							
展開行政法	2・3・4	2		○		1							
基礎国際法	1・2・3・4	2		○		1							
展開国際法	2・3・4	2		○		1							
経済学概論	1・2・3・4	2		○								兼1	
経済政策	2・3・4	4		○			1						
開発経済学	2・3・4	2		○			1	1					
地域開発論	2・3・4	2		○			1						
環境経済学	2・3・4	2		○								兼1	
アジア経済論	2・3・4	2		○			1					兼1	
社会政策	2・3・4	2		○		1							
小計 (60科目)	—		124		—	8	5					兼18	—
合計 (80科目)	—	28	168		—	8	5					兼19	—
学位又は称号	学士 (政策科学・国際関係論)	学位又は学科の分野			法学関係								

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 人間科学科 人間行動専攻課程(哲学・倫理学・教育社会学・社会心理学・臨床心理学・人間行動論総合コース) 【既設】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学 科 目 基 礎	人間科学科基礎演習	1	2				○		9	6					
	小計(1科目)	—	2				—		9	6					
コ ー ス 科 目 ( 哲 学 )	哲学・倫理学演習Ⅰ	2・3・4	2				○		2	2					
	哲学・倫理学演習Ⅱ	2・3・4	2				○		2	2					
	哲学・倫理学演習Ⅲ	2・3・4	2				○		2	2					
	哲学・倫理学演習Ⅳ	2・3・4	2				○		2	2					
	哲学・倫理学史	2・3・4	2				○		2	2					
	哲学・倫理学入門演習	2・3・4	2				○		2	2					
	哲学の諸問題	2・3・4	2				○			1					
	宗教学の諸問題	2・3・4	2				○		1						
小計(8科目)	—	16				—		2	2						
(人 間 行 動 専 攻 課 程 科 目)	哲学・倫理学入門	1		2			○		1						
	教育社会学入門	1		2			○		1						
	心理学概論Ⅰ	1		2			○			1					
	人間行動演習Ⅰ	3		2				○	2	2					
	人間行動演習Ⅱ	3		2				○	2	2					
	小計(5科目)	—		10			—		2	2					
コ ー ス 関 連 科 目 ( 哲 学 )	哲学原論	2・3・4		2			○								兼1
	倫理学原論	2・3・4		2			○								兼1
	論理学概論	2・3・4		2			○			1					
	認知哲学	2・3・4		2			○			1					
	古代・中世哲学史	2・3・4		2			○								兼1
	近世・現代哲学史	2・3・4		2			○								兼1
	倫理学の諸問題	2・3・4		2			○			1					
	東洋の哲学思想Ⅰ	2・3・4		2			○		1						
	東洋の哲学思想Ⅱ	2・3・4		2			○		1						
	東洋の哲学思想Ⅲ	2・3・4		2			○		1						
	東洋の哲学思想Ⅳ	2・3・4		2			○		1						
	東洋の哲学思想Ⅴ	2・3・4		2			○								兼1
	東洋の哲学思想Ⅵ	2・3・4		2			○		1						
	人間学Ⅰ	2・3・4		2			○		1						
	人間学Ⅱ	2・3・4		2			○		1						
	人間学Ⅲ	2・3・4		2			○		1						
	言語哲学	2・3・4		2			○			1					
	生命倫理	2・3・4		2			○								兼1
	環境倫理	2・3・4		2			○		1						
	比較思想論	2・3・4		2			○								兼1
	世界の宗教	2・3・4		2			○								兼1
	科学と哲学	2・3・4		2			○			1					
	論理学と哲学	2・3・4		2			○			1					
原典講読Ⅰ	2・3・4		2			○		1							
原典講読Ⅱ	2・3・4		2			○		1							
スピリチュアルケア論	2・3・4		2			○									兼1

専門教育科目	コース関連科目（哲学）	スピリチュアルケア論演習	2・3・4	2		○								兼1		
		原典講読の基礎Ⅰ	2・3・4	2		○			1							
		原典講読の基礎Ⅱ	2・3・4	2		○			1							
		原典講読の基礎Ⅲ	2・3・4	2		○			1							
		哲学・倫理学演習Ⅴ	2・3・4	2			○				1					
		哲学・倫理学演習Ⅵ	2・3・4	2			○				1					
		応用倫理学Ⅱ	2・3・4	2		○			1							
		哲学の諸問題Ⅱ	2・3・4	2		○					1					
		哲学の諸問題Ⅲ	2・3・4	2		○									兼1	
		倫理学の諸問題Ⅱ	2・3・4	2		○					1					
		倫理学の諸問題Ⅲ	2・3・4	2		○					1					
		哲学討論Ⅰ	2・3・4	2		○			2	2						
		哲学討論Ⅱ	2・3・4	2		○			2	2						
		ドイツ思想	2・3・4	2		○					1					
		情報の哲学	2・3・4	2		○					1					
		現代哲学	2・3・4	2		○					1					
		宗教学の諸問題Ⅱ	2・3・4	2		○			1							
		宗教学の諸問題Ⅲ	2・3・4	2		○			1							
		臨床哲学の諸問題	2・3・4	2		○			1							
		臨床哲学の諸問題Ⅱ	2・3・4	2		○			1							
		臨床哲学の諸問題Ⅲ	2・3・4	2		○			1							
		形而上学Ⅰ	2・3・4	2		○					1					
		形而上学Ⅱ	2・3・4	2		○					1					
		哲学・倫理学特殊講義Ⅰ	2・3・4	2		○					1					
		哲学・倫理学特殊講義Ⅱ	2・3・4	2		○									兼1	
		卒業研究Ⅰ	4	2				○	2	2						
		卒業研究Ⅱ	4	2				○	2	2						
		小計(53科目)	—		106			—	2	2					兼5	—
		コース科目（倫理）	哲学・倫理学演習Ⅰ	2・3・4	2			○	2	2						
			哲学・倫理学演習Ⅱ	2・3・4	2			○	2	2						
			哲学・倫理学演習Ⅲ	2・3・4	2			○	2	2						
			哲学・倫理学演習Ⅳ	2・3・4	2			○	2	2						
			哲学・倫理学史	2・3・4	2		○		2	2						
哲学・倫理学入門演習	2・3・4		2			○	2	2								
倫理学の諸問題	2・3・4		2		○				1							
臨床哲学の諸問題	2・3・4		2		○		1									
小計(8科目)	—		16			—	2	2						—		
コース関連科目（倫理）	哲学原論	2・3・4	2		○									兼1		
	倫理学原論	2・3・4	2		○									兼1		
	論理学概論	2・3・4	2		○				1							
	認知哲学	2・3・4	2		○				1							
	古代・中世哲学史	2・3・4	2		○									兼1		
	近世・現代哲学史	2・3・4	2		○									兼1		
	哲学の諸問題	2・3・4	2		○					1						
	東洋の哲学思想Ⅰ	2・3・4	2		○		1									
	東洋の哲学思想Ⅱ	2・3・4	2		○		1									
	東洋の哲学思想Ⅲ	2・3・4	2		○		1									
	東洋の哲学思想Ⅳ	2・3・4	2		○		1									
	東洋の哲学思想Ⅴ	2・3・4	2		○									兼1		
	東洋の哲学思想Ⅵ	2・3・4	2		○		1									
	人間学Ⅰ	2・3・4	2		○		1									
	人間学Ⅱ	2・3・4	2		○		1									
	人間学Ⅲ	2・3・4	2		○		1									
	言語哲学	2・3・4	2		○				1							
	生命倫理	2・3・4	2		○									兼1		
	環境倫理	2・3・4	2		○		1									
	比較思想論	2・3・4	2		○									兼1		
	世界の宗教	2・3・4	2		○									兼1		
	科学と哲学	2・3・4	2		○				1							

専門教育科目	論理学と哲学	2・3・4	2		○				1					
	原典講読Ⅰ	2・3・4	2		○			1						
	原典講読Ⅱ	2・3・4	2		○			1						
	スピリチュアルケア論	2・3・4	2		○								兼1	
	スピリチュアルケア論演習	2・3・4	2				○						兼1	
	原典講読の基礎Ⅰ	2・3・4	2		○			1						
	原典講読の基礎Ⅱ	2・3・4	2		○			1						
	原典講読の基礎Ⅲ	2・3・4	2		○			1						
	哲学・倫理学演習Ⅴ	2・3・4	2				○			1				
	哲学・倫理学演習Ⅵ	2・3・4	2				○			1				
	応用倫理学Ⅱ	2・3・4	2		○			1						
	哲学の諸問題Ⅱ	2・3・4	2		○					1				
	哲学の諸問題Ⅲ	2・3・4	2		○								兼1	
	倫理学の諸問題Ⅱ	2・3・4	2		○					1				
	倫理学の諸問題Ⅲ	2・3・4	2		○					1				
	哲学討論Ⅰ	2・3・4	2		○			2	2					
	哲学討論Ⅱ	2・3・4	2		○			2	2					
	ドイツ思想	2・3・4	2		○					1				
	情報の哲学	2・3・4	2		○					1				
	現代哲学	2・3・4	2		○					1				
	宗教学の諸問題	2・3・4	2		○			1						
	宗教学の諸問題Ⅱ	2・3・4	2		○			1						
	宗教学の諸問題Ⅲ	2・3・4	2		○			1						
	臨床哲学の諸問題Ⅱ	2・3・4	2		○			1						
	臨床哲学の諸問題Ⅲ	2・3・4	2		○			1						
	形而上学Ⅰ	2・3・4	2		○					1				
	形而上学Ⅱ	2・3・4	2		○					1				
	哲学・倫理学特殊講義Ⅰ	2・3・4	2		○					1				
	哲学・倫理学特殊講義Ⅱ	2・3・4	2		○								兼1	
	卒業研究Ⅰ	4	2		○			2	2					
	卒業研究Ⅱ	4	2		○			2	2					
	小計(53科目)	—		106				—	2	2				兼5
コース科目(教育社会学)	教育社会学	2・3	2		○			1						
	学校社会学	2・3	2		○			1						
	教育の社会理論	2・3	2		○			1						
	教育社会学研究	4	2					1		○				
	教育調査	2・3	2					1		○				
	教育社会学演習Ⅰ	2・3	2				○	1						
	教育社会学演習Ⅱ	2・3	2				○	1						
	社会心理学	3	2		○					1				
	臨床心理学	3	2		○			1	1					
	小計(9科目)	—	18				—	2	2					—
教職研究	2・3	2		○								兼8		
教育原理	2・3	2		○								兼3		
教育史	2・3	2		○								兼1		
地域社会と学習・文化	2・3	2		○								兼1		
教育学原論	2・3	2		○			1							
学社融合と学びの共同体づくり	2・3	2		○								兼1		
教育の社会史	2・3	2		○								兼1		
教育哲学	2・3	2		○			1							
保育学基礎研究	2・3	2		○								兼1		
教育課程	2・3	1		○								兼3		
教育方法	2・3	1		○								兼3		
生徒指導	2・3	2		○								兼3		
教育工学	2・3	2		○								兼1		
教育行政学	2・3	2		○								兼1		
教育法	2・3	2		○								兼1		
社会教育概論Ⅰ	2・3	2		○								兼1		
社会教育概論Ⅱ	2・3	2		○								兼1		

専門教育科目	社会教育計画Ⅰ	2・3	2		○								兼1		
	社会教育計画Ⅱ	2・3	2		○								兼1		
	教育福祉論Ⅰ	2・3	2		○			1							
	教育福祉論Ⅱ	2・3	2		○								兼1		
	英語文献講読Ⅰ	2・3	2		○			1							
	道德教育の研究	2・3	2		○						○		兼2		
	特別活動に関する研究	2・3	2								○		兼4		
	社会教育実習	2・3	2								○		兼1		
	社会教育課題研究	2・3	2								○		兼1		
	卒業研究Ⅰ	4	2				○		1						
	卒業研究Ⅱ	4	2				○		1						
	小計(28科目)	—		54			—		1					兼23	—
	コース科目 (社会心理学)	心理学概論Ⅱ	2	2		○				1					
心理学研究法		3	2		○			1	3						
心理学基礎実験		2	2					1	3						
社会心理学		2	2		○				1						
心理検査法演習		3	2				○		1						
認知心理学		3	2		○			1							
心理学統計法Ⅱ		3	2		○			1							
社会心理学演習		4	2				○		1						
小計(8科目)	—		16			—		2	5				—		
コース関連科目 (社会心理学)	適応の心理学	2・3・4	2		○			1							
	生理心理学	2・3・4	2		○								兼1		
	非行と犯罪の心理学	2・3・4	2		○				1						
	学習心理学	2・3・4	2		○								兼1		
	外国文献講読Ⅰ	2・3・4	2		○				1						
	精神医学	2・3・4	2		○								兼1		
	臨床心理学実習	3	2					1	3						
	外国文献講読Ⅱ	3・4	2		○			1							
	発達臨床心理学	2・3・4	2		○			1							
	臨床心理学	2・3・4	2		○			1	1				兼1		
	発達心理学	2・3・4	2		○				1						
	文化心理学	3・4	2		○								兼1		
	カウンセリング	2・3	2		○				1						
	カウンセリング演習	3・4	2				○		1						
	発達障害心理学	2・3・4	2		○			1							
	ゲーミング社会心理学	3・4	2		○				1						
	心理学統計法Ⅰ	3	2		○			1							
	心理学課題演習	3	2				○			1					
	臨床心理学演習	4	2				○			1					
	人格心理学	2・3・4	2		○			1							
	心理学特講	4	2		○			1	1						
	心理査定法	4	2		○				1						
	集団心理学	3・4	2		○				1						
コミュニティ心理学	3・4	2		○				1							
産業・組織心理学	3・4	2		○				1							
心理療法論	4	2		○			1								
外国文献講読Ⅲ	4	2		○			1								
環境心理学	3・4	2		○					1						
卒業研究Ⅰ	4	2		○			1	3							
卒業研究Ⅱ	4	2		○			1	3							
小計(30科目)	—		60			—		2	5				兼5	—	
コース科目 (臨	心理学概論Ⅱ	2	2		○				1						
	心理学研究法	3	2		○			1	3						
	心理学基礎実験	2	2					1	3						
	臨床心理学	2	2		○			1	1				兼1		
	心理検査法演習	3	2				○		1						

臨床心理学)	認知心理学	3	2			○			1						
	心理学統計法Ⅱ	3	2			○			1						
	臨床心理学演習	4	2				○			1					
	小計(8科目)	—	16			—			2	3				兼1	—
コース 関連科目 (臨床心理学)	適応の心理学	2・3・4	2			○			1						
	生理心理学	2・3・4	2			○								兼1	
	非行と犯罪の心理学	2・3・4	2			○				1					
	学習心理学	2・3・4	2			○								兼1	
	外国文献講読Ⅰ	2・3・4	2			○				1					
	精神医学	2・3・4	2			○								兼1	
	社会心理学	2・3・4	2			○				1					
	臨床心理学実習	3	2					○	1	3					
	外国文献講読Ⅱ	3・4	2			○			1						
	発達臨床心理学	2・3・4	2			○			1						
	発達心理学	2・3・4	2			○				1					
	文化心理学	3・4	2			○								兼1	
	カウンセリング	2・3	2			○				1					
	カウンセリング演習	3・4	2				○			1					
	発達障害心理学	2・3・4	2			○			1						
	ゲーミング社会心理学	3・4	2			○				1					
	心理学統計法Ⅰ	3	2			○			1						
	心理学課題演習	3	2					○			1				
	社会心理学演習	4	2					○			1				
	人格心理学	2・3・4	2			○			1						
	心理学特講	4	2			○			1	1					
	心理査定法	4	2			○				1					
	集団心理学	3・4	2			○				1					
	コミュニティ心理学	3・4	2			○				1					
	産業・組織心理学	3・4	2			○				1					
	心理療法論	4	2			○			1						
	外国文献講読Ⅲ	4	2			○			1						
	環境心理学	3・4	2			○					1				
	卒業研究Ⅰ	4	2					○	1	3					
	卒業研究Ⅱ	4	2					○	1	3					
小計(30科目)	—		60			—		2	5					兼5	—
コース 科目 (人間行動論総合)	哲学の諸問題	2・3・4	2			○				1					
	倫理学の諸問題	2・3・4	2			○				1					
	教育社会学	2	2			○			1						
	学校社会学	2	2			○			1						
	哲学・倫理学史	2・3・4	2			○			2	2					
	社会心理学	3	2			○				1					
	認知心理学	3	2			○			1						
	臨床心理学	3	2			○			1	1					
小計(8科目)	—	16			—		3	4						—	
(人間行動論 関連 総科目)	卒業研究Ⅰ	4	2				○	1							
	卒業研究Ⅱ	4	2				○	1							
	小計(2科目)	—		4		—		1							—
合計(144科目)		—	52	234		—		5	7					兼33	—
学位又は称号	学士(人文社会)			学位又は学科の分野				社会学・社会福祉学関係							

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 人間科学科 社会学専攻課程(社会学・社会福祉学 マスコミ学コース)) 【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学 科 目 基 礎	人間科学科基礎演習	1	2				○		9	6				
	小計(1科目)	—	2				—		9	6				
コ ー ス 科 目 ( 社 会 学 )	社会学原論Ⅱ	2	2			○			1					
	国際比較社会学Ⅰ	2	2			○			1					
	社会学実習Ⅰ	2	2					○		1				
	社会学実習Ⅱ	2	2					○		1				
	社会学演習Ⅰ	3	1				○		2					
	社会学演習Ⅱ	3	1				○		2					
	社会学演習Ⅲ	4	1				○		2					
	社会学演習Ⅳ	4	1				○		2					
	卒業論文	4	4				○		2					
小計(9科目)	—	16				—		2	1					
(社会 学 専 攻 課 程) コ ー ス ・ コ ー ス 科 目	社会学原論Ⅰ	1		2		○			1					
	社会調査法Ⅰ	1		2		○			1					
	社会福祉原論Ⅰ	1		2		○				1				
	地域福祉の理論と方法	3		2		○				1				
	マス・コミ原論Ⅰ	1		2		○				1				
	マス・コミ史	2		2		○					1			
小計(6科目)	—		12			—		1	3	1				
コ ー ス 関 連 科 目 ( 社 会 学 )	国際比較社会学Ⅱ	2		2		○			1					
	社会調査法Ⅱ	1		2		○			1					
	社会学研究Ⅲ	2		2		○			1					
	社会学研究Ⅴ	2		2		○				1				
	社会学研究Ⅵ	2		2		○				1				
	社会学研究Ⅶ	2		2		○			1					
	社会学研究Ⅷ	2		2		○							兼1	
	社会学研究Ⅸ	2		2		○			1					
	社会学研究Ⅹ	2		2		○							兼1	
	社会学研究ⅩⅠ	2		2		○							兼1	
	社会学研究ⅩⅤ	2		2		○				1				
	社会学研究ⅩⅥ	2		2		○				1				
	社会学研究ⅩⅧ	2		2		○							兼1	
	社会学研究ⅩⅩ	2		2		○							兼2	
	社会学研究ⅩⅩⅠ	2		2		○				1				
	社会学研究ⅩⅩⅡ	2		2		○				1				
社会学研究ⅩⅩⅢ	2		2		○				1					
社会学研究ⅩⅩⅣ	2		2		○				1					
社会学研究ⅩⅩⅤ	2		2		○				1					
社会学研究ⅩⅩⅥ	2		2		○				1					
小計(20科目)	—		40			—		2	1				兼6	
コ ー ス 科 目	社会福祉原論Ⅱ	1	2			○				1				
	相談援助実習Ⅰ	3	2					○		2				
	相談援助実習Ⅱ	3	2					○		2				

専門教育科目	(社会福祉学・地域福祉学)	ソーシャルワーク I	2	2			○			1										
		社会福祉演習 I	3	2					○		1									
		社会福祉演習 II	4	2					○		1									
		地域福祉演習 I	3	2					○		1									
		地域福祉演習 II	4	2					○		1									
		卒業論文	4	4					○		2									
		小計 (9科目)	—	20					—		2	2								
	コース関連科目 (社会福祉学・地域福祉学)	ソーシャルワーク II	2		2				○		1									
		相談援助演習 I	2		2				○			2								
		相談援助演習 II	3		2				○			2								
		相談援助演習 III	3		2				○		1									
		障害者福祉論	2		2			○				1								
		児童福祉論 I	2		2			○			1									
		児童福祉論 II	2		2			○			1									
		ソーシャルグループワーク	2・3		2				○		1									
		公的扶助論	2		2			○				1								
		介護概論	2		2			○												兼1
		高齢者福祉論	2		2			○				1								
		医学概論	3		2			○												兼3
		相談援助実習指導 I	2		2			○				2								
		相談援助実習指導 II	3		2			○				2								
		相談援助実習指導 III	3		2			○				2								
		介護技術	2		2			○												兼1
		就労支援サービス論	3		2			○				1								
		福祉行財政と福祉計画	3		2			○				1								
		ソーシャルワーク論 I	3		2			○				1								
		ソーシャルワーク論 II	3		2			○				1								
		社会学原論 II	1		2			○				1								
		社会福祉運営管理論	2		2			○												兼1
		保健医療概論	2		2			○					1							
		権利擁護・成年後見・更生保護	3		2			○												兼4
社会保障論		2		2			○												兼1	
社会福祉特殊講義 I		4		2			○				1									
社会福祉特殊講義 II		4		2			○												兼4	
精神医学	4		4			○												兼1		
小計 (28科目)	—		58					—		3	2							兼13	—	
コース科目 (生活福祉論総合)	社会福祉原論 II	1		2				○			1									
	児童福祉論 I	2		2				○			1									
	高齢者福祉論	2		2				○				1								
	相談援助実習 I	3		2							1									
	社会福祉演習 I	3		2			○	○		1										
	社会福祉演習 II	4		2				○		1										
	地域福祉演習 I	3		2				○		1										
	地域福祉演習 II	4		2				○		1										
小計 (8科目)	—		16					—		2	2							—		
ソーシャルワーク I	2		2					○		1										
	2		2					○		1										
	3		2					○			2									



専門教育科目	コース関連科目 (生活福祉論総合)	相談援助演習Ⅰ	2	2			○		2					
		相談援助演習Ⅱ	3	2			○		2					
		相談援助演習Ⅲ	3	2			○		1					
		障害者福祉論	2	2		○			1					
		児童福祉論Ⅱ	2	2		○			1					
		ソーシャルグループワーク	2・3	2		○			1					
		公的扶助論	2	2		○			1					
		介護概論	2	2		○							兼1	
		医学概論	3	2		○							兼3	
		相談援助実習指導Ⅰ	2	2		○			1					
		相談援助実習指導Ⅱ	3	2		○			1					
		相談援助実習指導Ⅲ	3	2		○			1					
		介護技術	2	2		○							兼1	
		就労支援サービス論	3	2		○			1					
		福祉行財政と福祉計画	3	2		○			1					
		ソーシャルワーク論Ⅰ	3	2		○			1					
		ソーシャルワーク論Ⅱ	3	2		○			1					
		社会学原論Ⅱ	1	2		○			1					
		社会福祉運営管理論	2	2		○							兼1	
		保健医療概論	2	2		○			1					
		権利擁護・成年後見・更生保護	3	2		○							兼4	
		社会保障論	4	4		○							兼1	
		社会福祉特殊講義Ⅰ	4	2		○			1					
		社会福祉特殊講義Ⅱ	4	2		○							兼4	
		精神医学	4	4		○							兼1	
		小計 (28科目)	—	60		—			3	2			兼13	—
		コース科目 (マスコミ学)	マス・コミ原論Ⅰ	1	2		○				1			
			マス・コミ原論Ⅱ	1	2		○			1				
マス・コミ実習Ⅰ	2		2						1					
マス・コミ実習Ⅱ	3		2									兼1		
マス・コミ演習Ⅰ	3		2		○			1						
マス・コミ演習Ⅱ	3		2		○			1						
卒業論文	4		4		○			1						
小計 (7科目)	—	16		—				1	1		兼1	—		
コース関連科目 (マスコミ学)	マス・コミ調査分析	2	2		○			1						
	マスコミュニケーション理論	2	2		○			1						
	情報と社会Ⅰ	3	2		○			1						
	情報と社会Ⅱ	3	2		○			1						
	マス・コミ特殊講義Ⅰ	2	2		○			1						
	マス・コミ特殊講義Ⅱ	2	2		○			1				兼1		
	新聞英語Ⅰ	2	2		○				1					
	新聞英語Ⅱ	2	2		○				1					
	地域と平和	3	2		○				1					
	大衆文化論	3	2		○							兼1		
	地域メディア論	3	2		○							兼1		
	映像論	3	2		○				1					
小計 (12科目)	—	22		—				1	1		兼2	—		
合計 (92科目)	—	54	132		—		4	3	1		兼22	—		
学位又は称号	学士 (人文社会)		学位又は学科の分野	社会学・社会福祉学関係										

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 人間科学科 地理歴史人類学専攻課程 (地理学・歴史学・人類学コース)) 【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科基礎	人間科学科基礎演習	1	2				○		9	6					地理人類学専攻課程の学生のみ
	小計(1科目)	—	2				—		9	6					
必修科目 (地理学コース)	人文地理学概論Ⅰ	1・2	2			○			1						
	人文地理学概論Ⅱ	1・2	2			○			1						
	自然地理学概論Ⅰ	1・2	2			○			1						
	自然地理学概論Ⅱ	1・2	2			○				1					
	地誌学概論Ⅰ	1・2	2			○			1						
	地誌学概論Ⅱ	1・2	2			○				1					
	卒業論文演習Ⅰ	3	2				○		2						
	卒業論文演習Ⅱ	3	2				○		2						
	卒業論文	4	4				○		2	2					
	小計(10科目)	—	20				—		2	2					
選択科目 (地理学コース・コア科目)	地理学実験Ⅰ	2		1				○	1	2					
	地理学実験Ⅱ	2		1				○	1	2					
	地理学野外巡検・調査	2		2				○	1						
	地理学研究Ⅰ	3		2		○			1						
	地理学研究Ⅱ	3		2		○				1					
	地理学研究Ⅲ	3		2		○				1					
	地理学研究Ⅳ	3		2		○			1						
	地理学研究Ⅴ	3		2		○			1						
小計(9科目)	—		14			—		2	2						
必修科目 (歴史学コース)	日本史概論Ⅰ	1・2	2			○			2						
	日本史概論Ⅱ	1・2	2			○				1					
	東洋史概論Ⅰ	1・2	2			○			1						
	東洋史概論Ⅱ	1・2	2			○			1						
	西洋史概論Ⅰ	1・2	2			○			1						
	西洋史概論Ⅱ	1・2	2			○				1					
	卒業論文演習Ⅰ	3	2				○		2	2					
	卒業論文演習Ⅱ	3	2				○		2	2					
	卒業論文	4	4				○		2	2					
小計(9科目)	—	20				—		2	2						
選択科目 (コース・コア科目)	日本史史料講読Ⅰ	2・3		1			○								兼1
	日本史史料講読Ⅱ	2・3		1			○		1						
	日本史史料講読Ⅲ	2・3		1			○		1						
	日本史史料講読Ⅳ	2・3		1			○		1						
	日本史史料講読Ⅴ	2・3		1			○			1					
	日本史史料講読Ⅵ	2・3		1			○			1					
	日本史史料講読Ⅶ	2・3		1			○			1					
	日本史史料講読Ⅷ	2・3		1			○			1					
	東洋史史料講読Ⅰ	2・3		1			○		1						
	東洋史史料講読Ⅱ	2・3		1			○		1						
	東洋史史料講読Ⅲ	2・3		1			○		1						
	東洋史史料講読Ⅳ	2・3		1			○		1						
	西洋史史料講読Ⅰ	2・3		1			○		1						

専門教育科目	歴史学コース	西洋史史料講読Ⅱ	2・3		1			○		1									
		西洋史史料講読Ⅲ	2・3		1			○		1									
		西洋史史料講読Ⅳ	2・3		1			○		1									
		西洋史史料講読Ⅴ	2・3		1			○			1								
		西洋史史料講読Ⅵ	2・3		1			○			1								
		西洋史史料講読Ⅶ	2・3		1			○			1								
		西洋史史料講読Ⅷ	2・3		1			○			1								
		小計 (22科目)	—		20				—		2	2							
	必修科目 (人類学コース)	社会人類学概論Ⅰ	1・2	2				○			1								
		社会人類学概論Ⅱ	1・2	2				○			1								
		考古学概論Ⅰ	1・2	2				○			1								
		考古学概論Ⅱ	1・2	2				○			1								
		民俗学概論Ⅰ	1・2	2				○			1								
		民俗学概論Ⅱ	1・2	2				○			1								
		卒業論文演習Ⅰ	3	2					○		3	2							
		卒業論文演習Ⅱ	3	2					○		3	2							
		卒業論文	4	4					○		3	2							
	小計 (9科目)	—		20				—		3	2								
	選択 (人類学コース・コア科目)	人類学実習Ⅰ	2・3		2				○		3	2							
		人類学実習Ⅱ	2・3		2				○		3	2							
		社会人類学調査法Ⅰ	2・3		2				○		1	1							
		社会人類学調査法Ⅱ	2・3		2				○		1	1							
考古学研究方法論Ⅰ		2・3		2			○			1	1								
考古学研究方法論Ⅱ		2・3		2			○			1	1								
民俗学調査法Ⅰ		2・3		2				○		1									
民俗学調査法Ⅱ		2・3		2				○		1									
小計 (8科目)	—		16				—		3	2									
合計 (64科目)		—		62	50			—		7	6							兼1	
学位又は称号	学士 (人文社会)			学位又は学科の分野				文学関係											

教育課程等の概要(事前伺い)

(国際言語文化学科 琉球7文化専攻課程 (琉球史・琉球民俗学・中琉関係史・琉球文学・日本文学・中国文学・朝鮮文学・琉球語学・日本語学・中国語学・総合コース)) 【既設】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 授業形態 (講義, 演習, 実験・実習), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 備考. Rows include 琉球史必修科目, 専門教育科目 (選択), 琉球民俗学必修科目, and 琉球民俗学選択科目.

専 門 教 育 科 目	琉球民俗 (琉球民俗)	琉球民俗学研究Ⅲ	2・3・4	2		○		1							
		琉球民俗学研究Ⅳ	2・3・4	2		○		1							
		琉球民俗学研究Ⅵ	2・3・4	2		○		1							
		琉球民俗学研究Ⅶ	2・3・4	2		○		1							
		小計(12科目)	—		24		—		1						
	中琉関係史 (中琉関係史)	基礎演習	1	2			○		4	2					
		卒業論文	4	4			○		1						
		中琉関係史概論Ⅰ	1	2			○		1						
		中琉関係史概論Ⅱ	1	2			○		1						
		小計(4科目)	—	10			—		5	2					
	史選 科 目 (中琉関係史)	中琉関係史基礎演習Ⅰ	3		2		○		1						
		中琉関係史基礎演習Ⅱ	3		2		○		1						
		中琉関係史演習Ⅰ	4		2		○		1						
		中琉関係史演習Ⅱ	4		2		○		1						
		中琉関係史研究Ⅰ	2・3		2		○		1						
		中琉関係史研究Ⅱ	2・3		2		○		1						
		中琉関係史研究Ⅲ	2・3		2		○							兼1	
		中琉関係史研究Ⅳ	2・3		2		○							兼1	
		中琉関係史研究Ⅴ	2・3		2		○		1						
		中琉関係史研究Ⅵ	2・3		2		○		1						
中琉関係史研究Ⅶ		2・3		2		○							兼1		
中琉関係史研究Ⅷ		2・3		2		○							兼1		
小計(12科目)	—		24		—		1					兼1			
琉球文学 (琉球文学)	基礎演習	1	2			○		4	2						
	卒業論文	4	4			○		1	1						
	琉球文学概論Ⅰ	1	2			○		1							
	琉球文学概論Ⅱ	1	2			○			1						
	小計(4科目)	—	10			—		4	2						
選 科 目 (琉球文学)	琉球文学講読Ⅰ	2・3		2		○		1							
	琉球文学講読Ⅱ	2・3		2		○		1							
	琉球文学講読Ⅲ	2・3		2		○			1						
	琉球文学講読Ⅳ	2・3		2		○			1						
	琉球文学基礎演習Ⅰ	3		2			○		1						
	琉球文学基礎演習Ⅱ	3		2			○		1						
	琉球文学基礎演習Ⅲ	3		2			○	1							
	琉球文学基礎演習Ⅳ	3		2			○	1							
	琉球文学演習Ⅰ	4		2			○		1						
	琉球文学演習Ⅱ	4		2			○		1						
	琉球文学演習Ⅲ	4		2			○	1							
	琉球文学演習Ⅳ	4		2			○	1							
	琉球文学特講Ⅰ	2・3		2		○			1						
	琉球文学特講Ⅱ	2・3		2		○			1						
	琉球文学特講Ⅲ	2・3		2		○		1							
	琉球文学特講Ⅳ	2・3		2		○		1							
	琉球文学野外調査Ⅰ	2・3・4		2			○	1							
	琉球文学野外調査Ⅱ	2・3・4		2			○		1						
小計(18科目)	—		36		—		1	1							
日 本 文 学 (日本文学)	基礎演習	1	2			○		4	2						
	卒業論文	4	4			○		2							
	日本文学概論Ⅰ	1	2			○		1							
	日本文学概論Ⅱ	1	2			○		1							
	小計(4科目)	—	10			—		4	2						
	日本古典文学講読Ⅰ	2・3		2		○		1							

専門教育科目	日本古典文学講読Ⅱ	2・3	2		○		1							
	日本古典文学講読Ⅲ	2・3	2		○		1							
	日本古典文学講読Ⅳ	2・3	2		○		1							
	日本近現代文学講読Ⅰ	2・3	2		○		1					兼1		
	日本文学史Ⅰ	2・3	2		○		1							
	日本文学史Ⅱ	2・3	2		○		1							
	日本古典文学基礎演習Ⅰ	3	2			○	1							
	日本古典文学基礎演習Ⅱ	3	2			○	1							
	日本近現代文学基礎演習Ⅰ	3	2			○	1							
	日本近現代文学基礎演習Ⅱ	3	2			○	1							
	日本古典文学演習Ⅰ	4	2			○	1							
	日本古典文学演習Ⅱ	4	2			○	1							
	日本近現代文学演習Ⅰ	4	2			○	1							
	日本近現代文学演習Ⅱ	4	2			○	1							
	書道Ⅰ	2・3	1				○						兼1	
	書道Ⅱ	2・3	1				○						兼1	
	日本文学野外実習Ⅰ	2・3・4	2				○	1						
	日本文学野外実習Ⅱ	2・3・4	2				○	1						
	日本文学特講Ⅰ	2・3	2			○		1						
	日本文学特講Ⅱ	2・3	2			○		1						
	日本文学特講Ⅲ	2・3	2			○		1						
	日本文学特講Ⅳ	2・3	2			○		1						
	日本文学特講Ⅵ	2・3	2			○		1					兼1	
	近現代沖縄文学特講Ⅰ	2・3	2			○		1						
	近現代沖縄文学特講Ⅱ	2・3	2			○		1						
	小計(26科目)	—		50			—	2					兼4	—
中国必修 文学科目 コース	基礎演習	1	2			○	4	2						
	卒業論文	4	4			○	1	1						
	中国文学概論Ⅰ	1	2		○			1						
	中国文学概論Ⅱ	1	2		○			1					兼1	
	小計(4科目)	—	10			—	4	2					兼1	
専門教育科目	中国文学基礎演習Ⅰ	3		2		○		1						
	中国文学基礎演習Ⅱ	3		2		○		1						
	中国文学演習Ⅰ	4		2		○		1						
	中国文学演習Ⅱ	4		2		○		1						
	中国古典文学特講Ⅰ	2・3		2	○			1						
	中国古典文学特講Ⅱ	2・3		2	○			1						
	中国古典文学特講Ⅲ	3・4		2	○			1						
	中国古典文学特講Ⅳ	3・4		2	○			1						
	中国近現代文学特講Ⅰ	2・3		2	○			1						
	中国近現代文学特講Ⅱ	2・3		2	○			1						
	中国近現代文学特講Ⅲ	3・4		2	○			1						
	中国近現代文学特講Ⅳ	3・4		2	○			1						
	中国古典文学講読Ⅰ	2・3		2	○			1					兼1	
	中国古典文学講読Ⅱ	2・3		2	○								兼1	
	中国文学野外実習Ⅱ	3・4		2			○	1						
小計(15科目)	—		30			—		1				兼1		
朝鮮必修 文学科目 コース	基礎演習	1	2			○	4	2						
	卒業論文	4	4			○		1						
	朝鮮文学概論Ⅰ	1	2		○			1						
	朝鮮文学概論Ⅱ	1	2		○			1						
	小計(4科目)	—	10			—	4	3						
択	朝鮮文学基礎演習Ⅰ	3		2		○		1						

専門教育科目	コース・コア科目 (朝鮮文学コース)	朝鮮文学基礎演習Ⅱ	3		2			○		1				
		朝鮮文学演習Ⅰ	4		2			○		1				
		朝鮮文学演習Ⅱ	4		2			○		1				
		朝鮮文学特講Ⅰ	2・3		2		○			1				
		朝鮮文学特講Ⅱ	2・3		2		○			1				
		朝鮮文学特講Ⅲ	2・3		2		○						兼1	
		朝鮮文学特講Ⅳ	2・3		2		○						兼1	
		朝鮮文学講読Ⅰ	2		2				○				兼1	
		朝鮮文学講読Ⅱ	2		2				○	○			兼1	
		朝鮮文学講読Ⅲ	3		2				○	○			兼1	
		朝鮮文学講読Ⅳ	3		2				○	○			兼1	
		小計(18科目)	—		24				—		1			
琉球必修 語学科目 コース	基礎演習	1	2				○		4	2				
	卒業論文	4	4				○						兼1	
	琉球語学概論Ⅰ	1	2			○							兼1	
	琉球語学概論Ⅱ	1	2			○							兼1	
	小計(4科目)	—	10				—		4	2				兼1
選択 コース・コア科目 (琉球語学コース)	琉球語学基礎演習Ⅰ	3		2			○							兼1
	琉球語学基礎演習Ⅱ	3		2			○							兼1
	琉球語学演習Ⅰ	4		2			○							兼1
	琉球語学演習Ⅱ	4		2			○							兼1
	琉球語学特講Ⅰ	2・3		2		○								兼1
	琉球語学特講Ⅱ	2・3		2		○								兼1
	琉球語学特講Ⅲ	2・3		2		○								兼1
	琉球語学特講Ⅳ	2・3		2		○								兼1
	音声学Ⅰ	2・3		2			○							兼1
	音声学Ⅱ	2・3		2			○							兼1
	言語地理学実地調査Ⅰ	2・3		2					○					兼1
	言語地理学実地調査Ⅱ	2・3		2					○					兼1
	琉球語学野外調査Ⅲ	2・3		2					○					兼1
琉球語学野外調査Ⅳ	2・3		2					○					兼1	
小計(18科目)	—		28				—						兼2	
日本必修 語学科目 コース	基礎演習	1	2				○		4	2				
	卒業論文	4	4				○		1					
	日本語学概論Ⅰ	1	2			○			1					
	日本語学概論Ⅱ	1	2			○			1					
	小計(4科目)	—	10				—		5	2				
専門教育科目	選択 コース・コア科目 (日本語学コース)	日本語文法論Ⅰ	2・3		2		○		1					
		日本語文法論Ⅱ	2・3		2		○		1					
		古典日本語概論Ⅰ	2・3		2		○		2					兼1
		古典日本語概論Ⅱ	2・3		2		○		2					兼1
		言語学外書講読Ⅰ	2・3		2		○		1					
		言語学外書講読Ⅱ	2・3		2		○		1					
		言語学外書講読Ⅲ	3・4		2		○		1					
		言語学外書講読Ⅳ	3・4		2		○		1					
		日本語学基礎演習Ⅰ	3		2			○		1				
		日本語学基礎演習Ⅱ	3		2			○		1				
		日本語学演習Ⅰ	4		2			○		1				
		日本語学演習Ⅱ	4		2			○		1				
		日本語教育実習Ⅰ	4		2			○		1				
		日本語教育実習Ⅱ	4		2			○		1				
		日本語学特講Ⅰ	2・3		2		○			1				
日本語学特講Ⅱ	2・3		2		○			1						

専門教育科目	ス	日本語史Ⅰ	2・3	2		○		1				兼1	
		日本語史Ⅱ	2・3	2		○		1				兼1	
		日本語教授法Ⅰ	3	2		○						兼1	
		日本語教授法Ⅱ	3	2		○						兼1	
		日本語教材研究Ⅰ	3	2				○	1			兼1	
		日本語教材研究Ⅱ	3	2				○	1			兼1	
		小計(2科目)	—	44			—		2				兼4
	中国語必修科目	基礎演習	1	2			○		4	2			
		卒業論文	4	4			○			2			
		中国語学概論Ⅰ	1	2			○			1			
		中国語学概論Ⅱ	1	2			○			1			
		小計(4科目)	—	10			—		4	4			
	選択コース・コア科目 (中国語学コース)	中国語学基礎演習Ⅰ	3	2			○			1			
		中国語学基礎演習Ⅱ	3	2			○			1			
		中国語学基礎演習Ⅲ	3	2			○			1			
		中国語学基礎演習Ⅳ	3	2			○			1			
		中国語学演習Ⅰ	4	2			○			1			
		中国語学演習Ⅱ	4	2			○			1			
		中国語学演習Ⅲ	4	2			○			1			
		中国語学演習Ⅳ	4	2			○			1			
		中国語LL演習Ⅰ	2	2			○			1			
中国語LL演習Ⅱ		2	2			○			1				
中国語学特講Ⅰ		2・3	2			○			1				
中国語学特講Ⅱ		2・3	2			○			1				
中国語学特講Ⅲ		3・4	2			○			1				
中国語学特講Ⅳ		3・4	2			○			1				
中国語文法論Ⅰ		2・3	2			○			1				
中国語文法論Ⅱ		2・3	2			○			1				
中国語文法論Ⅲ		3・4	2			○			1				
中国語文法論Ⅳ		3・4	2			○			1				
中国語史Ⅰ		2・3	2			○			1				
中国語史Ⅱ		2・3	2			○			1				
中国語史Ⅲ		3・4	2			○			1				
中国語史Ⅳ	3・4	2			○			1					
中国語学講読Ⅰ	2・3	2			○			1					
中国語学講読Ⅱ	2・3	2			○			1					
中国語学講読Ⅲ	3・4	2			○			1					
中国語学講読Ⅳ	3・4	2			○			1					
海外文化研修	2・3	2			○			1					
小計(27科目)	—	54			—			2			—		
総合履修コース	基礎演習	1	2			○		4	2				
	総合履修演習Ⅰ	4	2			○		1					
	総合履修演習Ⅱ	4	2			○		1					
	小計(4科目)	—	6			—		5	2				
選択コース・コ	琉球史概論Ⅰ	1・2	2			○		1					
	琉球史概論Ⅱ	1・2	2			○			1				
	琉球民俗学概論Ⅰ	1・2	2			○		1					
	琉球民俗学概論Ⅱ	1・2	2			○		1					
	中琉関係史概論Ⅰ	1・2	2			○		1					
	中琉関係史概論Ⅱ	1・2	2			○		1					
	中国文学概論Ⅰ	1・2	2			○			1				
	中国文学概論Ⅱ	1・2	2			○			1			兼1	
	琉球文学概論Ⅰ	1・2	2			○		1					



専門教育科目	ア科目 (総合履修コース)	琉球文学概論Ⅱ	1・2	2	○			1					
		琉球語学概論Ⅰ	1・2	2	○		1				兼1		
		琉球語学概論Ⅱ	1・2	2	○		1				兼1		
		中国語学概論Ⅰ	1・2	2	○			1					
		中国語学概論Ⅱ	1・2	2	○			1					
		日本語学概論Ⅰ	1・2	2	○		1						
		日本語学概論Ⅱ	1・2	2	○		1						
		日本文学概論Ⅰ	1・2	2	○		1						
		日本文学概論Ⅱ	1・2	2	○		1						
		朝鮮文学概論Ⅰ	1・2	2	○			1					
		朝鮮文学概論Ⅱ	1・2	2	○			1					
		小計(20科目)	—	40	—		7	6				兼2	—
		合計(247科目)	—	106	404	—	7	6				兼14	—
		学位又は称号	学士(人文学)		学位又は学科の分野	文学関係							

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻課程 (昼間主コース) (英語文化・日本・国際事情コース)) 【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	基礎演習(Study Skills)	1	1					○			2					兼1
	リーディングⅠ(ReadingⅠ)	1	1				○			1	1					
	リーディングⅡ(ReadingⅡ)	1	1				○				1					兼1
	英文法演習(English Grammar & Composition)	1	2				○				2					
	英語の発音とリスニング(English Pronunciation & 英米文学概論)	1	1				○									兼1
	言語コミュニケーション概論Ⅰ	1	2				○				1					兼1
	異文化理解	2	2				○			1						
	リーディングⅢ(ReadingⅢ)	2	1				○				2					
	ライティングⅠ(WritingⅠ)	2	1				○			1	2					
	ライティングⅡ(WritingⅡ)	2	1				○									兼3
	オーラルコミュニケーションⅠ(Oral CommunicationⅠ)	2	1				○									兼2
	オーラルコミュニケーションⅡ(Oral CommunicationⅡ)	2	1				○									兼2
	イギリス文学概論	1	2				○									兼1
	アメリカ文学概論	2	2				○				1					
	言語コミュニケーション概論Ⅱ	1	2				○				1					
	言語コミュニケーション概論Ⅲ	2	2				○			1						
	メディアの英語Ⅰ	3	2				○									兼1
	上級英語演習(Intensive Reading & Writing)	3	2						○		1					兼1
	口頭英語表現Ⅰ(Verbal ArtsⅠ)	3	2				○			1						兼1
	高等英語セミナーⅠ(Advanced EnglishⅠ)	4	2				○									兼2
高等英語セミナーⅡ(Advanced EnglishⅡ)	4	2				○									兼2	
英語資格試験演習Ⅰ	1	1						○	1	1						
英語資格試験演習Ⅱ	3	1						○	1							
小計(24科目)		—	37					—	6	7						兼8
選択コース・コア科目(英語)	ルネサンス文学	2・3・4		2			○				1					
	17・18世紀イギリス文学	2・3・4		2			○				1					
	ロマン派文学	2・3・4		2			○									兼1
	ヴィクトリア朝文学	2・3・4		2			○			1						
	現代イギリス文学	2・3・4		2			○			1						
	イギリス文化論	2・3・4		2			○			1						
	初期アメリカ文学	2・3・4		2			○			1						
	19世紀アメリカ文学	2・3・4		2			○			1						
	20世紀アメリカ文学	2・3・4		2			○				1					
	現代アメリカ文学	2・3・4		2			○					1				
アメリカ文化論	2・3・4		2			○					1					

文化 コース	アメリカ研究概説	2・3・4	2	○				1					
	アメリカ研究演習	3・4	2	○				1					
	英米児童文学	2・3・4	2	○								兼1	
	文学・文化理論入門	2・3・4	2	○				1					
	英語の意味解釈	2・3・4	2	○				1					
	英語の歴史	2・3・4	2	○				1					
	英語の音声構造	3・4	2	○				1					
	英語の語構造	2・3・4	2	○				1					
	英語の文構造	2・3・4	2	○			1						
	異文化コミュニケーション論	2・3・4	2	○			1						
	ことばと社会	2・3・4	2	○			1						
	談話の構造	2・3・4	2	○				1					
	英語の多様性と文化	2・3・4	2	○				1					
	地域語概論	2・3・4	2	○				1					
	語用論	2・3・4	2	○			1						
	ことばの獲得研究	2・3・4	2	○				1					
	文化言語学概論	2・3・4	2	○			1						
	英語評価法演習	2・3・4	2		○		1						
	英語教育学演習Ⅰ	3・4	2		○							兼1	
	異文化実地研修A	3・4	2			○		1					
	イギリス文学研究Ⅰ	3・4	2	○								兼1	
	イギリス文学研究Ⅱ	3・4	2	○								兼1	
	アメリカ文学研究Ⅰ	3・4	2	○				1					
	アメリカ文学研究Ⅱ	3・4	2	○				1					
	英米文学特殊講義Ⅱ	3・4	2	○					1				
	比較文学演習	3・4	2		○							兼1	
	英語圏の言語政策	3・4	2	○			1						
日英語比較研究	3・4	2	○				1						
言語コミュニケーション特殊講義Ⅰ	3・4	2	○				1						
言語コミュニケーション特殊講義Ⅱ	3・4	2	○			1							
異文化コミュニケーション演習	2・3・4	2		○			1						
社会文化要因と外国語学習	3・4	2		○			1						
ことばの理解と記憶	3・4	2	○				1						
英語教育学演習Ⅱ	3・4	2		○							兼1		
英語科教育実践研究Ⅱ	3・4	2	○								兼1		
卒業論文Ⅰ	4	2		○		9	8	1			兼5		
卒業論文Ⅱ	4	2		○		9	8	1			兼5		
小計(48科目)	—		96		—	9	8	1			兼6		
(英 語 文 化 関 連 科 目)	メディアの英語Ⅱ	3	2	○							兼1		
	英文和訳演習	3	2		○						兼1		
	和文英訳演習	3	2		○		1						
	口頭英語表現Ⅱ(Verbal ArtsⅡ)	3	2	○		1							
小計(4科目)	—		8		—	1	1			兼1	—		
コ	基礎演習Ⅰ	1	2		○		1				兼1		

国際 事情履修 コース (日本・ 国際)	日本語文章表現 I	1	2			○			1						
	日本語文章表現 II	1	2			○			1						
	基礎演習 II	1	2				○		1					兼1	
	日本語作品講読 I	2	2			○								兼1	
	日本語作品講読 II	2	2			○								兼1	
	日本文化 I	2	2			○			1					兼3	
	日本文化 II	2	2			○			1					兼3	
	小計 (8科目)	—	16				—		1					兼5	
(選択 コース・ 国際 事情履修 コース)	日本語演習 I	3		2			○							兼1	
	日本語演習 II	3		2			○							兼1	
	琉球文化特別研究 I	3		2			○							兼1	
	琉球文化特別研究 II	3		2			○							兼1	
	インターンシップ I	3・4		2				○	1						
	インターンシップ II	3・4		2				○	1						
	国際事情 I	4		2		○			1						
	国際事情 II	4		2		○			1						
小計 (13科目)	—		16			—		1					兼2		
合計 (92科目)		—	53	120			—		9	8	1			兼13	—
学位又は称号	学士 (人文学)			学位又は学科の分野				文学関係							

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻課程 (夜間主コース) (英語文化コース)) 【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎演習(Study Skills)	1	1				○			2					
	リーディングⅠ(ReadingⅠ)	1	1				○			1					
	リーディングⅡ(ReadingⅡ)	1	1				○			1					
	英文法演習(English Grammar & Composition)	1	2				○			1					
	英語の発音とリスニング(English Pronunciation & Listening Comprehension)	1	1				○								兼1
	英米文学概論	1	2				○		1						
	言語コミュニケーション概論Ⅰ	1	2				○			1					
	異文化理解	2	2				○		1						
	リーディングⅢ(ReadingⅢ)	2	1				○		1						
	ライティングⅠ(WritingⅠ)	2	1				○		1	1					
	ライティングⅡ(WritingⅡ)	2	1				○								兼2
	オーラルコミュニケーションⅠ(Oral ComⅠ)	2	1				○								兼2
	オーラルコミュニケーションⅡ(Oral ComⅡ)	2	1				○								兼2
	イギリス文学概論	1	2				○								兼1
	アメリカ文学概論	2	2				○		1						
	言語コミュニケーション概論Ⅱ	1	2				○			2					
	言語コミュニケーション概論Ⅲ	2	2				○		1						
	メディアの英語Ⅰ	3	2				○								兼1
	上級英語演習(Intensive Reading & Writing)	3	2					○							兼2
	口頭英語表現Ⅰ(Verbal ArtsⅠ)	3	2				○		1						
	高等英語セミナーⅠ(Advanced EnglishⅠ)	4	2					○		1					兼1
	高等英語セミナーⅡ(Advanced EnglishⅡ)	4	2					○							兼2
	英語資格試験演習Ⅰ	1	1					○		1					
	英語資格試験演習Ⅱ	3	1					○		1					
小計(24科目)		—	37				—		8	7					兼6
選択 コース 英語文化 コース	英語通訳演習	2・3・4		2			○								兼2
	ビジネス英語演習	2・3・4		2			○								兼1
	観光英語演習	2・3・4		2			○								兼1
	イギリス文学演習Ⅰ	2・3・4		2			○		1						
	イギリス文学演習Ⅱ	2・3・4		2			○		1						
	イギリス文化論	2・3・4		2			○								兼1
	アメリカ文化論	2・3・4		2			○			1					
	アメリカ研究概説	2・3・4		2			○			1					
	アメリカ研究演習	3~4		2				○				1			
	英米児童文学	2・3・4		2			○								兼1
コミュニケーション学演習Ⅱ	2・3・4		2				○		1						

専門教育科目	コア科目	地域語概論	2・3・4	2		○			1				
		応用言語学演習Ⅱ	2・3・4	2			○		1				
		応用言語学演習Ⅲ	2・3・4	2			○		1				
		イギリス文学研究Ⅱ	3～4	2			○	1					
		言語コミュニケーション研究Ⅰ	2・3・4	2			○		1				
		言語コミュニケーション研究Ⅱ	2・3・4	2			○		1				
		卒業論文Ⅰ	4	2			○	9	8	1			兼5
		卒業論文Ⅱ	4	2			○	9	8	1			兼5
		小計（19科目）	—		38		—	9	8	1			兼10
	（選択コース関連科目）	英文和訳演習	3		2		○		1				
小計（1科目）			—		2		—		1				
合計（44科目）		—		37	42	—	9	8	1			兼14	—
学位又は称号		学士（人文学）		学位又は学科の分野			文学関係						

## 教育課程等の概要(事前伺い)

(法文学部 国際言語文化学科 ヨーロッパ文化専攻課程 (ドイツ言語文化・フランス言語文化・スペイン言語文化コース)) 【既設】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース必修科目 (ドイツ言語文化コース)	基礎演習Ⅰ	1	2				○			1					
	初級ドイツ語文法Ⅰ	1	2				○				1				
	初級ドイツ語文法Ⅱ	1	2				○		1						
	基礎演習Ⅱ	2	2				○				1				
	ドイツ語会話Ⅰ	2	2				○		1						
	ドイツ語会話Ⅱ	2	2				○		1						
	ドイツ語表現演習Ⅰ	2	2					○							兼1
	ドイツ語表現演習Ⅱ	2	2					○							兼1
	特殊問題ゼミⅠ	4	2					○		1		1			兼2
	特殊問題ゼミⅡ	4	2					○		1					
	卒業論文Ⅰ	4	2					○		1		1			
	卒業論文Ⅱ	4	2					○		1		1			
	小計(12科目)	—	24					—		1	1	1			兼1
	専門教育科目 (ドイツ言語文化共通科目)	ヨーロッパ文学入門	1・2		2			○		1	1				
ヨーロッパ言語研究入門		1・2		2			○		1	2					
小計(2科目)		—		4			—		2	3					
選択 コース・コア科目 (ドイツ言語文化)	ヨーロッパ文化論	1・2・3・4		2			○								兼1
	EU研究入門	1・2・3・4		2			○		1	2					兼1
	ドイツ語実践研修	1・2・3・4		2				○							
	ドイツ文芸思潮史	2		2			○								
	ドイツ研究A	2・3		2			○		1						
	ドイツ研究B	2・3		2			○		1						
	海外文化研修	2・3・4		4				○	1						
	ドイツ語講読Ⅰ	3・4		2			○				1				
	ドイツ語講読Ⅱ	3・4		2			○								兼1
	ドイツ語講読Ⅲ	3・4		2			○								兼1
	ドイツ語講読Ⅳ	3・4		2			○				1				
	ドイツ語講読Ⅴ	3・4		2			○								
	ドイツ語講読Ⅵ	3・4		2			○								
	ドイツ文学演習Ⅰ	3		2				○							兼1
	ドイツ文学演習Ⅱ	3		2				○							兼1
	ドイツ語学概論	2・3		2				○				1			
	ドイツ語の文構造	2・3		2				○				1			
ドイツ語学演習Ⅰ	3		2				○				1				
ドイツ語学演習Ⅱ	3		2				○		1						

ドイツ言語文化コース	ドイツ語学特演 A	3・4	2			○			1				
	ドイツ言語文化演習 I	2・3	2			○		1					
	ドイツ言語文化演習 II	2・3	2			○		1					
	ドイツ言語文化演習 III	3・4	2			○		1					
	ドイツ言語文化演習 IV	3・4	2			○		1					
小計 (24科目)		—	50			—		1	2	1			兼4
(フランス言語文化コース)	基礎演習 I	1	2			○			1				
	基礎演習 II	2	2			○			1				
	フランス語会話 I	2	2			○			1				
	フランス語文法 I	2	2			○		1					
	フランス文学史	2	2			○			1				
	フランス語講読 I	3・4	2			○		1					
	フランス語表現法 I	3・4	2			○			1	1			
	特殊問題演習 I	4	2			○		1	2				
	特殊問題演習 II	4	2			○		1	2				
	卒業論文 I	4	2			○		1	2				
	卒業論文 II	4	2			○		1	2				
小計 (11科目)		—	22			—		1	2				
ヨーロッパ文化論 EU研究入門 初級フランス語文法 I 初級フランス語文法 II 基礎フランス語会話 I 基礎フランス語会話 II フランス語会話 II フランス文化研究 I フランス文化研究 II フランス文化研究 III フランス文化研究 IV フランス語文法 II フランス語作文 中級フランス語作文 実務フランス語 I 実務フランス語 II 海外文化研修 フランスの社会 I 比較文学 フランス語講読 II フランス語講読 III フランス語講読 IV フランス語講読 V フランス語講読 VI フランス語講読 VII フランス語講読 VIII フランス文学研究 I フランス語表現法 II	1	2			○								兼1
	1・2・3・4	2			○		1	2					
	1	2			○			1					
	1	2			○			1					
	1	2			○			1					
	1	2			○			1					
	2	2			○			1					
	2・3・4	2			○		1						
	2・3・4	2			○			1					
	2・3・4	2			○			1					
	2・3・4	2			○			1					
	2	2			○		1						
	2・3	2			○								兼1
	2・3	2			○			1					
	2・3	2			○			1					
	2・3	2			○			1					
	2・3・4	4			○		1						
	2・3・4	2			○			1	1				
	2・3・4	2			○			1					
	3・4	2			○			1					
	3・4	2			○			1					
3・4	2			○			1						
3・4	2			○			1						
3・4	2			○			1						
3・4	2			○			1						
3・4	2			○			1						
3・4	2			○			1						
3・4	2			○			1						
小計 (28科目)		—	58			—		2	3				兼2
(スペイン言語文化コース)	基礎演習 I	1	2			○			1				
	英文法演習	1	2			○			1				
	リーディング I	1	1			○			1				
	リーディング II	1	1			○			1				
	基礎演習 II	2	2			○			1				
	ライティング I	2	1			○			1				
	スペイン語実践研修 II	3	2			○							兼1
	スペイン文学概論	3	2			○			1				



専門教育科目	化科 コース 目	地域研究特殊講義	3	2			○			1					
		スペイン語講読Ⅲ	3	2				○		1					
		スペイン語表現法Ⅰ	4	2			○			1					
		卒業論文Ⅰ	4	2					○	2					
		卒業論文Ⅱ	4	2					○	2					
		小計(13科目)	—	23				—		2				兼1	
	(ス 選 ペ イ ン コ ー ス コ リ ス 語 文 化 コ ー ス 目)	ヨーロッパ文化論	1・2・3・4		2			○						兼1	
		E U研究入門	1・2・3・4		2			○		1	2				
		初級スペイン語総合演習Ⅰ	1		2				○	1					
		初級スペイン語総合演習Ⅱ	1		2				○	1					
		スペイン語会話Ⅰ	2		2				○	1					
		スペイン語会話Ⅱ	2		2				○	1					
		スペイン語会話Ⅲ	3		2				○	1					
		スペイン語講読Ⅰ	2		2			○						兼1	
		スペインの社会と文化	2		2			○		1					
		ラテンアメリカの社会と文化	2		2			○						兼1	
		スペイン語実践研修Ⅰ	3		2				○					兼1	
		海外文化研修	2・3・4		4				○	1					
		スペイン語講読Ⅱ	2		2				○					兼1	
		スペイン語作文Ⅰ	3		2				○		1			兼1	
		スペイン語作文Ⅱ	3		2				○						
		(ス 選 ペ イ ン コ ー ス コ リ ス 語 文 化 コ ー ス 目)	スペイン文学特殊講義	3・4		2			○		1				
		スペイン語学概論	3		2				○		1				
		学外実地研修	3・4		2					○	1				
スペイン語講読Ⅳ	3		2				○		1						
スペイン語表現法Ⅱ	4		2				○		1						
特殊問題ゼミⅠ	4		2					○	2						
特殊問題ゼミⅡ	4		2					○	2						
小計(22科目)	—		46				—	1	3				兼5		
合計(112科目)			—	69	158		—	2	4	1			兼12	—	
学位又は称号		学士(人文学)			学位又は学科の分野			文学関係							